

目 次

1. 立体カード表面のひな形を開く	2
2. 立体カード表面のひな形を USB メモリーに保存する	5
3. 図形を挿入する	10
(1) 図形の挿入	10
(2) 図形の塗りつぶしの色を設定する	13
(3) 図形の枠線を消す	15
(4) 図形をコピーする	17
(5) 図形を変形する	18
(6) 図形を回転する	20
(7) 図形を左右反転する	21
(8) 図形にスタイルを設定する	31
(9) 図形に段落罫線を引く	33
(10) 図形の大きさを数値で設定する	38
(11) 図形の位置を揃える	40
4. ワードアートを挿入する	44
(1) ワードアートを挿入する	44
(2) ワードアートの文字の書体を変更する	47
(3) ワードアートの文字の大きさを変更する	49
5. 画像を挿入する	52
(1) 画像を挿入する	52
(2) 文字列の折り返しを設定する	56
6. 立体カードの裏面を作成する	62
7. 立体カードを印刷する	70
8. 立体カードを切り取る	73
9. 立体カードを組み立てる	73

天下見本

立体カードにチャレンジしてみよう！

ウメさん「先生。来月、孫の誕生日なの。
プレゼントにカードを添えようと思って。
でもせっかくパソコンをしているのだから、孫を
びっくりさせたいのだけど、何かいい案はないかしら？」



くじら先生「お孫さんのお誕生日ですか。おめでとうございます。
かわいい立体カードなんてどうですか？」

ウメさん「パソコンで立体カードが作れるの？ 何だか難しそうね。」

くじら先生「大丈夫ですよ。図形を組み合わせて作るだけですし、イラストを入れて
かわいく簡単にできます。」

ウメさん「わかったわ。じゃあ、チャレンジしてみる♪」

くじら先生「はい。では、頑張りとお孫さんをびっくりさせる立体カードを作りましょ
う！」

【完成例】

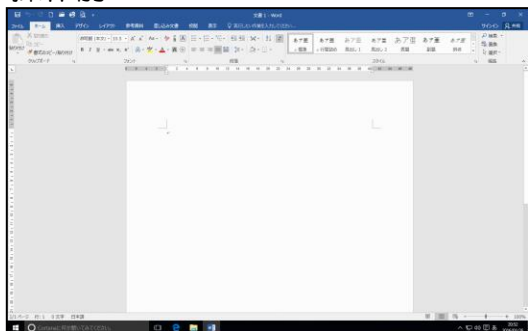


1. 立体カード表面のひな形を開く

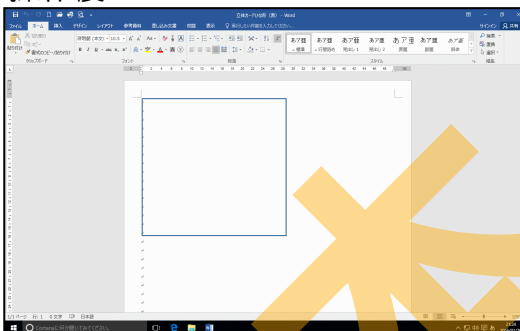
立体カードを作成するために、まずは立体カード表面のひな形をドキュメントから開きましょう。

◆ドキュメントから立体カード表面のひな形を開く方法をマスターしましょう。

操作前

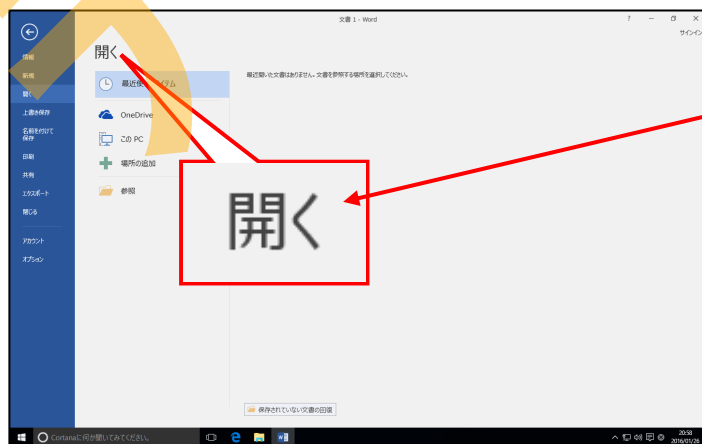
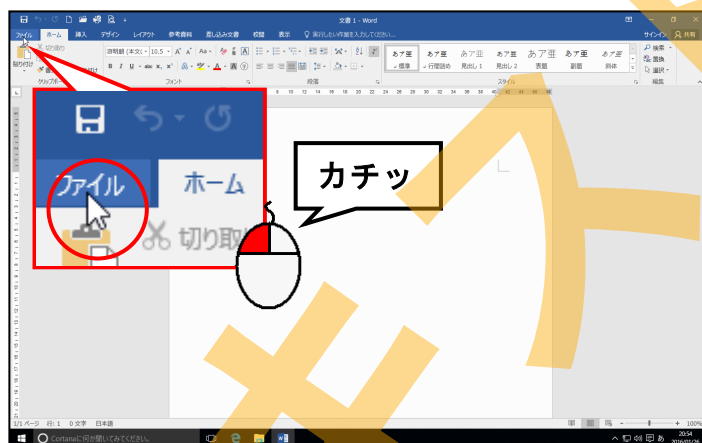


操作後



操作は下からです！

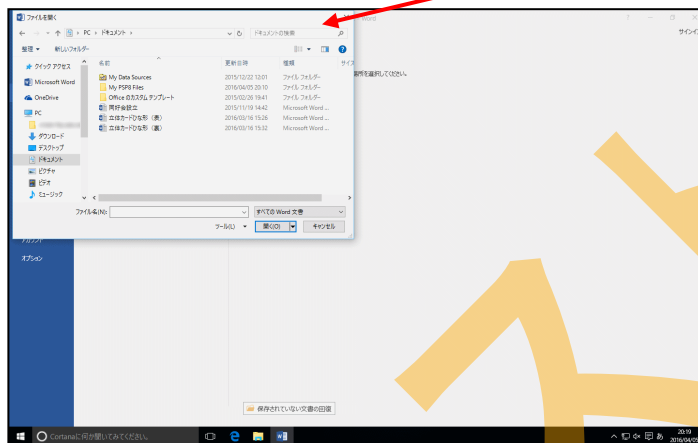
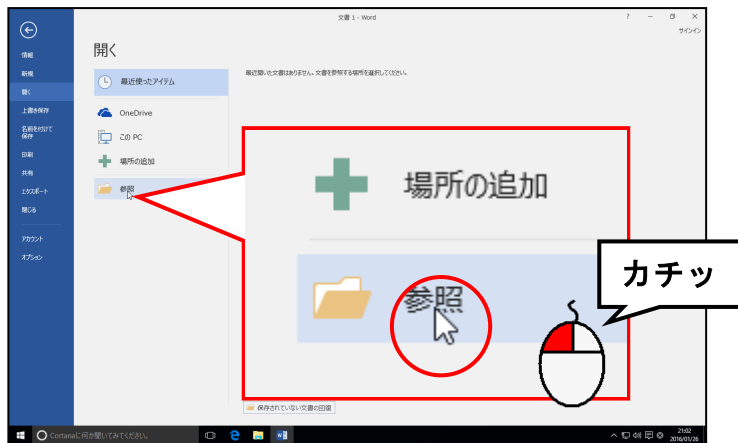
ワードを起動して、左上にある「ファイル」タブにポイントし、クリックします。



●「ファイル」タブをクリックすると、左のように「開く」の画面が表示されます。「開く」の画面が表示されていない方は、画面左の「開く」をクリックしておきましょう。

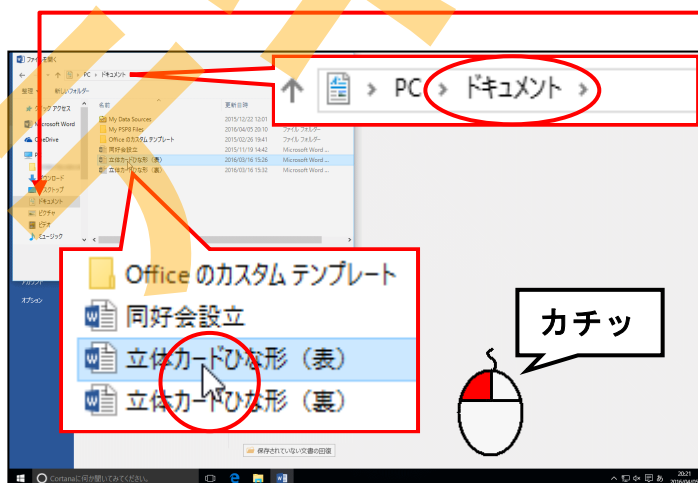


「参照」にポイントし、クリックします。



- 「参照」をクリックすると、[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。
- お使いのパソコンによって、[ファイルを開く] ダイアログボックス内のファイルやフォルダーの表示方法が左の図と違う場合があります。
- 左のように文書を開くときには、ファイルを開くための指示画面を使って「どこにある」「なんというファイル」を開くのかを指示しなければなりません。

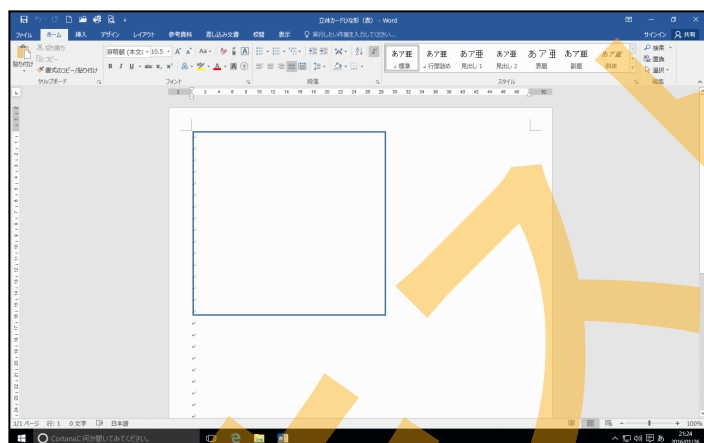
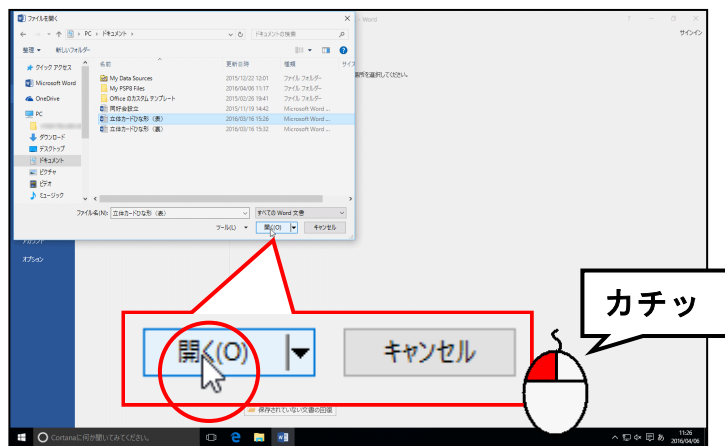
[ファイルの場所]に「ドキュメント」が表示されていることを確認して、「立体カードひな形（表）」にポイントし、クリックします。



- 「ドキュメント」が表示されていない場合は、画面の左側の「ドキュメント」をクリックしてから操作しましょう。



【開く(O)】ボタンにポイントし、クリックします。



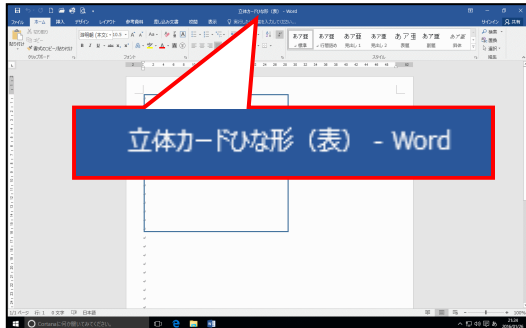
● 【開く(O)】ボタンをクリックすると、立体カード表面のひな形が画面に表示されます。

2. 立体カード表面のひな形を USB メモリーに保存する

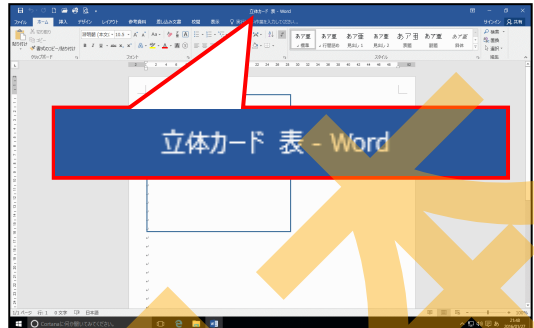
画面上に表示された立体カード表面のひな形を USB メモリーに保存しましょう。

◆立体カード表面のひな形をUSBメモリーに保存する方法をマスターしましょう。

操作前



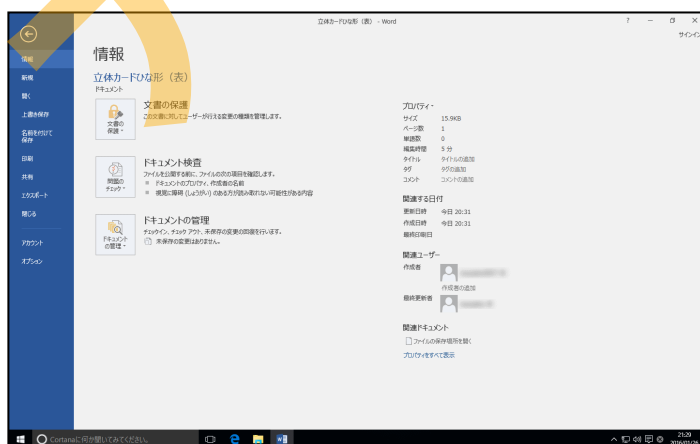
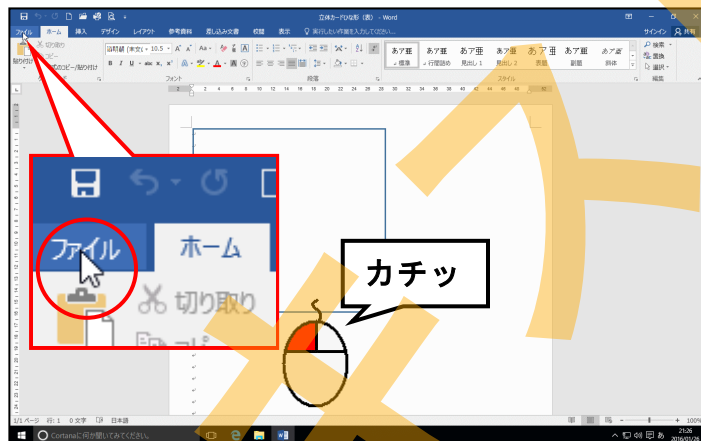
操作後



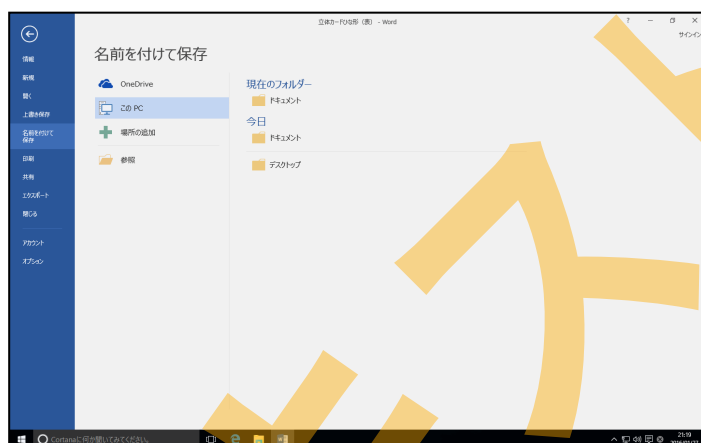
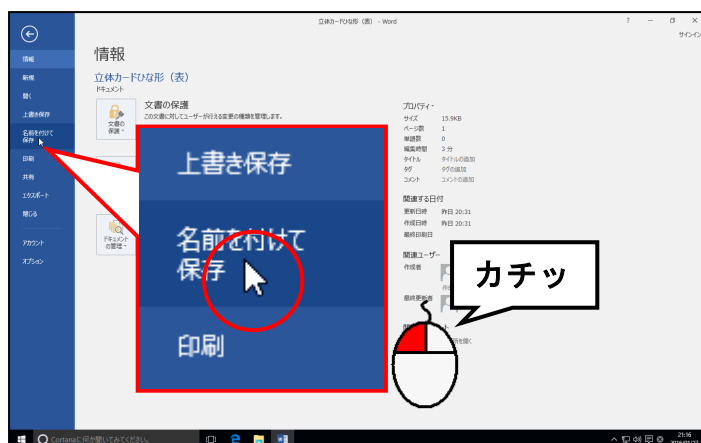
注意!

操作は下からです！

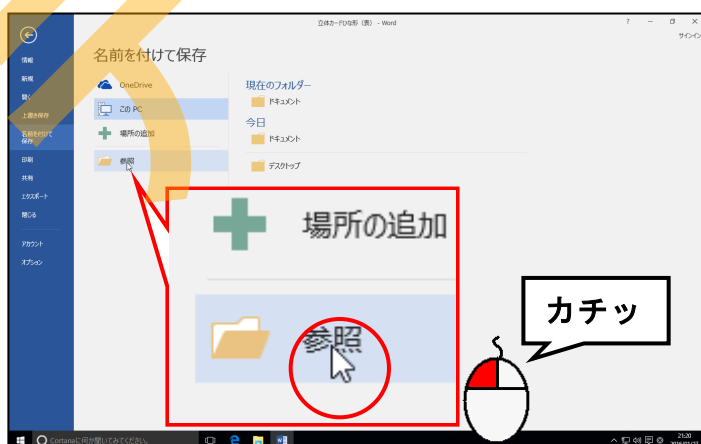
【ファイル】タブにポイントし、クリックします。

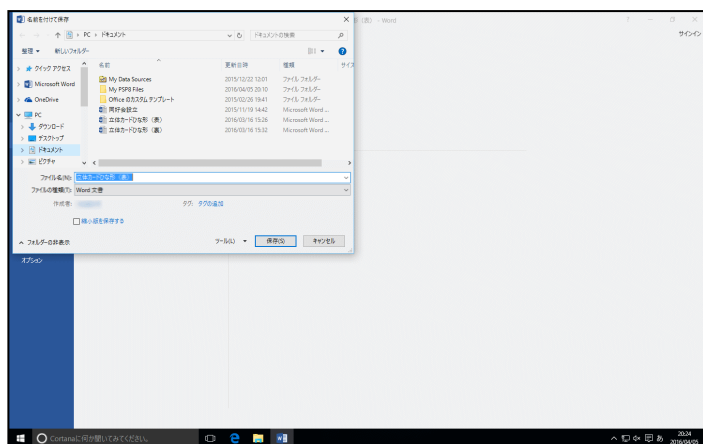


「名前を付けて保存」にポイントし、クリックします。

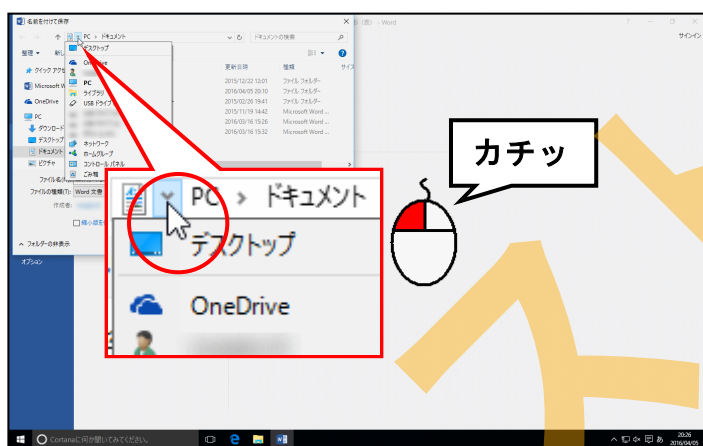


「参照」にポイントし、クリックします。





PC の左側にある  にポイントし、クリックします。

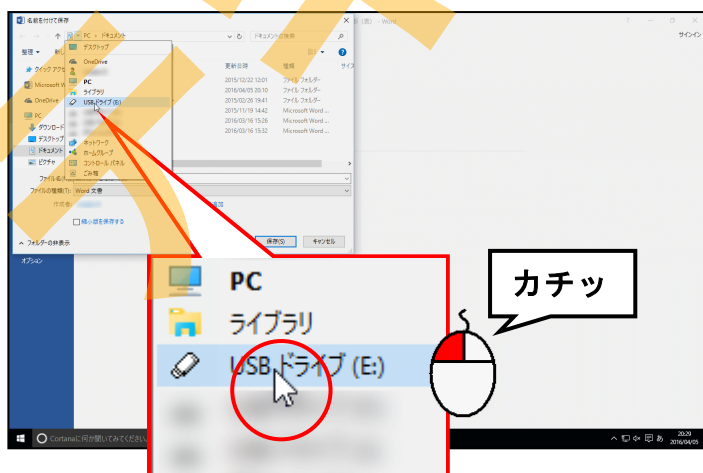


●下図のように表示される場合は、「ユーザー」の左側にある  をクリックします。

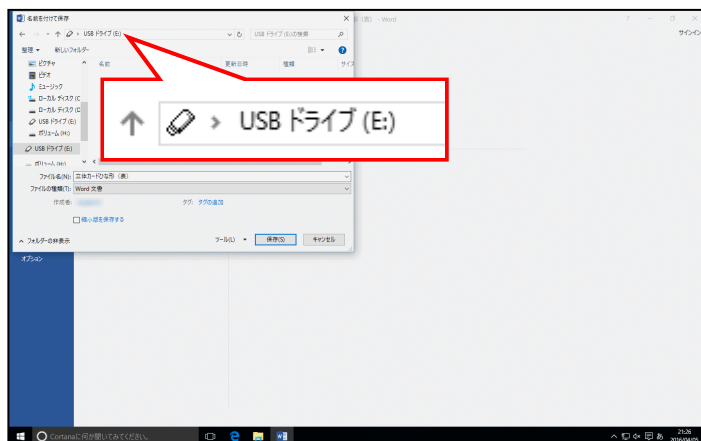


●  をクリックすると、ボタンの形が  に変わります。

表示されたリストから [USB ドライブ(E:)] にポイントし、クリックします。



●お使いのパソコンによって、USB ドライブの後ろが「(E:)」とは限りません。



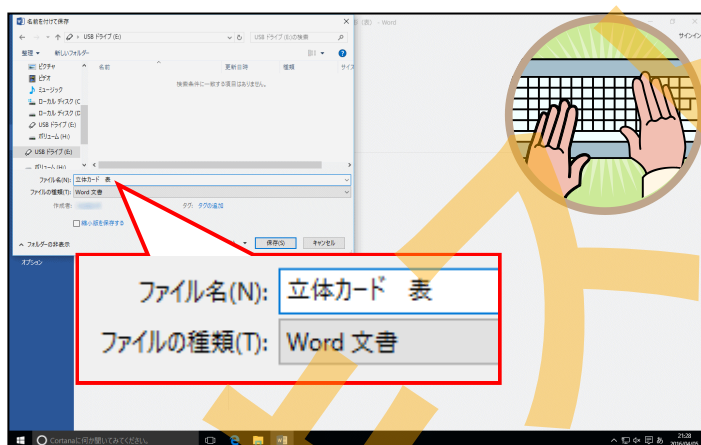
●ここまで行った操作が保存先の指定方法です。自分がどこに保存するかを指定する操作はこのようにして行います。

● [USB ドライブ(E:)] をクリックすると、[保存先] ボックスに [USB ドライブ(E:)] が表示されます。

必ず確認を!!

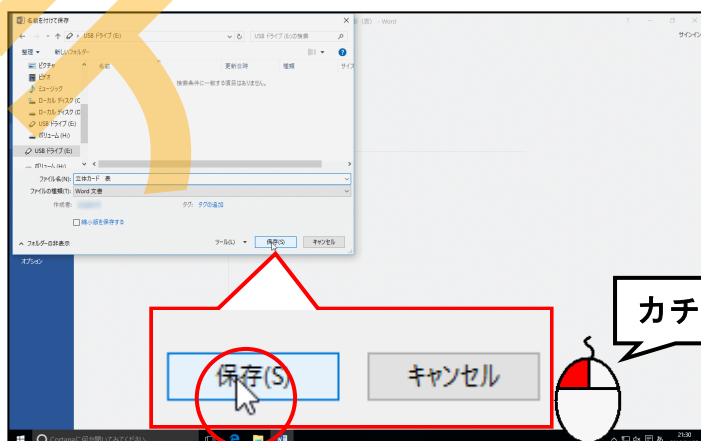


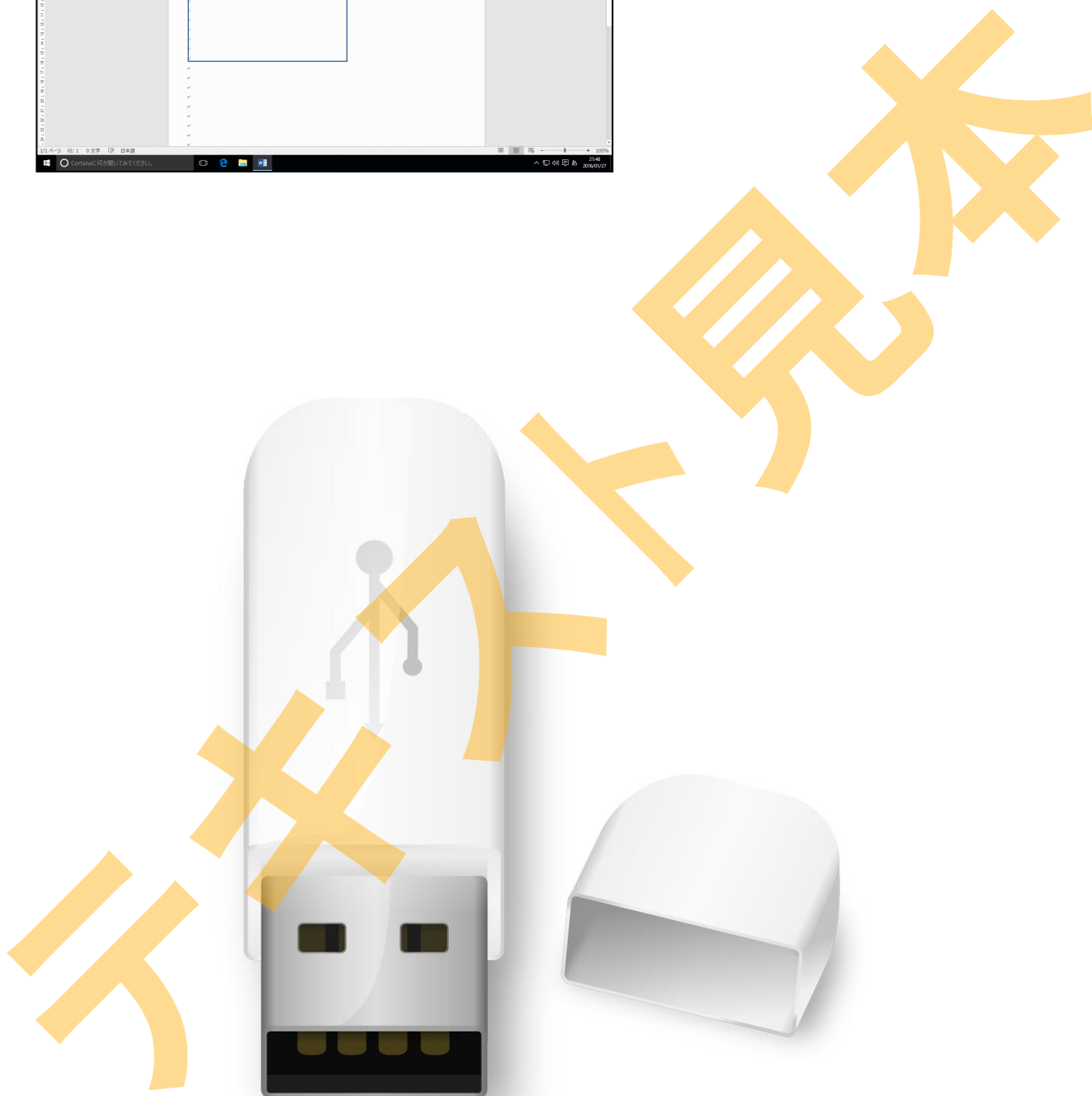
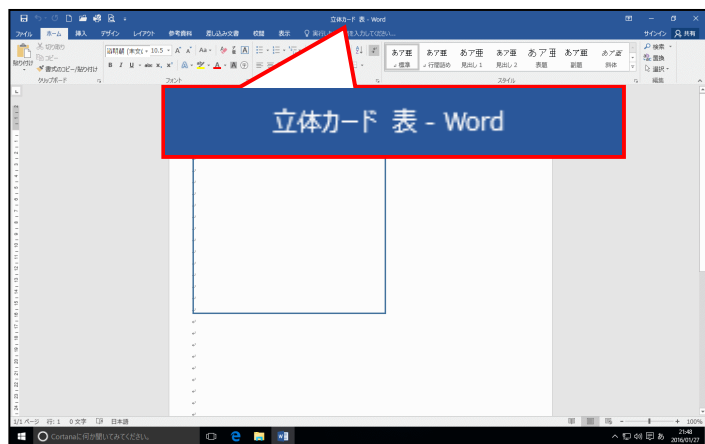
[ファイル名(N):] ボックスを「立体カード 表」に変更します。



●「立体カードひな形 (表)」を削除して「立体カード 表」を入力します。

右下にある [保存(S)] ボタンにポイントし、クリックします。



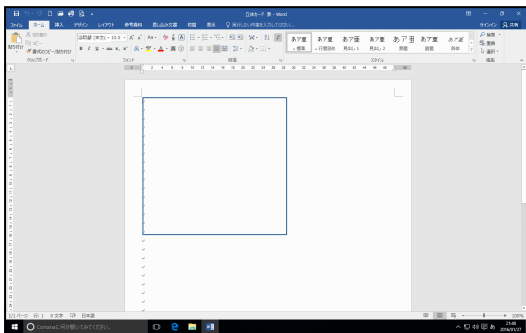


3. 図形を挿入する

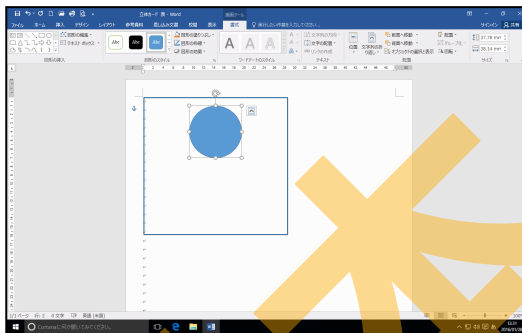
(1) 図形の挿入

◆立体カード表面のひな形に図形を挿入する方法をマスターしましょう。

操作前



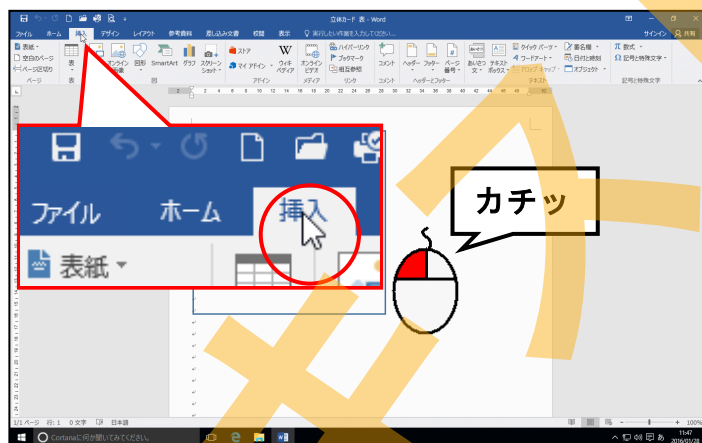
操作後



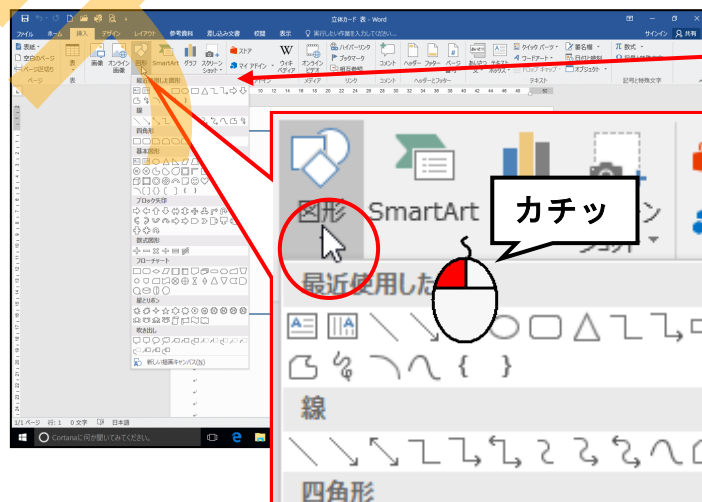
注意!

操作は下からです！

【挿入】タブにポイントし、クリックします。

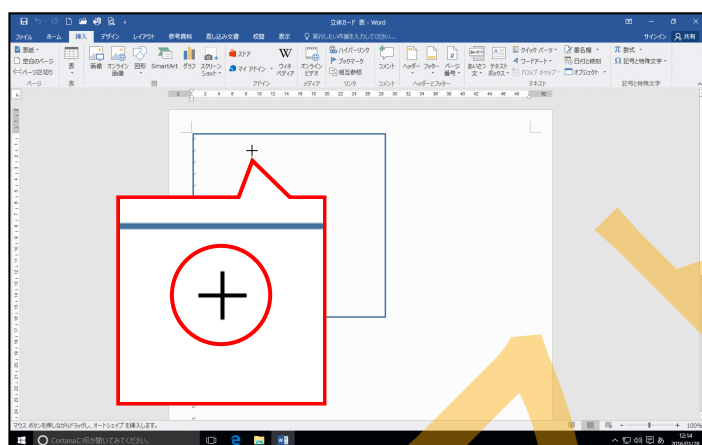
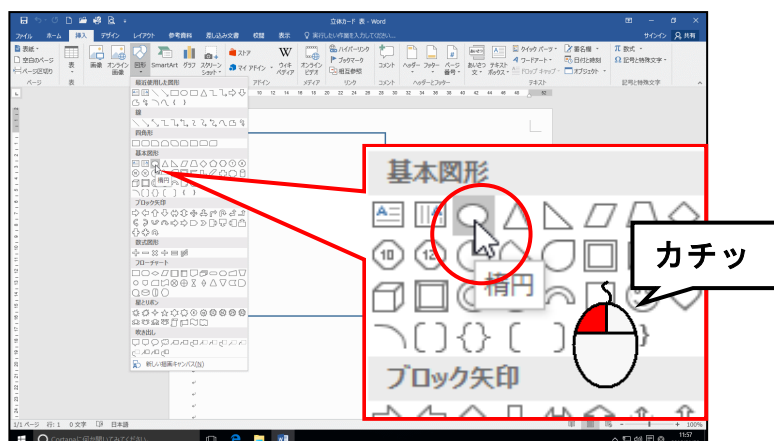


【図】グループにある【図形】ボタンにポイントし、クリックします。



●【図形】ボタンをクリックすると、左のように図形の一覧が表示されます。

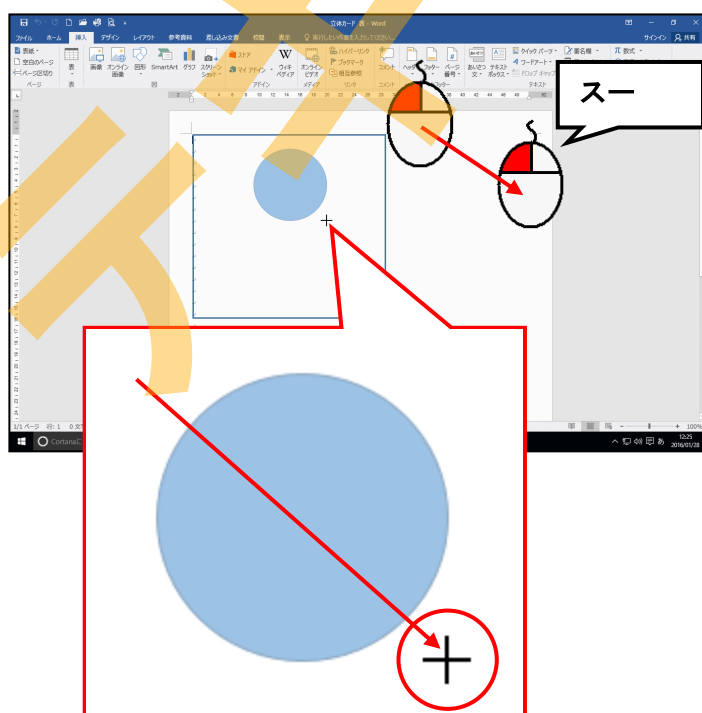
表示された図形一覧の「基本図形」にある ○「楕円」にポイントし、クリックします。



● ○「楕円」をクリックし、マウスポインターを文書内に移動すると + の状態になります。

● 左側にある青い四角形がくまの絵を描くためのガイドです。この四角形の中に収まるように図形を組み合わせてくまの絵を描いていきましょう。

マウスポインターが + になっていることを確認して、下図を参考に右下に向かってドラッグします。



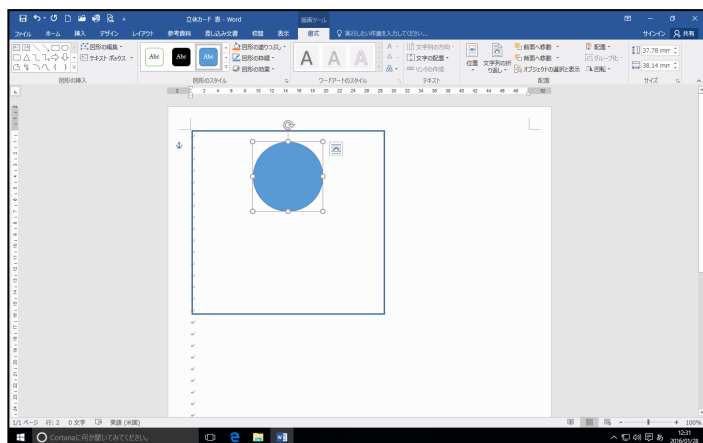
● 左ボタンを押した位置が図形を描くときの始点、左ボタンを離れた位置が図形の終点になります。

● まんまるな円や正方形を描きたい場合は [Shift] キーを押した状態でドラッグします。

注意!

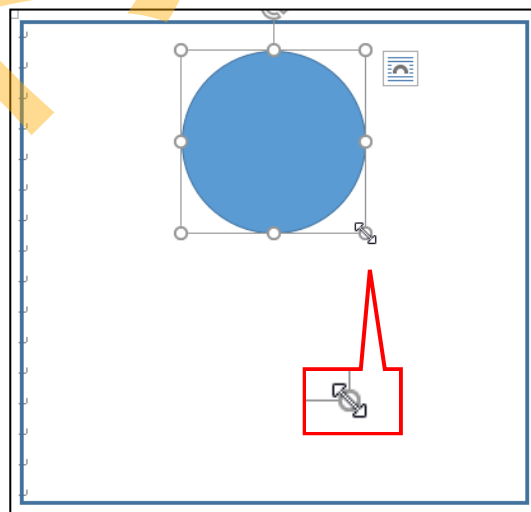
● マウスの左ボタンを押したままにしてください。クリックすると、既定の大きさで図形が描かれてしまいます。





余裕があれば読んでね

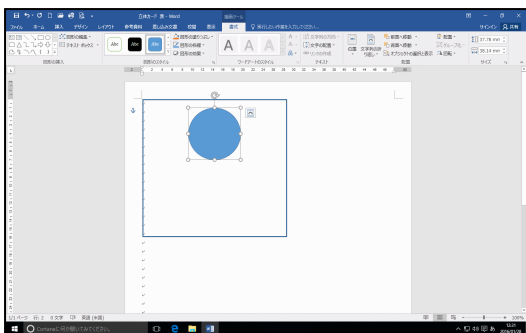
- もし、描いた図形のサイズを後から変更したい場合は、図形を選択したときに表示される○（サイズ変更ハンドル）にポイントして、マウスポインターが  になった時に、ドラッグします。
サイズ変更ハンドルにポイントする位置によってマウスポインターの形が変わります。
- ドラッグ中のマウスポインターの形は + になります。



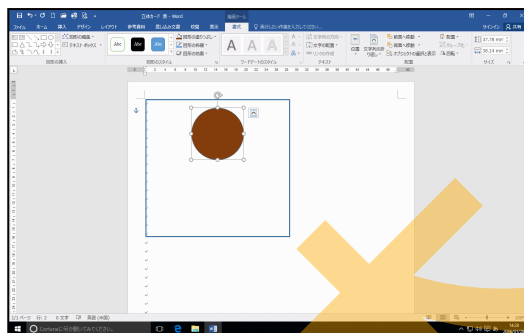
(2) 図形の塗りつぶしの色を設定する

◆図形の塗りつぶしの色を設定する方法をマスターしましょう。

操作前



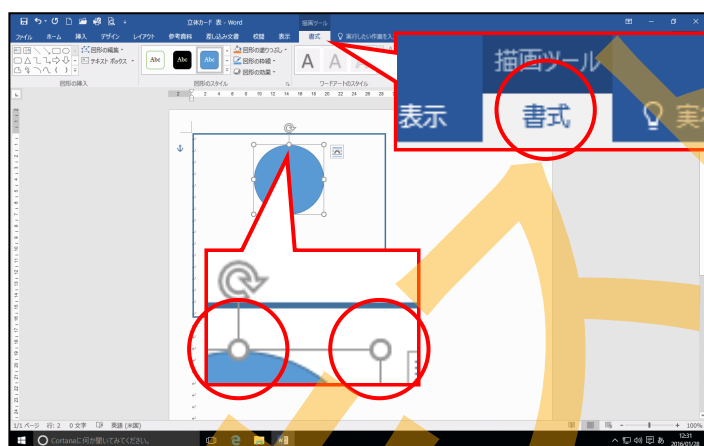
操作後



注意!

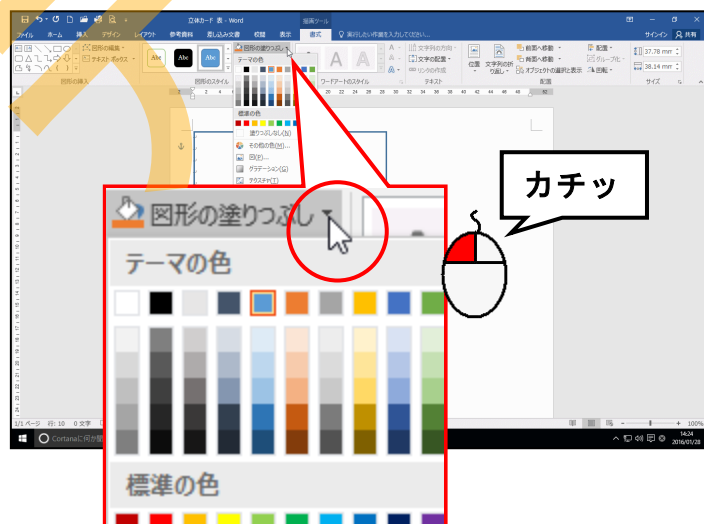
操作は下からです！

挿入した図形が選択されていること、[書式] タブが選択されていることを確認します。



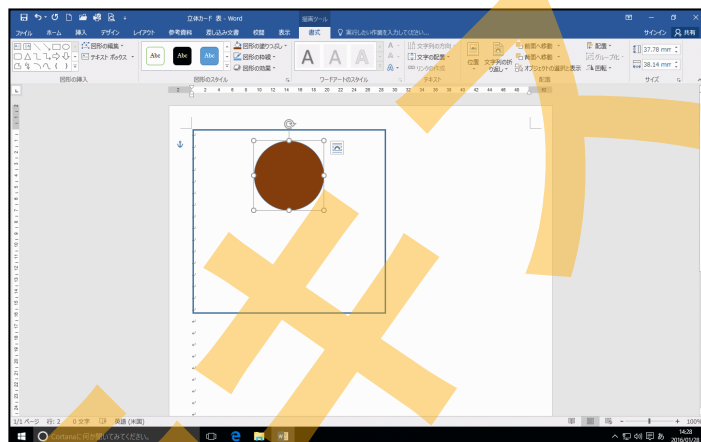
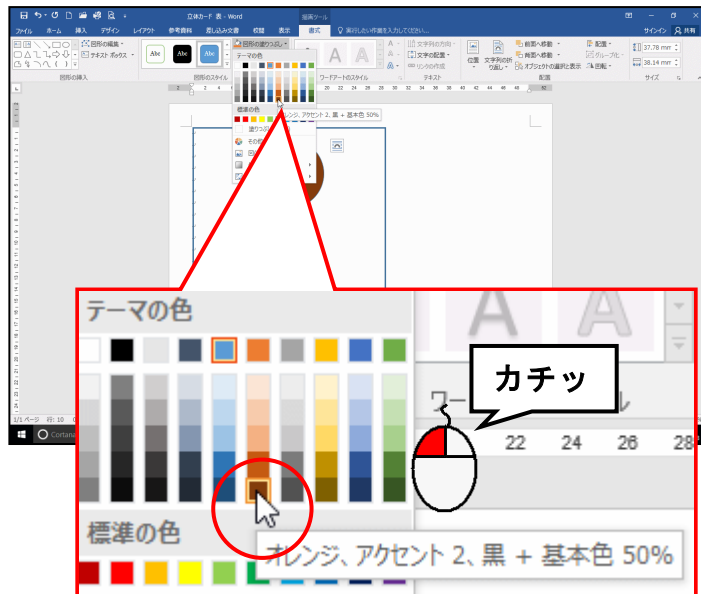
●挿入した図形の周りに ○ (サイズ変更ハンドル) が表示されていれば、図形が選択されています。選択されていない方は、図形にポイントし、マウスポインターが  になったところで、クリックして選択しておきましょう。

[図形のスタイル] グループにある  図形の塗りつぶし ▾ [図形の塗りつぶし] ボタンにポイントし、クリックします。



●  をクリックすると、塗りつぶしに関するメニューが表示されないため  図形の塗りつぶし ▾ をクリックしましょう。

表示された一覧から「オレンジ、アクセント 2、黒+基本色 50%」にポイントし、クリックします。

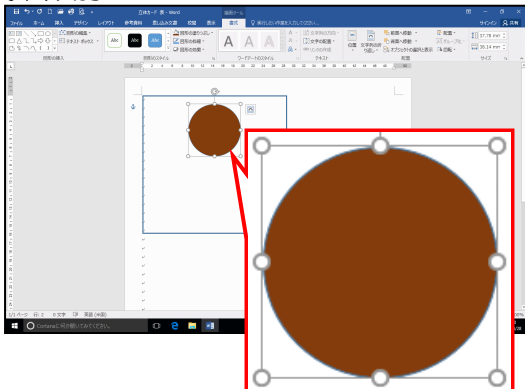


●図形の塗りつぶしの色が「オレンジ、アクセント 2、黒+基本色 50%」に変わりました。

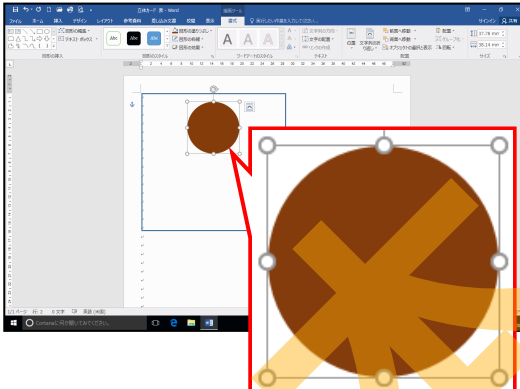
(3) 図形の枠線を消す

◆図形の枠線を消す方法をマスターしましょう。

操作前



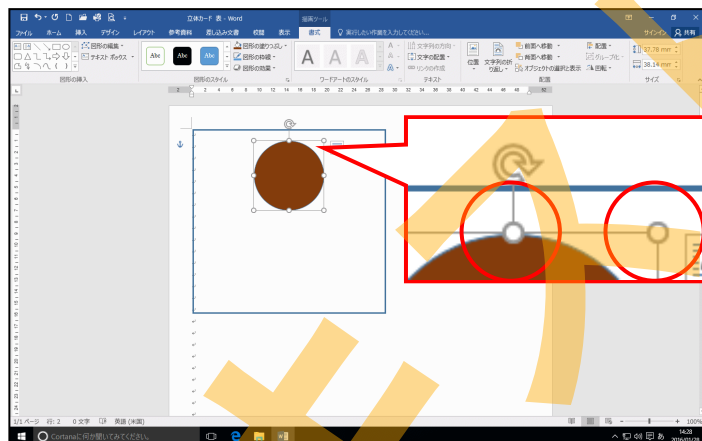
操作後



注意!

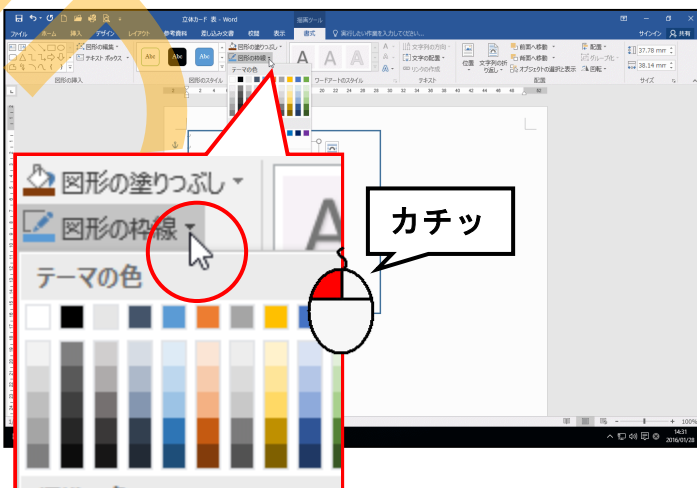
操作は下からです！

挿入した図形の周りに ○ (サイズ変更ハンドル) が表示されていることを確認します。



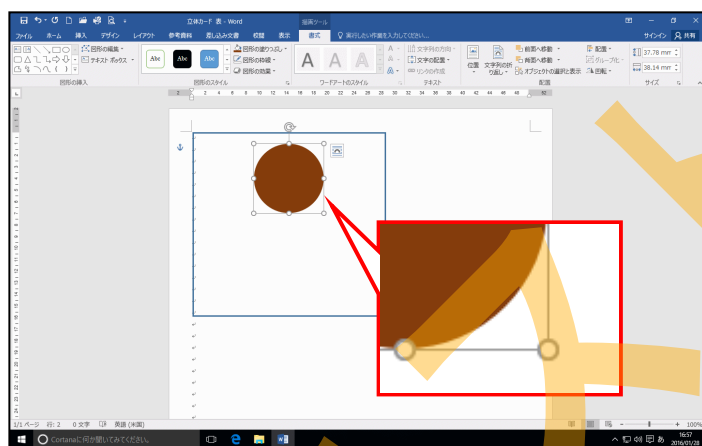
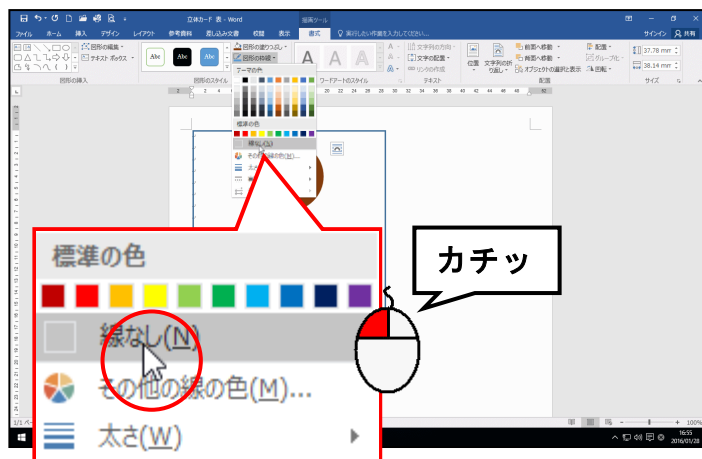
● 選択されていない方は、図形にポイントし、マウスポインターが  になったところで、クリックして選択しておきましょう。

「図形のスタイル」グループにある  図形の枠線・「図形の枠線」ボタンにポイントし、クリックします。



●  をクリックすると、図形の枠線に関するメニューが表示されないため、図形の枠線・をクリックしましょう。

表示された一覧から「標準の色」の下にある「線なし(N)」にポイントし、クリックします。

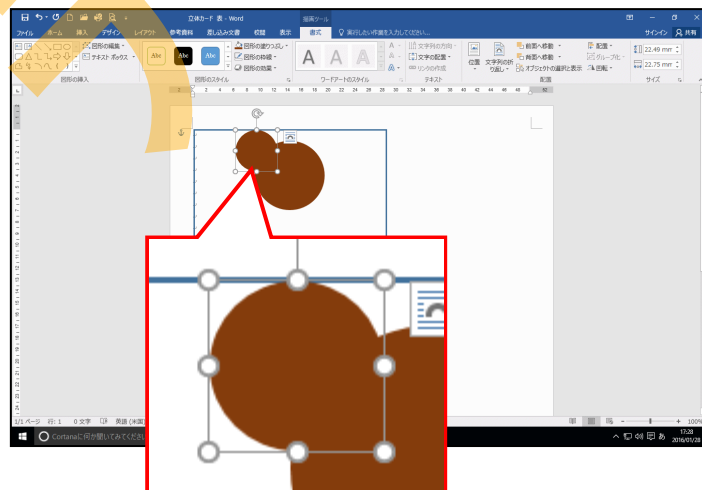


● 枠線が消えました。

● 枠線の色を変えたい場合は、表示された一覧から変えたい色にポイントし、クリックします。

● 次の操作のために右耳を描きましょう。

右耳にする図形の「楕円」をひとつ描き、図形の色を「オレンジ、アクセント 2、黒+基本色 50%」に、枠線の色を「線なし」にしましょう。



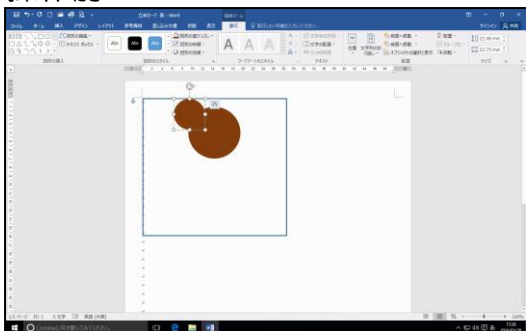
● 図形の塗りつぶしの色を設定する方法を忘れた方は、P13（2）図形の塗りつぶしの色を設定するを参照してください。

● 図形の枠線を消す方法を忘れた方は、P15（3）図形の枠線を消すを参照してください。

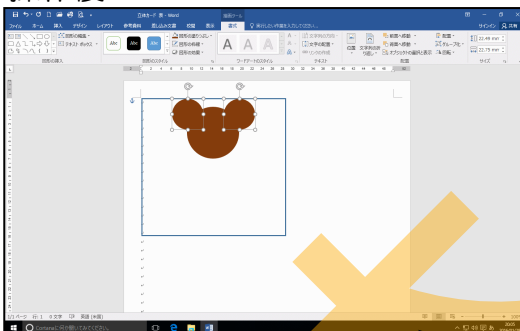
(4) 図形をコピーする

◆図形をコピーする方法をマスターしましょう。

操作前



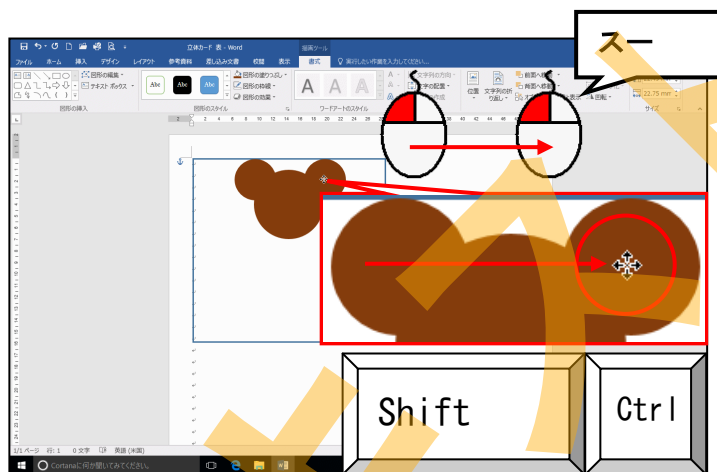
操作後



注意!

操作は下からです!

挿入した右耳の図形にポイントし、マウスポインターが  になったところで [Ctrl] キーと [Shift] キーを押したまま、左耳の位置にドラッグします。

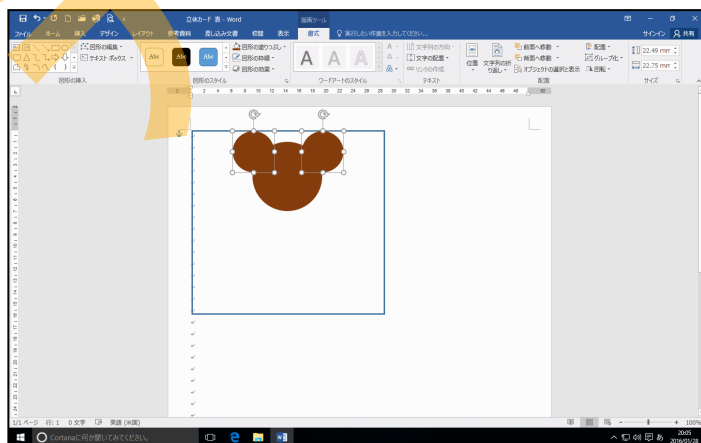


●図形にポイントすると、マウスポインターが  の形になります。

●[Ctrl] キーを押すと、マウスポインターが  から  に変わります。[Ctrl] キーを押すのはコピーをするためです。

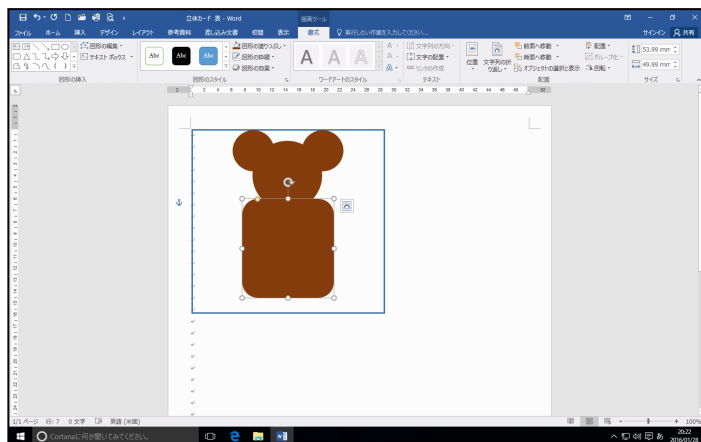
●[Shift] キーを押すと、水平または垂直にコピーすることができます。

●マウスの左ボタンを押した段階でマウスポインターは  に変わります。



●次の操作のために身体を描きましょう。

身体にする図形の「角丸四角形」を描き、図形の色を「オレンジ、アクセント 2、黒+基本色 50%」に、枠線の色を「線なし」にしましょう。



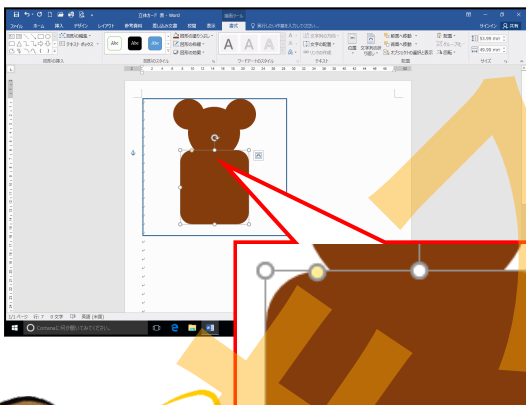
●図形の塗りつぶしの色を設定する方法を忘れた方は、P13（2）図形の塗りつぶしの色を設定するを参照してください。

●図形の枠線を消す方法を忘れた方は、P15（3）図形の枠線を消すを参照してください。

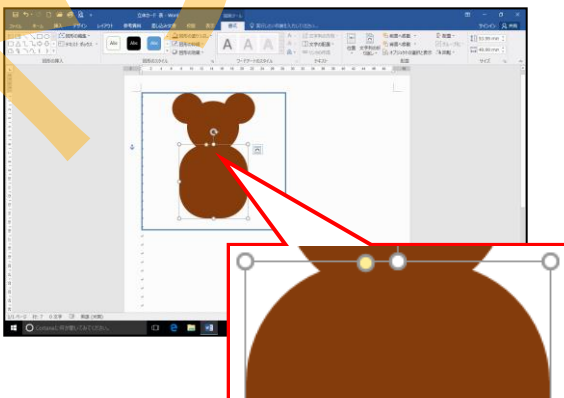
（5）図形を変形する

◆図形を変形する方法をマスターしましょう。

操作前



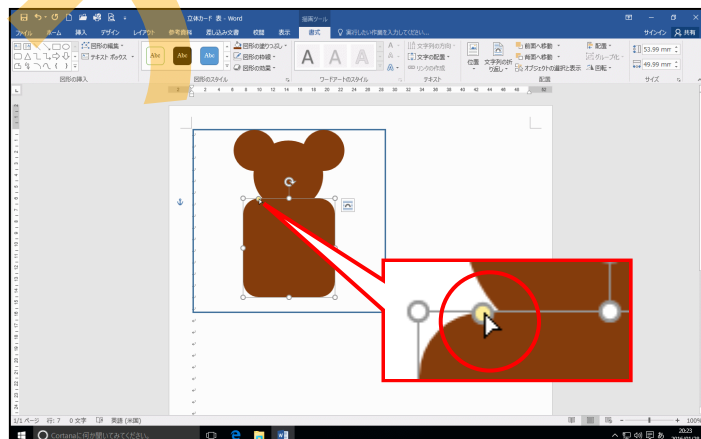
操作後



注意!

操作は下からです!

表示された○（変形ハンドル）にポイントしましょう。

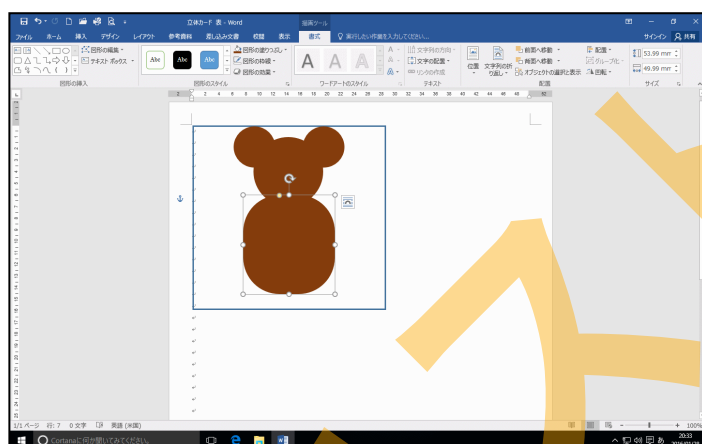
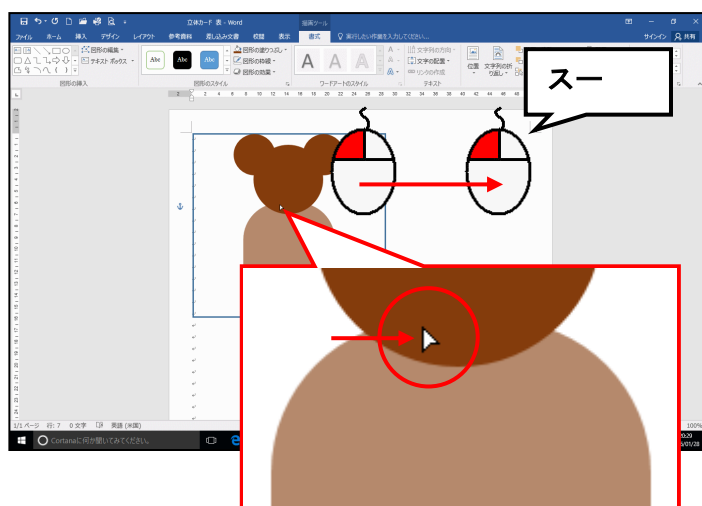


●○（変形ハンドル）は図形によって表示されるものとされないものがあります。

●○（変形ハンドル）が表示された図形では○をドラッグすることで図形を変形することができます。

●○（変形ハンドル）にポイントするとマウスポインターが➤に変わります。

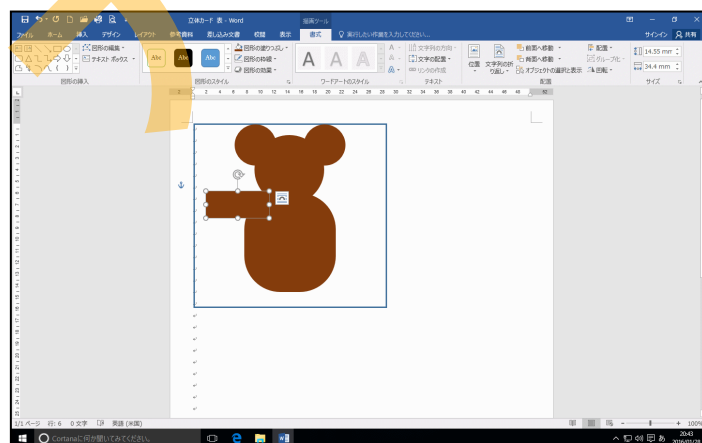
下図を参考に ●（変形ハンドル）を少し右方向へドラッグして、図形の丸みを調整しましょう。



●図形が変形しました。

●次の操作のために右腕を描きましょう。

下図を参考に、右腕にする図形の「正方形／長方形」を描き、図形の色を「オレンジ、アクセント 2、黒+基本色 50%」に、枠線の色を「線なし」にしましょう。



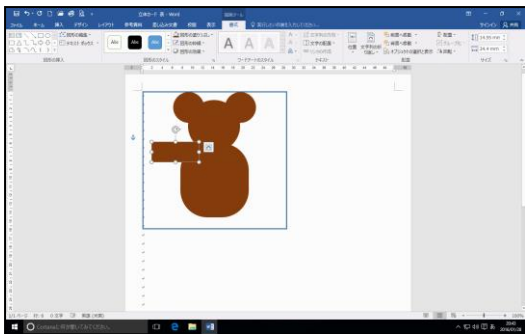
●図形の塗りつぶしの色を設定する方法を忘れた方は、P13（2）図形の塗りつぶしの色を設定するを参照してください。

●図形の枠線を消す方法を忘れた方は、P15（3）図形の枠線を消すを参照してください。

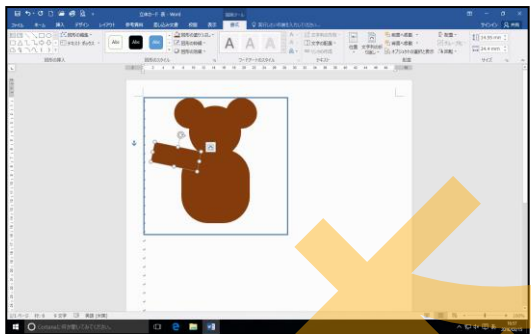
(6) 図形を回転する

◆図形を回転する方法をマスターしましょう。

操作前



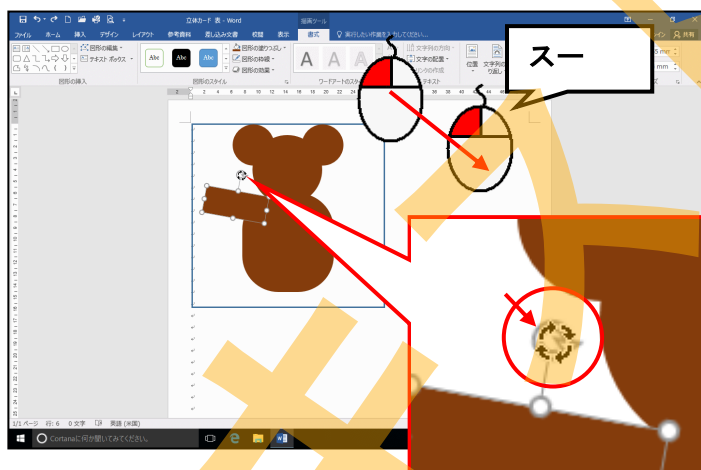
操作後



注意!

操作は下からです!

挿入した右腕の図形が選択されていることを確認し、 (回転ハンドル) にポイントし、右下に向かって少しドラッグします。

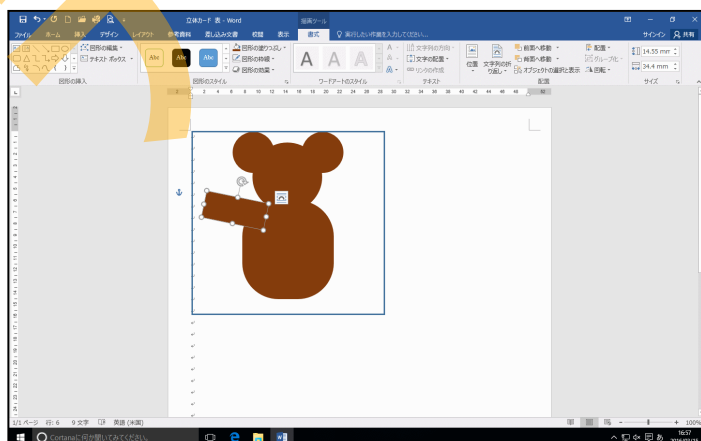


●図形が選択されていない方は、図形にポイントし、マウスポインターが  になったところで、クリックして選択しておきましょう。

● (回転ハンドル) にポイントすると、マウスポインターが  に変わります。

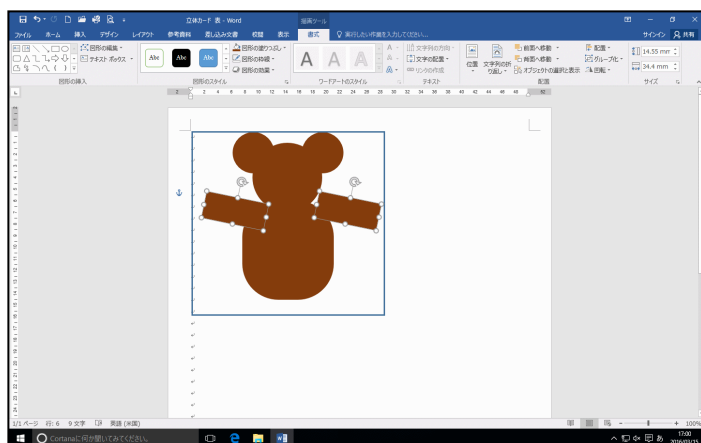
●マウスの左ボタンを押した時点でマウスポインターが  に変わります。

●マウスから指を離れた時点で、図形がドラッグした方向へ回転します。



●次の操作のために左腕を作成しましょう。

右腕をコピーして、左腕を作成しましょう。



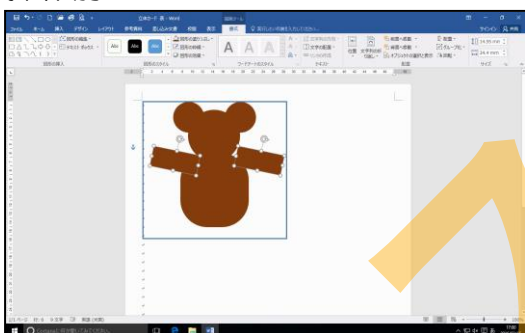
● [Ctrl] キーと [Shift] キーを押しながらドラッグして水平にコピーしましょう。

● 図形をコピーする方法を忘れた方は、P17 (4) 図形をコピーするを参照してください。

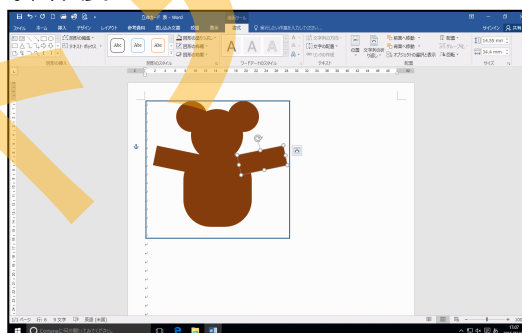
(7) 図形を左右反転する

◆図形を左右反転する方法をマスターしましょう。

操作前



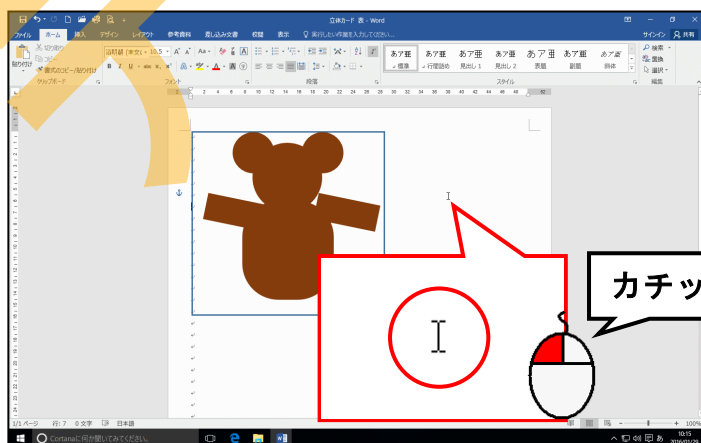
操作後



注意!

操作は下からです!

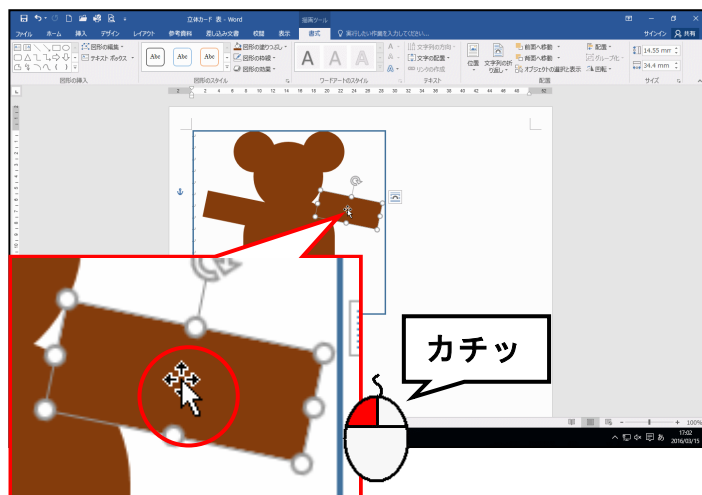
図形のない場所 (下の図では四角形の右側) にポイントし、クリックしましょう。



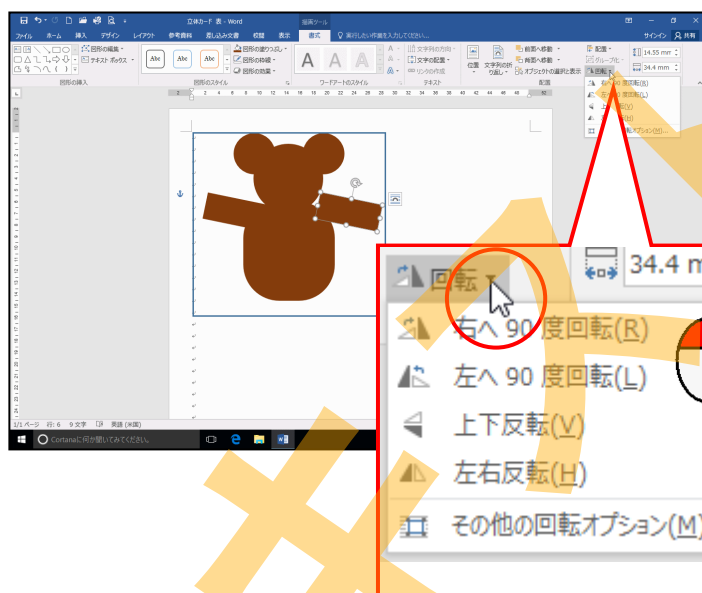
● 右腕と左腕、両方が選択されているので、選択を解除するための操作になります。

● 右腕と左腕の図形の選択が解除されて、図形の周りにあった ○ (サイズ変更ハンドル) が消えます。

左腕にポイントし、クリックします。

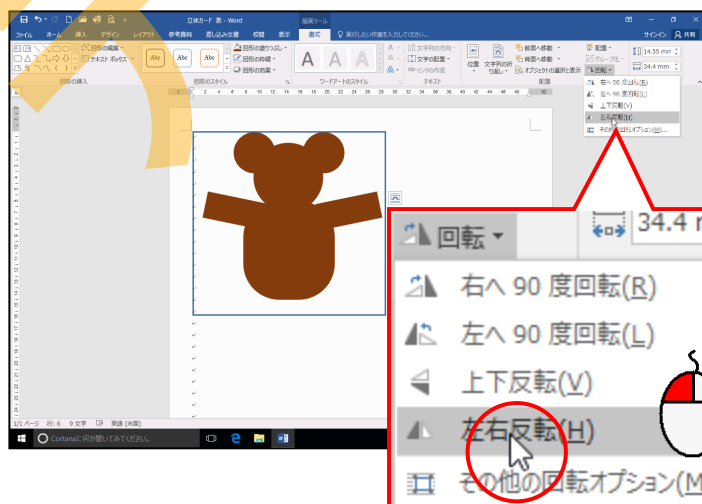


【配置】グループの 回転 ▾ [回転] ボタンにポイントし、クリックします。

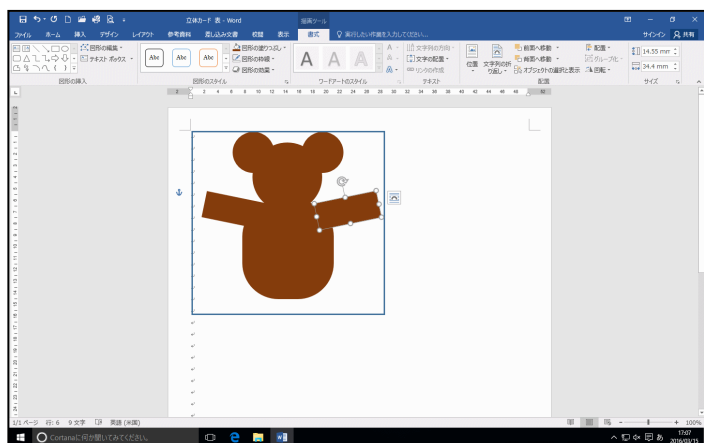


●【書式】タブが選択されていない方は、【書式】タブをクリックしてから操作しましょう。

表示されたメニューから【左右反転(H)】にポイントし、クリックします。



●左右反転すると、左右の向きが逆になります。上下逆向きにする場合は【上下反転(V)】を選択します。

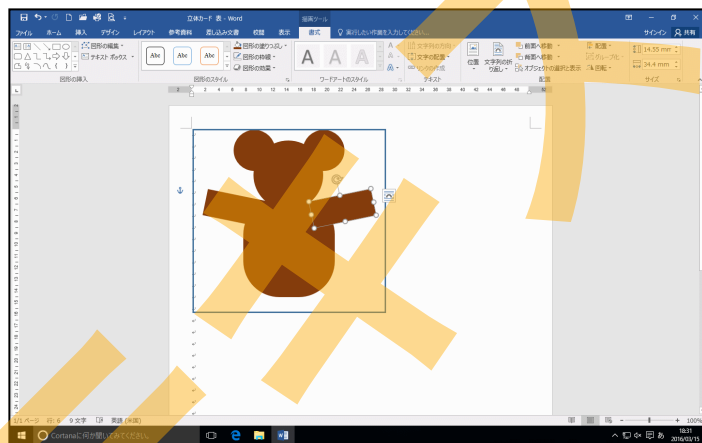
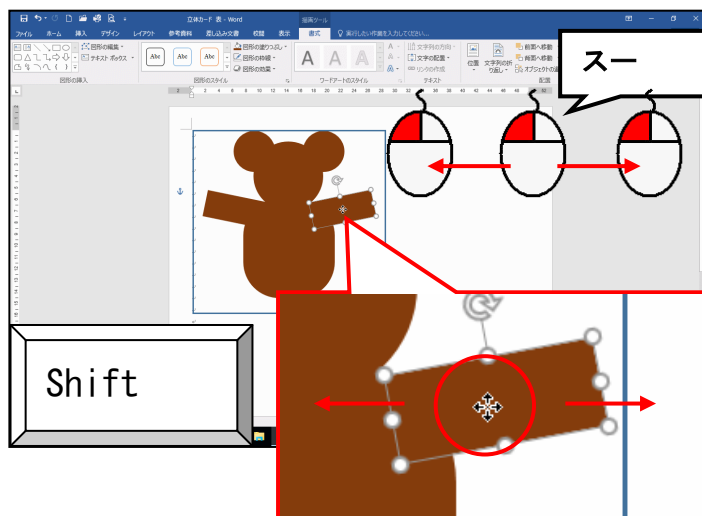


●図形が左右反転しました。



●左腕の位置を調整するため、図形を移動してみましょう。

左腕にポイントし、マウスポインターが  になったところでマウスの左ボタンを押したまま、下図を参考に [Shift] キーを押しながら、右もしくは左にドラッグし、位置を調整してみましょう。



●左腕にポイントするとマウスポインターが  に変わります。

● [Shift] キーを押すと、水平または垂直に移動することが出来ます。

●マウスの左ボタンを押した段階でマウスポインターは  に変わります。

●マウスの左ボタンを離れた時点で図形がドラッグした位置まで移動します。

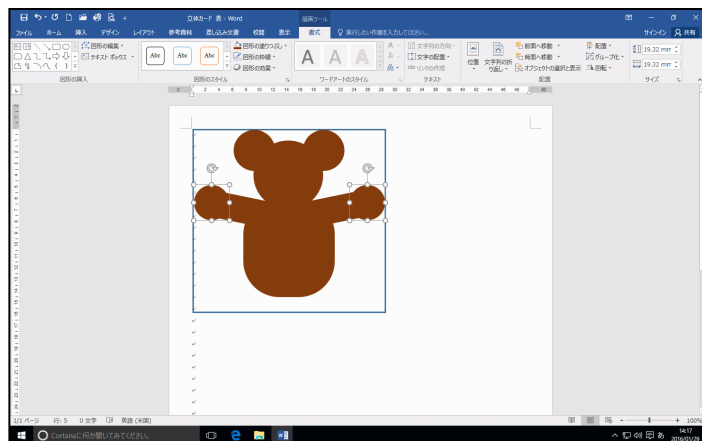
余裕があれば読んでね

●図形の配置を微調整したい場合は、図形を選択した状態で、キーボードの [矢印] キーを押します。



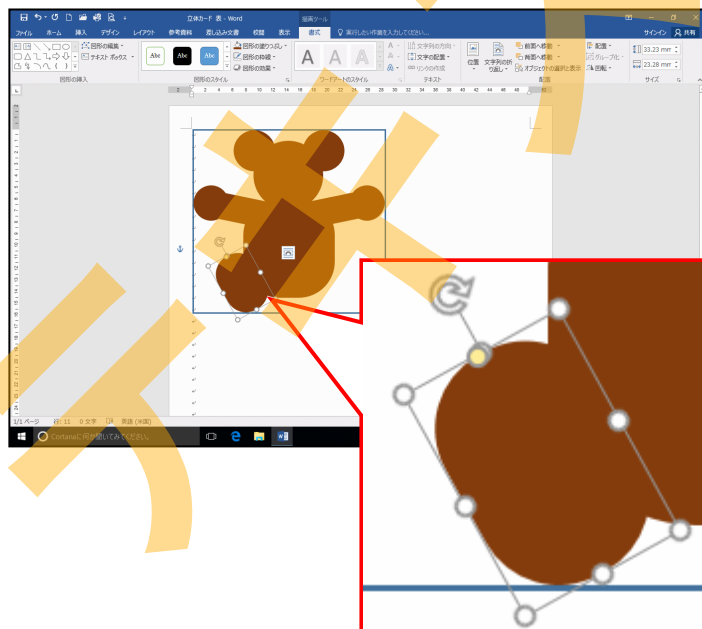
●順番に図形を挿入し、調整して「くま」を完成しましょう。

右手を図形「楕円」で作り、図形の色を「オレンジ、アクセント 2、黒+基本色 50%」に、枠線の色を「線なし」にし、作成した右手をコピーして左手も作成しましょう。



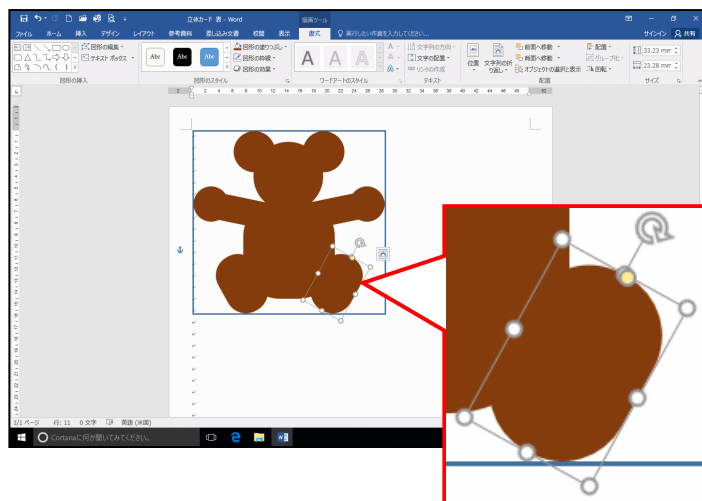
- [Ctrl] キーと [Shift] キーを押しながらドラッグして水平にコピーしましょう。
- 図形の塗りつぶしの色を設定する方法を忘れた方は、P13（2）図形の塗りつぶしの色を設定するを参照してください。
- 図形の枠線を消す方法を忘れた方は、P15（3）図形の枠線を消すを参照してください。
- 図形をコピーする方法を忘れた方は、P17（4）図形をコピーするを参照してください。

下図を参考に、右足を図形「角丸四角形」で作成し、変形し、図形の色を「オレンジ、アクセント 2、黒+基本色 50%」に、枠線の色を「線なし」にし、回転して少し左に傾けましょう。



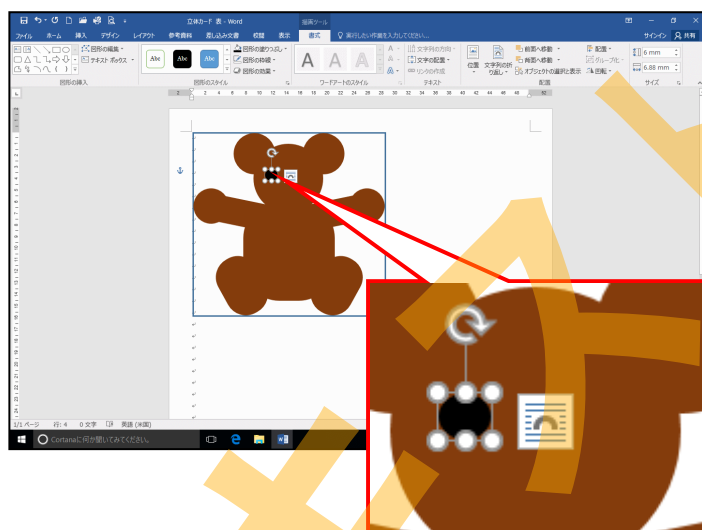
- 図形の塗りつぶしの色を設定する方法を忘れた方は、P13（2）図形の塗りつぶしの色を設定するを参照してください。
- 図形の枠線を消す方法を忘れた方は、P15（3）図形の枠線を消すを参照してください。
- 図形を変形する方法を忘れた方は、P18（5）図形を変形するを参照してください。
- 図形を回転する方法を忘れた方は、P20（6）図形を回転するを参照してください。

作成した右足をコピーし、左足を作成し、左右反転させましょう。



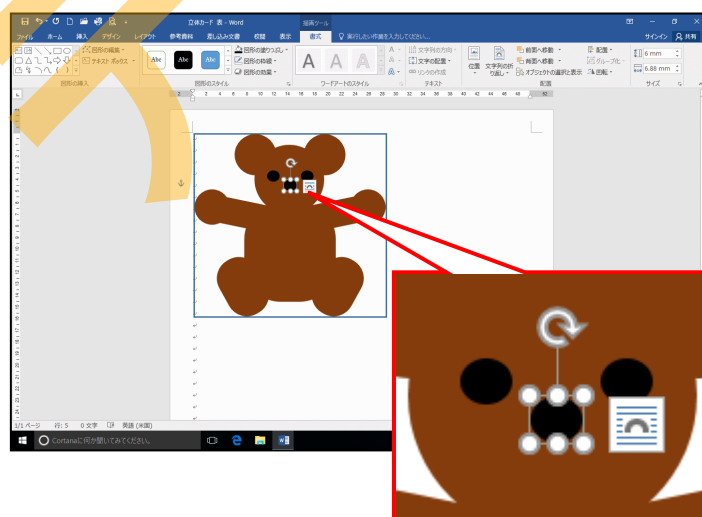
- [Ctrl] キーと [Shift] キーを押しながらドラッグして水平にコピーしましょう。
- 図形をコピーする方法を忘れた方は、P17 (4) 図形をコピーするを参照してください。
- 図形を左右反転する方法を忘れた方は、P21 (7) 図形を左右反転するを参照してください。

右目にする図形の「楕円」をひとつ描き、図形の色を「黒、テキスト 1」に、枠線の色を「線なし」にしましょう。



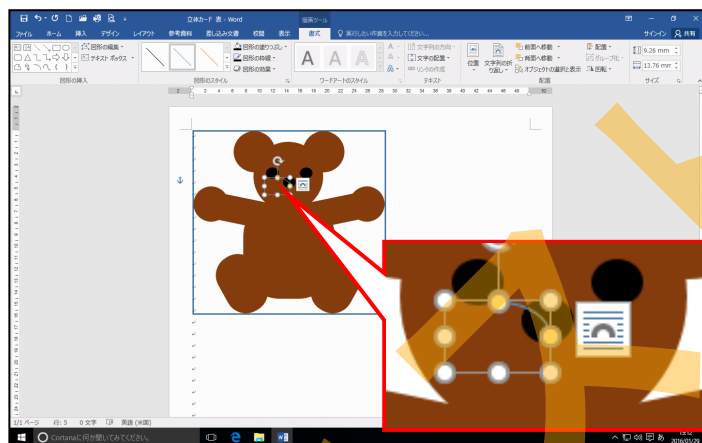
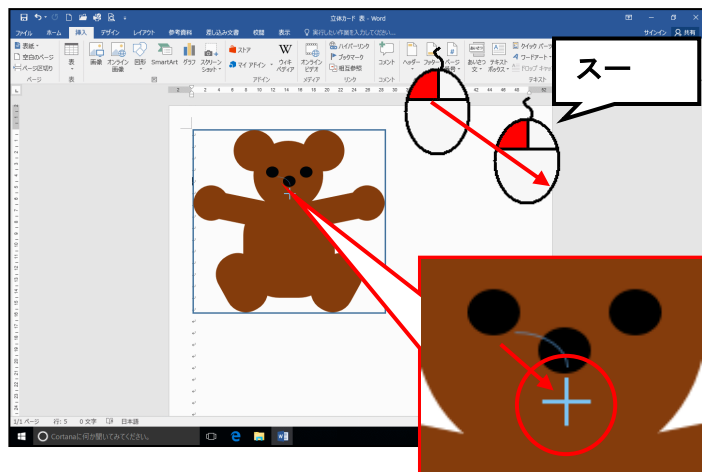
- 図形の塗りつぶしの色を設定する方法を忘れた方は、P13 (2) 図形の塗りつぶしの色を設定するを参照してください。
- 図形の枠線を消す方法を忘れた方は、P15 (3) 図形の枠線を消すを参照してください。

右目をコピーし、左目と鼻を作成しましょう。

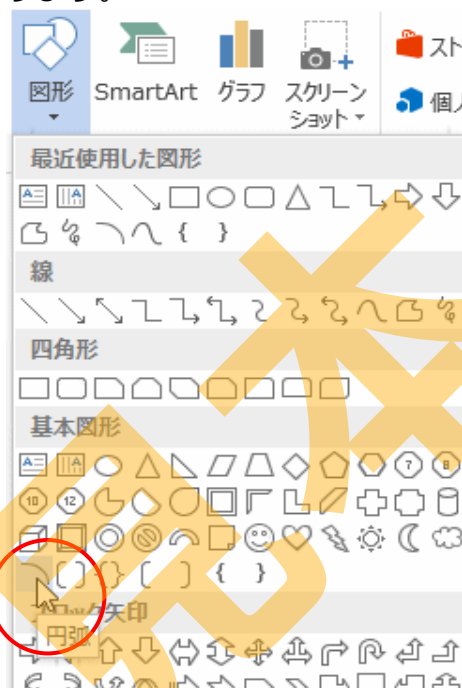


- 左目を作成するときは、[Ctrl] キーと [Shift] キーを押しながらドラッグして水平にコピーしましょう。
- 図形をコピーする方法を忘れた方は、P17 (4) 図形をコピーするを参照してください。

口にする図形の「円弧」を選択し、マウスポインターが+の状態で右下へドラッグしてひとつ描きましょう。



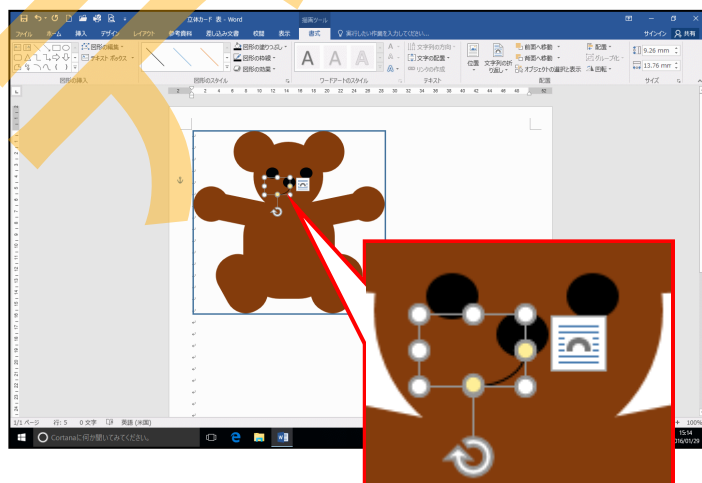
●「円弧」は「基本図形」の中にあります。



●「円弧」は円の外周の一部（弧）を描ける図形です。

●（変形ハンドル）をドラッグすることで、弧の長さを伸ばしたり縮めたりすることが出来ます。選択した状態で周りに見える四角形をドラッグすることで、縦横に自由に拡大・縮小することが出来ます。思う形になるまでゆっくり調整してみましょう。

図形が選択されていることを確認し、枠線の色を「黒、テキスト1」にし、上下反転しましょう。



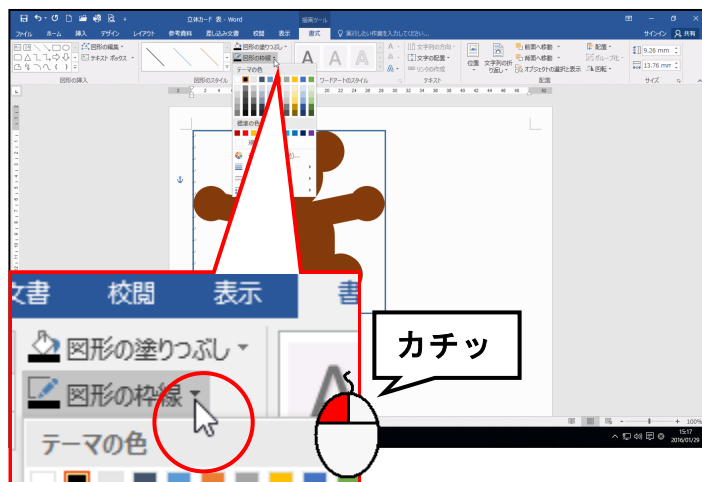
●図形の枠線の色を設定する方法を忘れた方は、P15（3）図形の枠線を消すを参照してください。

●図形を上下反転する方法を忘れた方は、P21（7）図形を左右反転するを参照してください。

●図形を上下反転した後に、思う位置に図形が配置されない場合は、図形を選択した状態で、キーボードの【矢印】キーを押します。

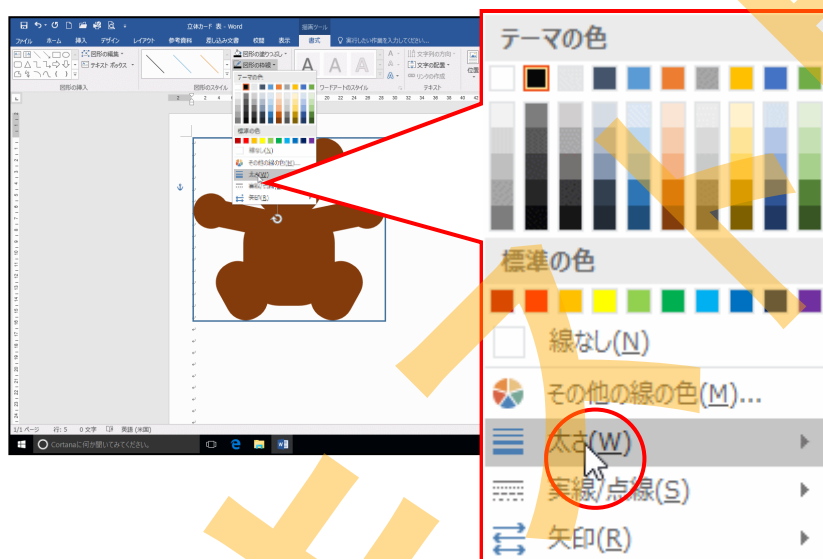


枠線の太さを変えるため、[図形のスタイル] グループにある  図形の枠線 ▾ [図形の枠線] ボタンにポイントし、クリックします。

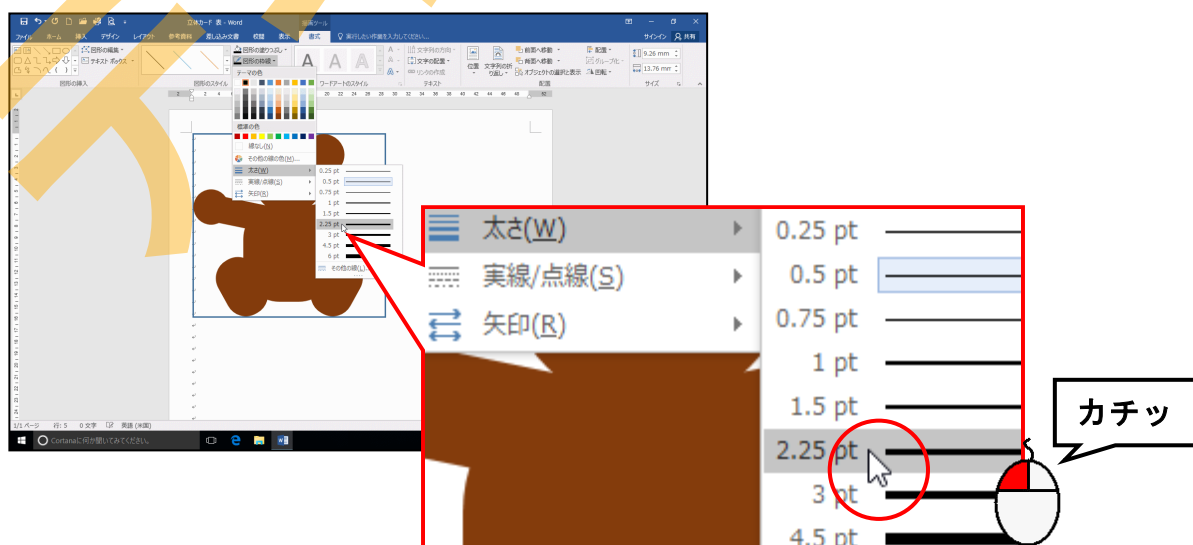


●  をクリックすると、図形の枠線に関するメニューが表示されないため、図形の枠線 ▾ をクリックしましょう。

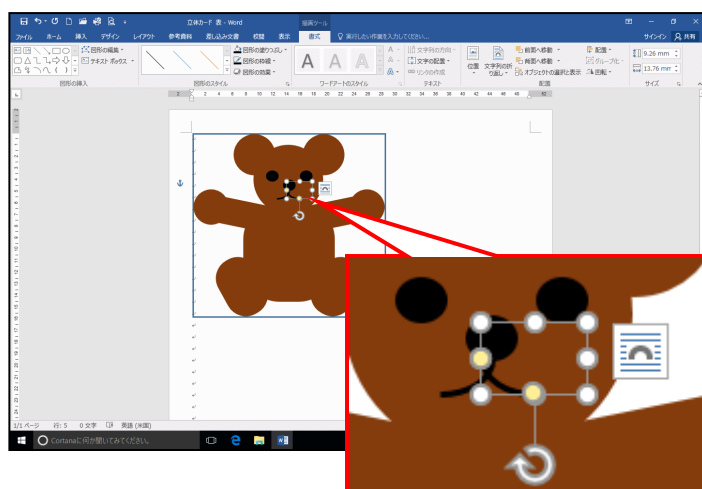
表示された一覧から [太さ(W)] にポイントします。



さらに表示される一覧から、「2.25pt」にポイントし、クリックします。

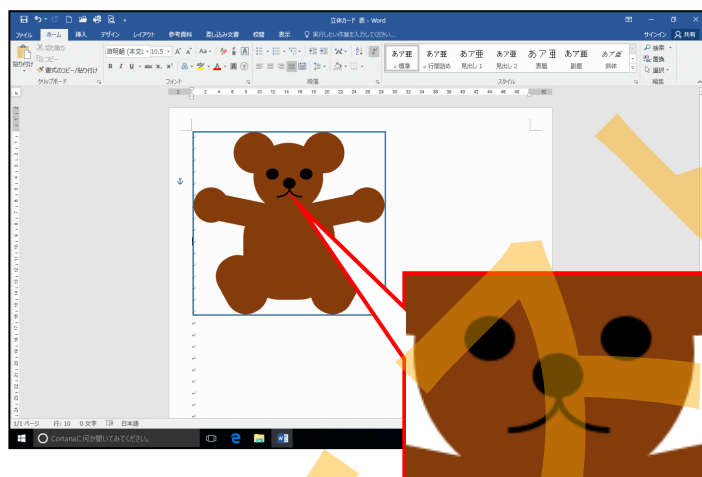


描いた円弧を右にコピーし、左右反転しましょう。

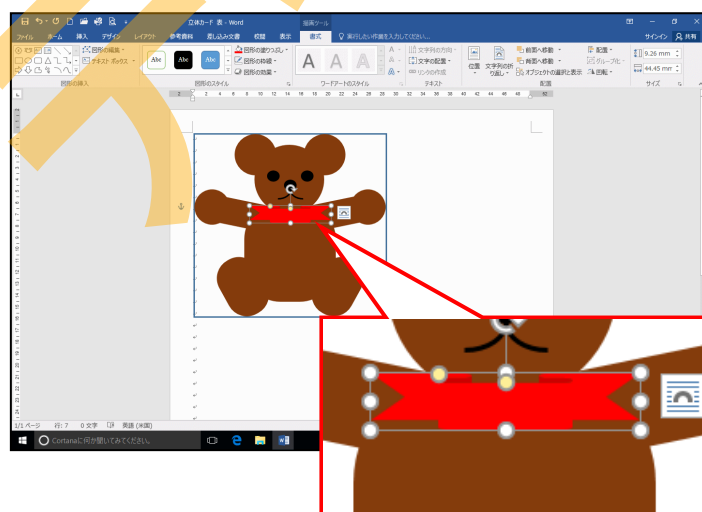


- 円弧をコピーするときは【Ctrl】キーと【Shift】キーを押しながらドラッグして水平にコピーしましょう。
- 図形をコピーする方法を忘れた方は、P17（4）図形をコピーするを参照してください。
- 図形を左右反転する方法を忘れた方は、P21（7）図形を左右反転するを参照してください。

位置を調整し、口を完成しましょう。

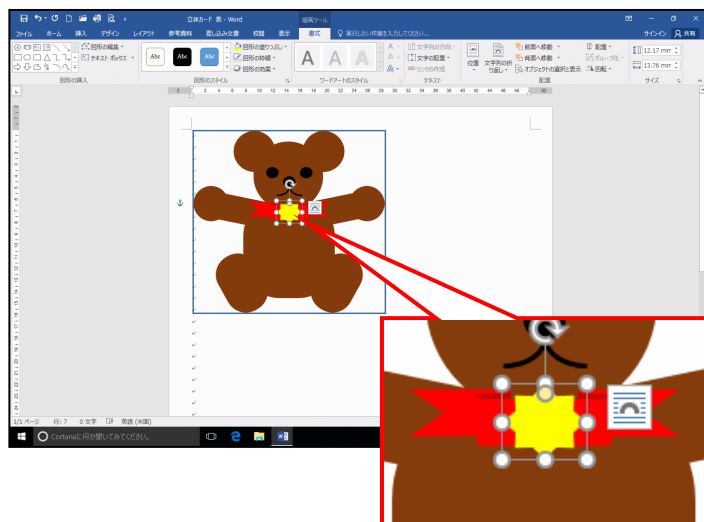


首の飾りにする図形の「下リボン」を描き、図形の色を「赤」に、枠線の色を「線なし」にしましょう。



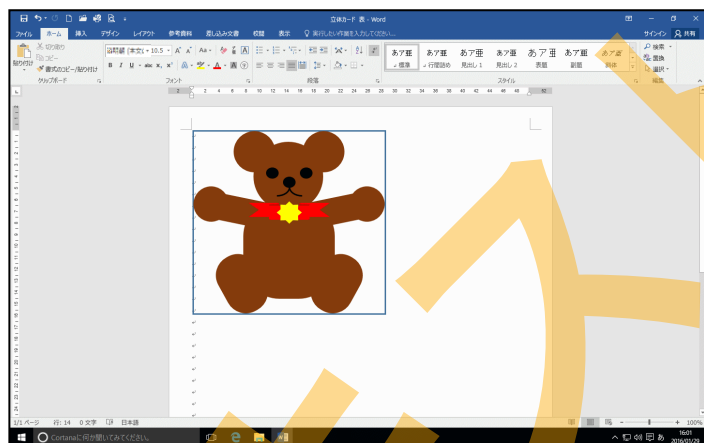
- 図形の塗りつぶしの色を設定する方法を忘れた方は、P13（2）図形の塗りつぶしの色を設定するを参照してください。
- 図形の枠線を消す方法を忘れた方は、P15（3）図形の枠線を消すを参照してください。

首の飾りにする図形の「星 8」を描き、図形の色を「黄」に、枠線の色を「線なし」にしましょう。



- 図形の塗りつぶしの色を設定する方法を忘れた方は、P13（2）図形の塗りつぶしの色を設定するを参照してください。
- 図形の枠線を消す方法を忘れた方は、P15（3）図形の枠線を消すを参照してください。

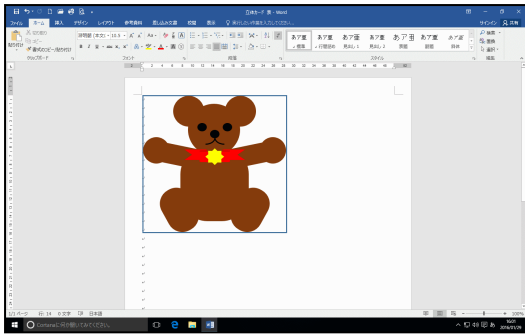
描いた図形の位置を再調整し、くまを完成しましょう。



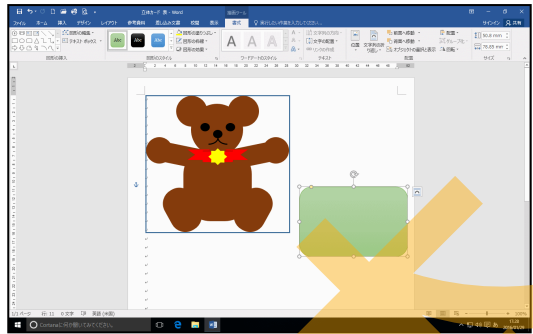
(8) 図形にスタイルを設定する

◆図形にスタイルを設定する方法をマスターしましょう。

操作前



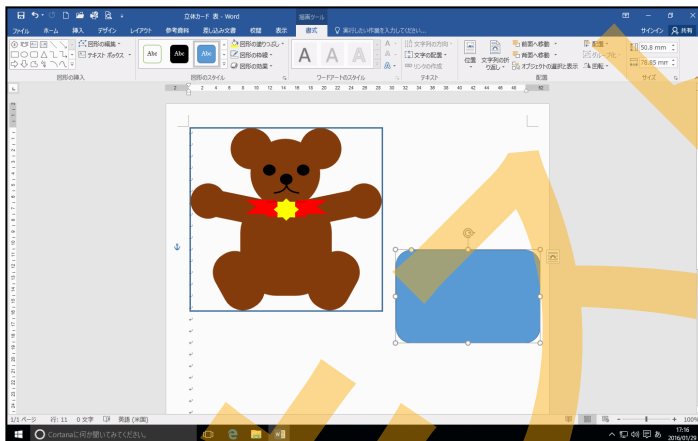
操作後



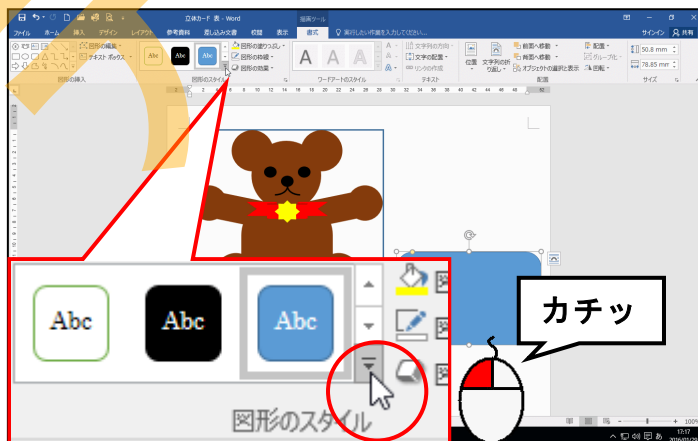
注意!

操作は下からです！

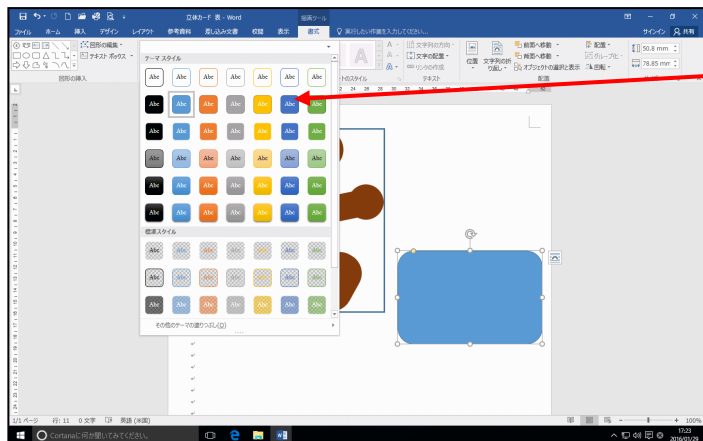
下図を参考にメッセージカードにする図形の「角丸四角形」を描きましょう。



図形が選択されていること、[書式] タブが選択されていることを確認し、[図形のスタイル] グループ内の [その他] ボタンにポイントし、クリックします。

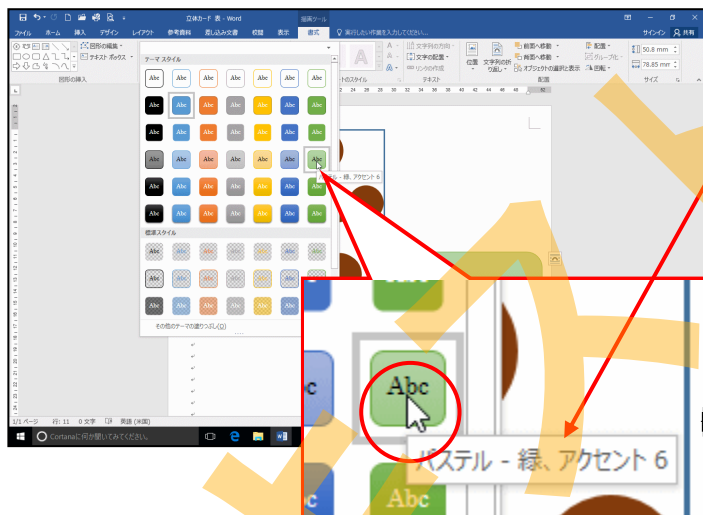


- [書式] タブが選択されていない方は、[書式] タブをクリックしてから操作しましょう。

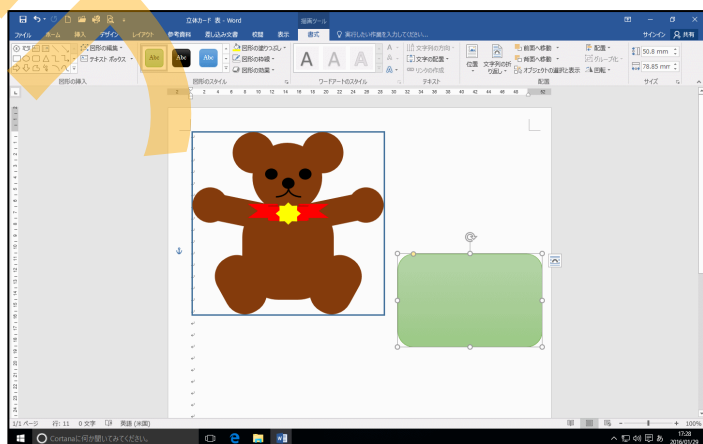


- [その他] ボタンをクリックすると、図形のスタイルの一覧が表示されます。

表示されたスタイルの一覧から「パステル-緑、アクセント 6」にポイントし、クリックします。



- 目的のスタイルにポイントすると、スタイルの種類がポップヒントとして表示されます。

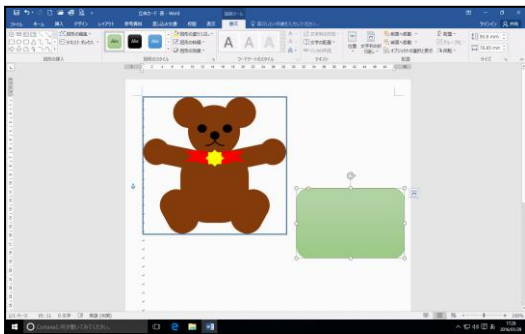


- スタイルが設定されました。

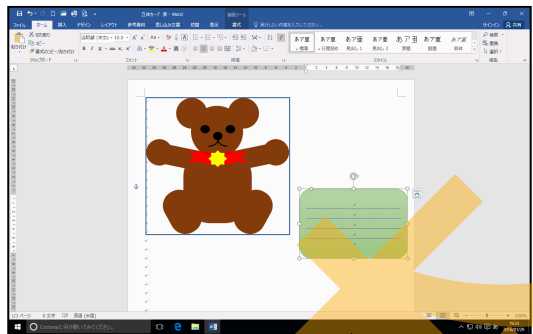
(9) 図形に段落罫線を引く

◆図形に段落罫線を引く方法をマスターしましょう。

操作前



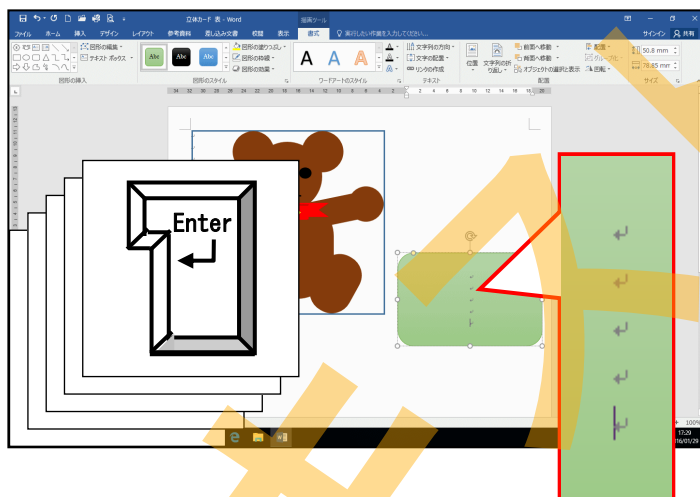
操作後



注意!

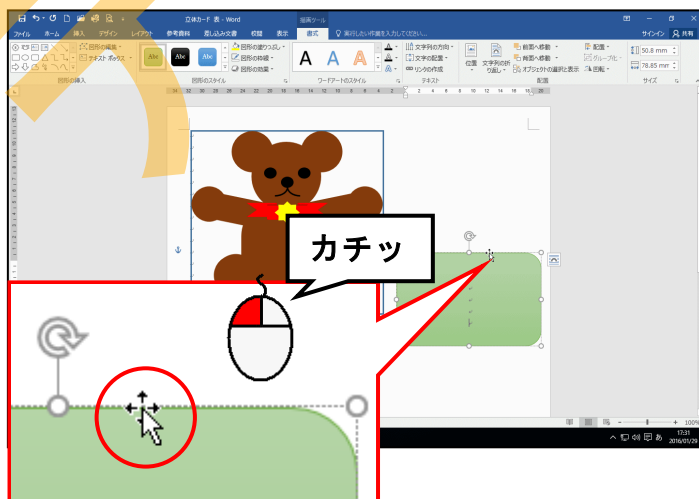
操作は下からです!

図形が選択されていることを確認し、[Enter] キーを5回押します。

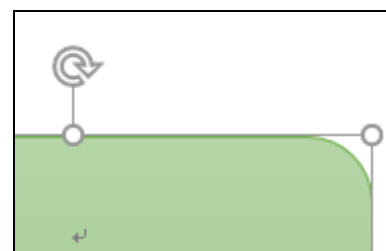


- [Enter] キーを押すことで、図形に段落が追加されます。段落が追加されたことは、⏏ (改行マーク) が図形の中にあることで確認できます。

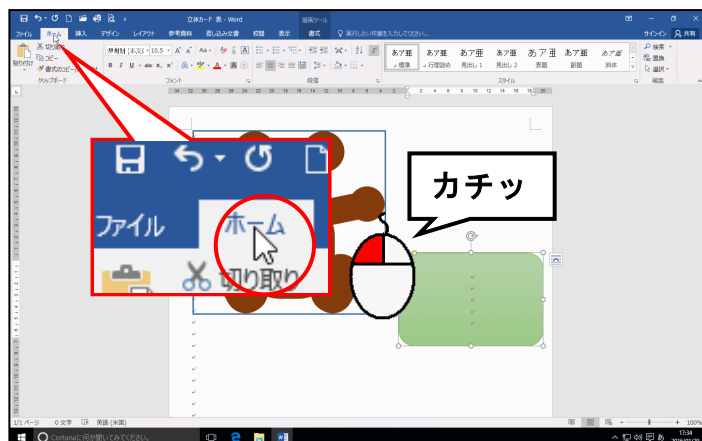
図形を選択するため、図形の線の上でマウスポインターが  の状態の時にクリックします。



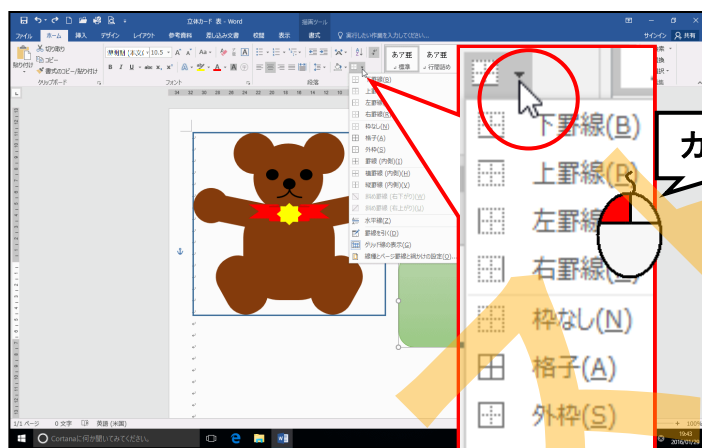
- クリックすると、次のように図形の周りの線が、点線から実線に変わります。



「ホーム」タブにポイントし、クリックします。

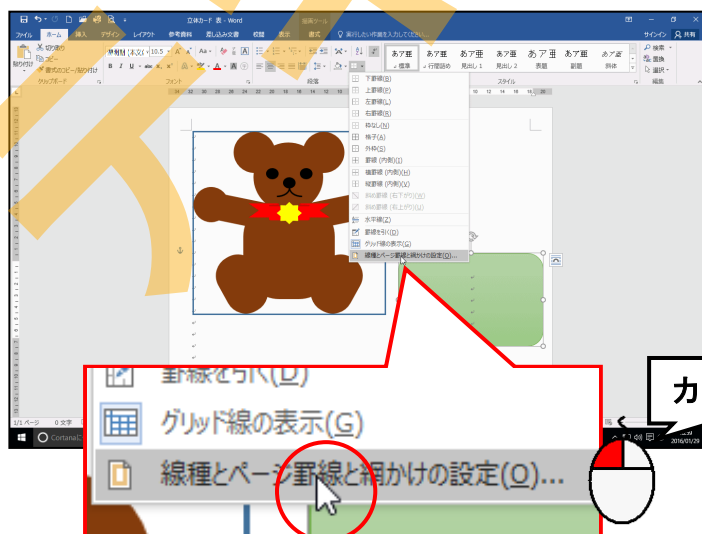


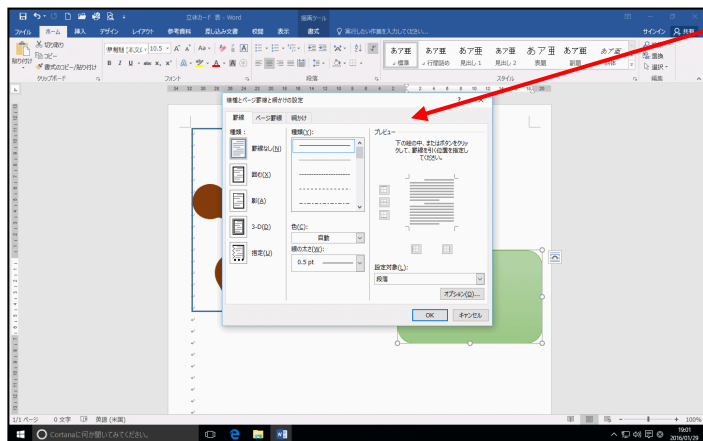
「段落」グループにある「罫線」ボタンの右にある▼にポイントし、クリックします。



●クリックすると、罫線の一覧が表示されます。

表示された一覧の中から「線種とページ罫線と網かけの設定(O)...」にポイントし、クリックします。





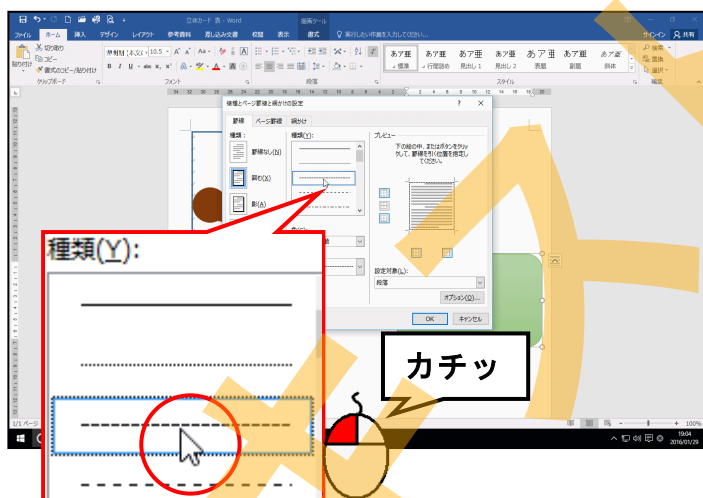
● [線種とページ罫線と網かけの設定 (0)...] をクリックすると、[線種とページ罫線と網かけの設定] ダイアログボックスが表示されます。

● 図形が選択されていないと下図のように [設定対象(L):] ボックスに「文字」が表示されてしまいます。この時は、一旦 [キャンセル] ボタンでダイアログボックスを閉じて、図形を選択してから、再度 [線種とページ罫線と網かけの設定] ダイアログボックスを表示させましょう。

設定対象(L):

文字

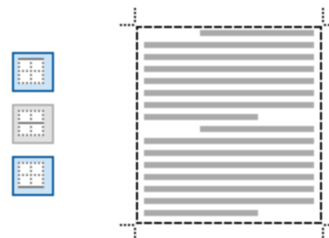
[罫線] タブの [種類(Y):] で「上から3番目の点線」にポイントし、クリックします。



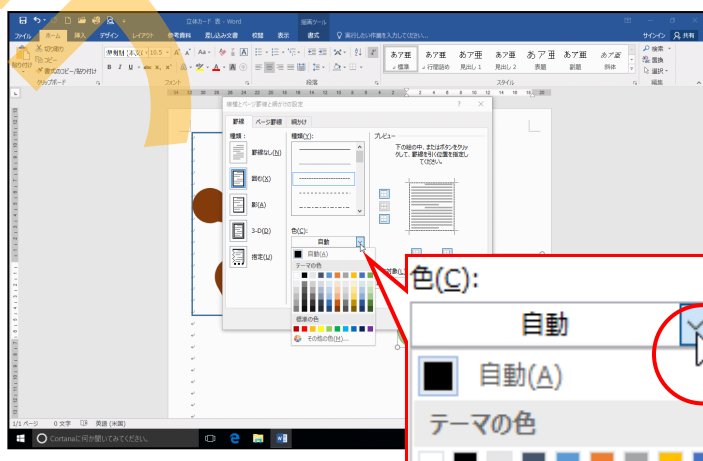
● この時点で、次のように右側の [プレビュー] に点線が表示されます。

プレビュー

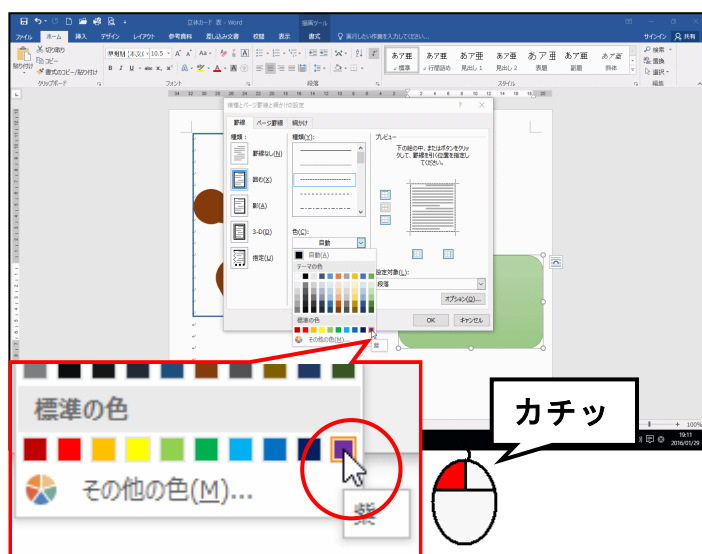
下の絵の中、またはボタンをクリックして、罫線を引く位置を指定してください。



[罫線] タブの [色(C):] の右にある ▾ にポイントし、クリックします。



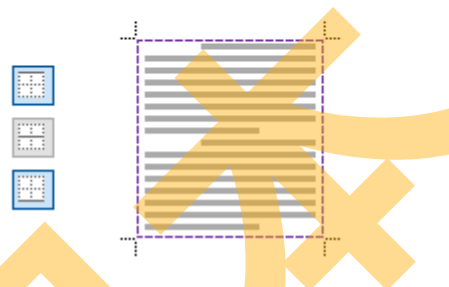
表示された一覧から「紫」にポイントし、クリックします。



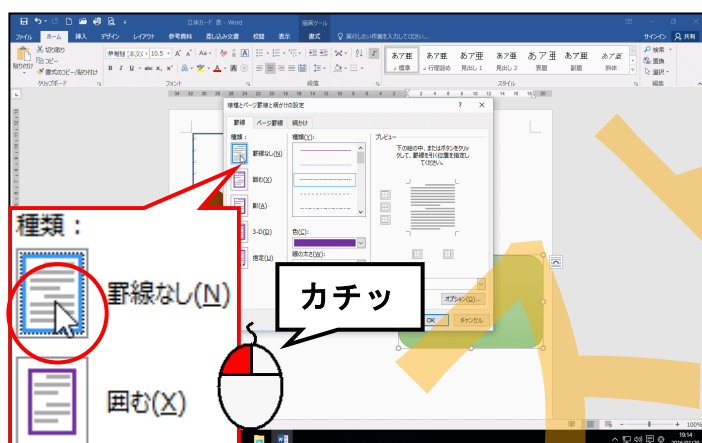
●この時点で、次のように右側の【プレビュー】の点線の色が変わります。

プレビュー

下の絵の中、またはボタンをクリックして、野線を引く位置を指定してください。



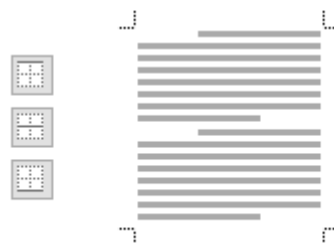
左側の【種類：】の一番上にある【野線なし(N)】にポイントし、クリックします。



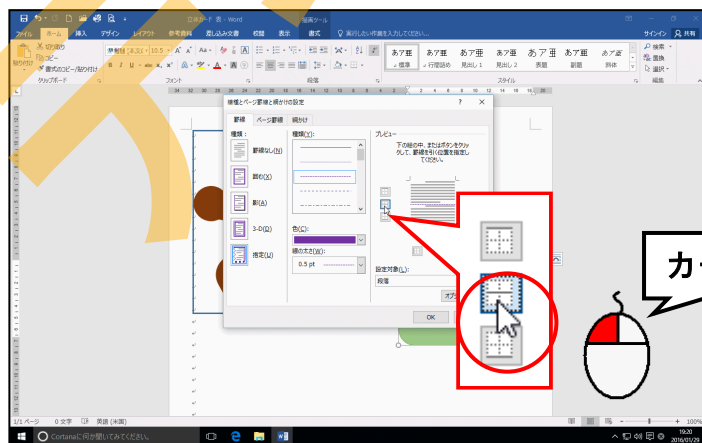
●クリックすると次のように表示されていた点線が全て消えます。

プレビュー

下の絵の中、またはボタンをクリックして、野線を引く位置を指定してください。



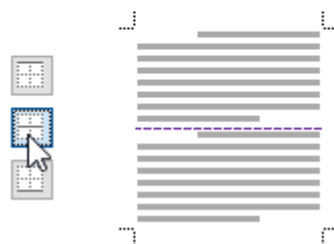
右側の【プレビュー】で中央にある【横野線(内側)】ボタンにポイントし、クリックします。



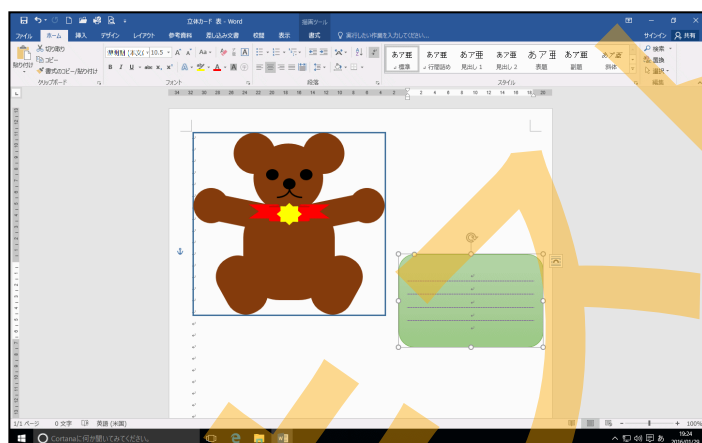
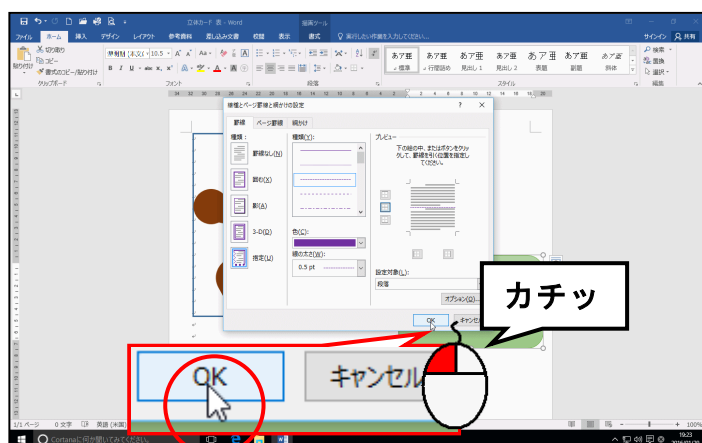
●クリックすると次のように点線が表示されます。

プレビュー

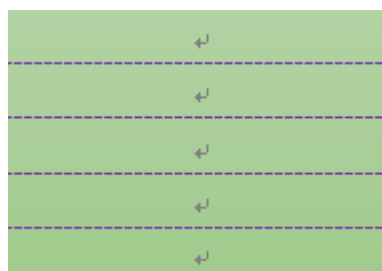
下の絵の中、またはボタンをクリックして、野線を引く位置を指定してください。



「線種とページ罫線と網かけの設定」ダイアログボックスの右下にある「OK」ボタンにポイントし、クリックします。



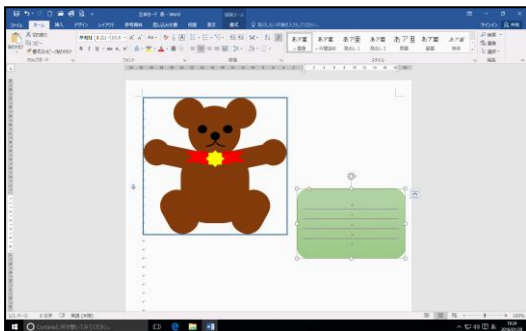
● 「OK」ボタンをクリックした時点で、図形の中に段落罫線が引かれます。



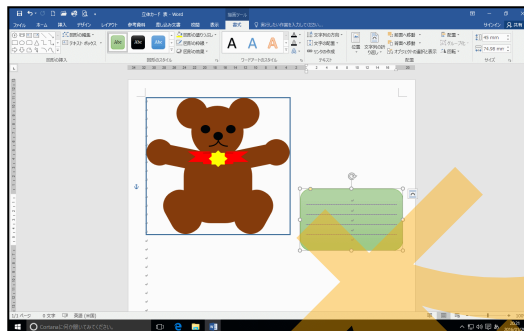
(10) 図形の大きさを数値で設定する

◆図形の大きさを数値で設定する方法をマスターしましょう。

操作前



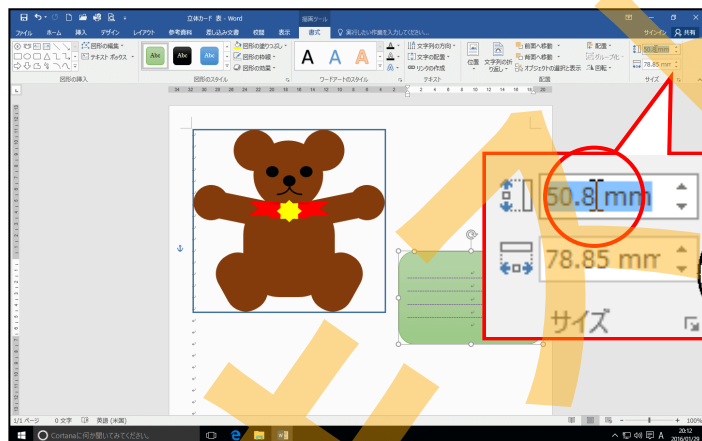
操作後



注意!

操作は下からです!

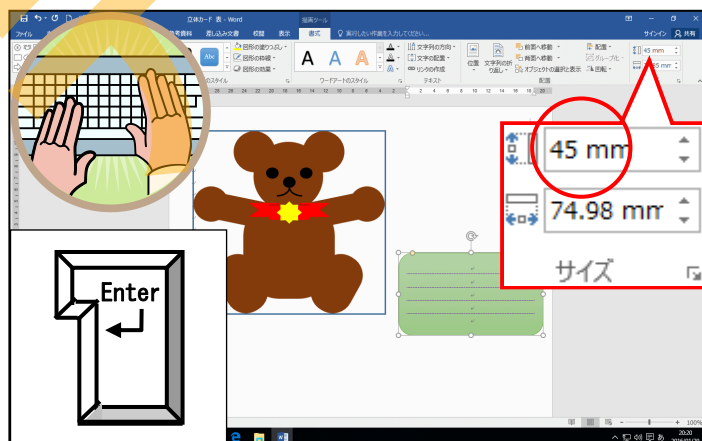
メッセージカードの図形が選択されていることを確認し、[書式] タブの [サイズ] グループの [図形の高さ] ボックスの数字の上でクリックし、反転表示させます。



●クリックすると、数字が青く反転表示されます。

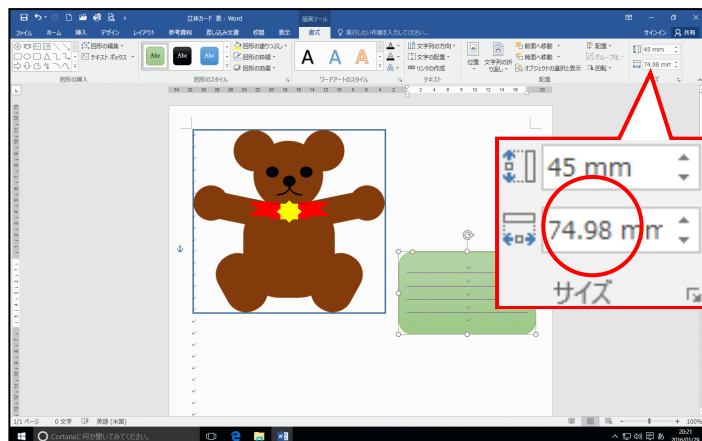
カチッ

反転表示させた状態で「45」と入力し、[Enter] キーを押して数値を確定します。



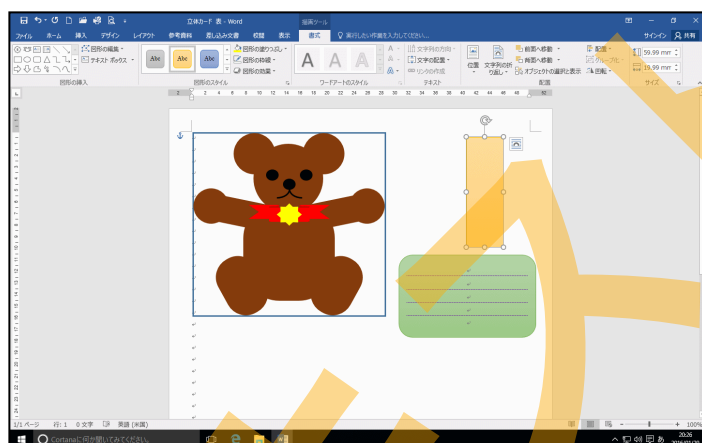
●確定した時点で図形の高さが 45mm に設定されます。

同じように [図形の幅] ボックスも「75 mm」に設定しましょう。



- 「75」と入力しても、左のようにごくわずかにずれが生じることがありますが、気にしないで続けましょう。

下図を参考に、メッセージカードの上に図形「正方形／長方形」を挿入し、図形の高さを「60 mm」、図形の幅を「20 mm」、図形のスタイルを「パステルゴールド、アクセント 4」に設定しましょう。

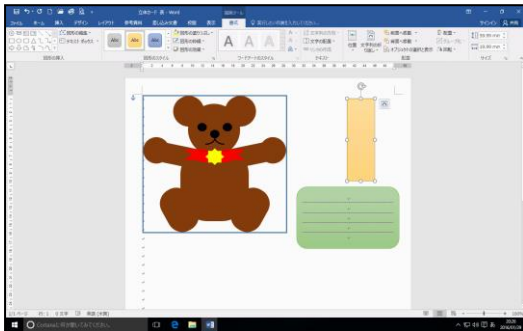


- 図形にスタイルを設定する方法を忘れた方は、P31（8）図形にスタイルを設定するを参照してください。
- 図形の大きさを設定する方法を忘れた方は、P38（10）図形の大きさを数値で設定するを参照してください。

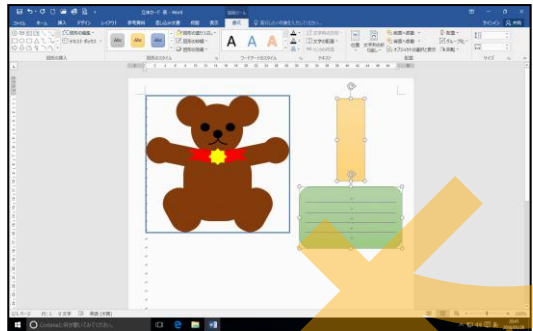
(11) 図形の位置を揃える

◆図形の位置を揃える方法をマスターしましょう。

操作前



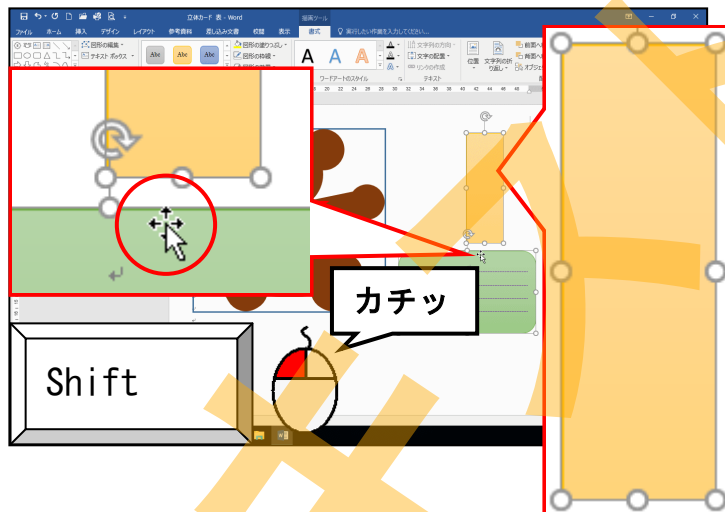
操作後



注意!

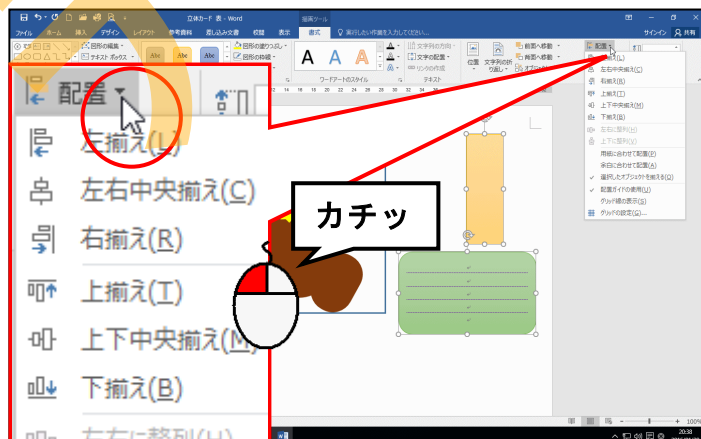
操作は下からです!

メッセージカードと上に描いた四角形を同時に選択するため、四角形が選択された状態で、[Shift] キーを押しながらメッセージカードをクリックしましょう。

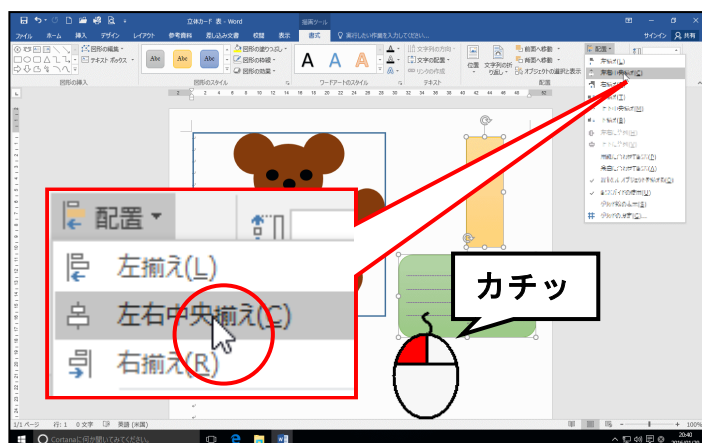


●ひとつ目の図形をクリックし、ふたつめ以降の図形を[Shift] キーを押しながらクリックすると、同時に複数の図形を選択できます。

[書式] タブの [配置] グループにある 配置 ▾ [配置] ボタンにポイントし、クリックします。



表示された一覧から、[左右中央揃え(C)] にポイントし、クリックします。

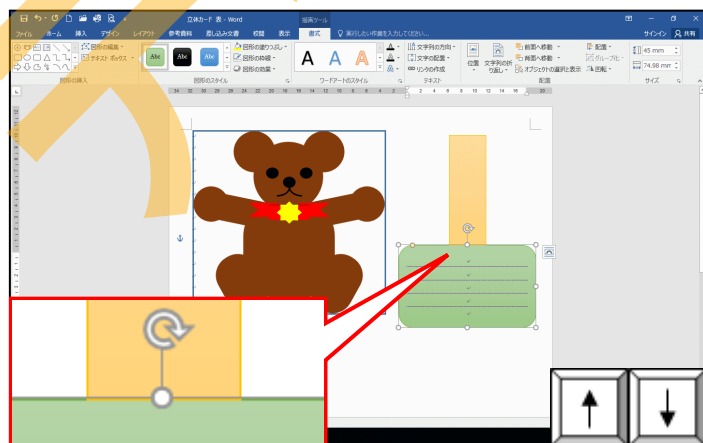


- 配置 ▾ [配置] ボタンをクリックすると、下図のように一覧が表示され、それぞれ配置することができます。

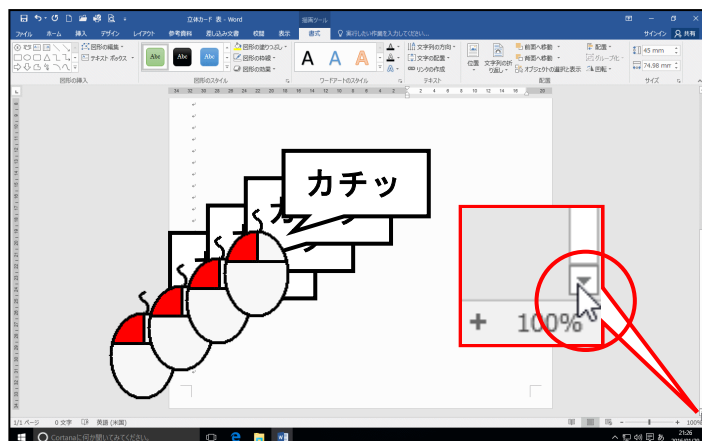


- クリックした時点で、上の四角形の図形と、下の角丸四角形が左右の中央で揃います。

選択を解除し、メッセージカードの上辺と上に描いた四角形の下辺が離れている場合は、図形のどちらかひとつを選択し、キーボードの上下矢印キーで調整しておきましょう。

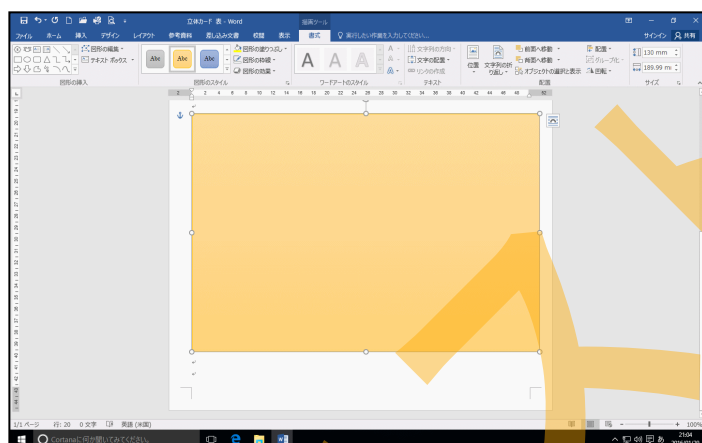


用紙の一番下が見える位置まで画面を下へスクロールしましょう。



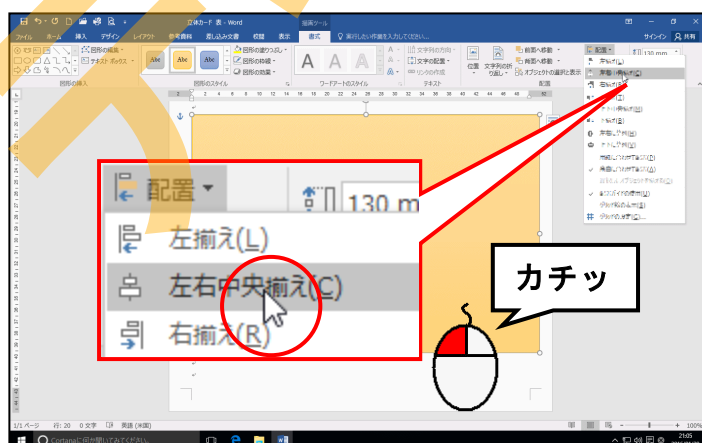
- 用紙の下側に図形を挿入するため、画面をスクロールして挿入する位置を表示します。
- 画面を下にスクロールしたい時は、画面の右下にある ▾ [スクロール] ボタンをクリックし、上にスクロールしたい時は、画面の右上にある ▲ [スクロール] ボタンをクリックします。

下図を参考に、立体カードの台紙になる図形「正方形／長方形」を挿入し、図形の高さを「130 mm」、図形の幅を「190 mm」、図形のスタイルを「パステルゴールド、アクセント 4」に設定しましょう。



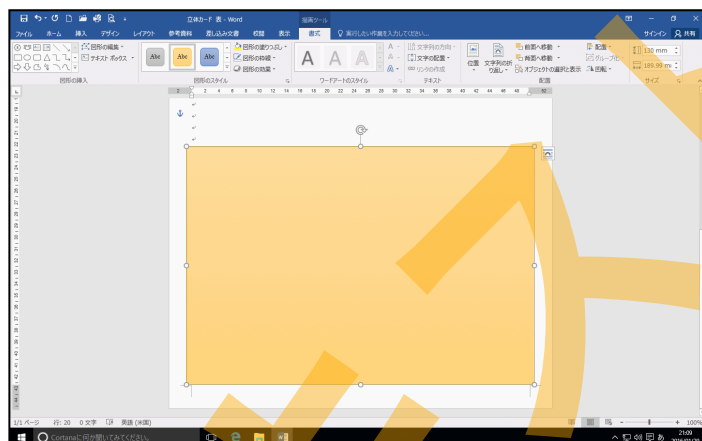
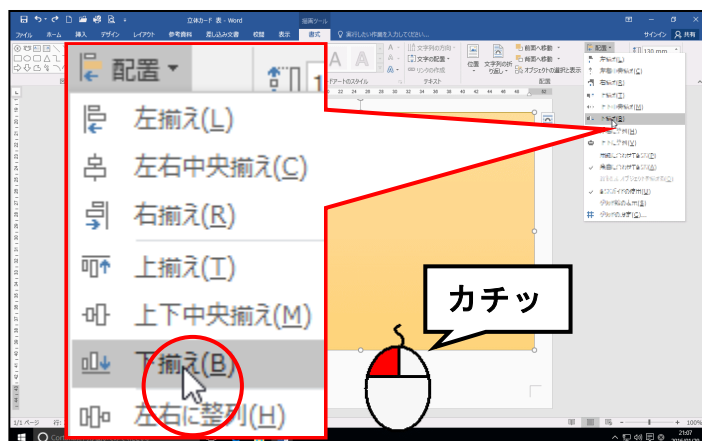
- 図形にスタイルを設定する方法を忘れた方は、P31（8）図形にスタイルを設定するを参照してください。
- 図形の大きさを設定する方法を忘れた方は、P38（10）図形の大きさを数値で設定するを参照してください。

図形が選択されていることを確認し、[書式] タブの [配置] グループにある 配置 ▾ [配置] ボタンをクリックし、表示された一覧から、[左右中央揃え (C)] にポイントし、クリックしましょう。



- クリックした時点で図形が用紙の左右の中央に揃います。

同様に、[書式] タブの [配置] グループにある  配置 ▾ [配置] ボタンをクリックし、表示された一覧から、[下揃え(B)] にポイントし、クリックしましょう。



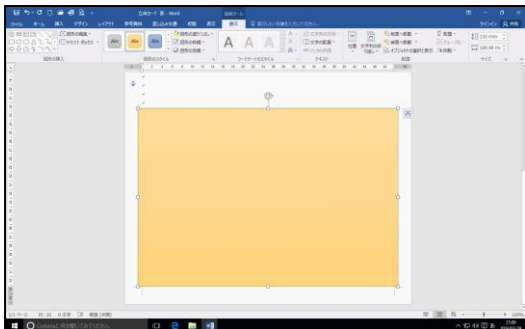
● クリックした時点で図形が余白の下端に揃います。

4. ワードアートを挿入する

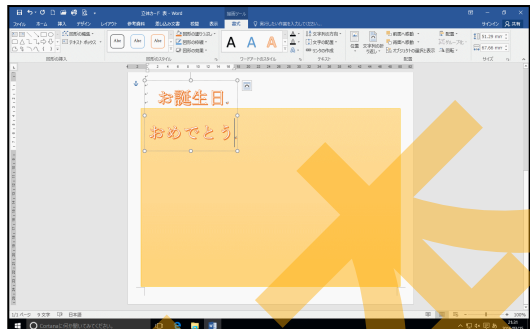
(1) ワードアートを挿入する

◆ワードアートを挿入する方法をマスターしましょう。

操作前

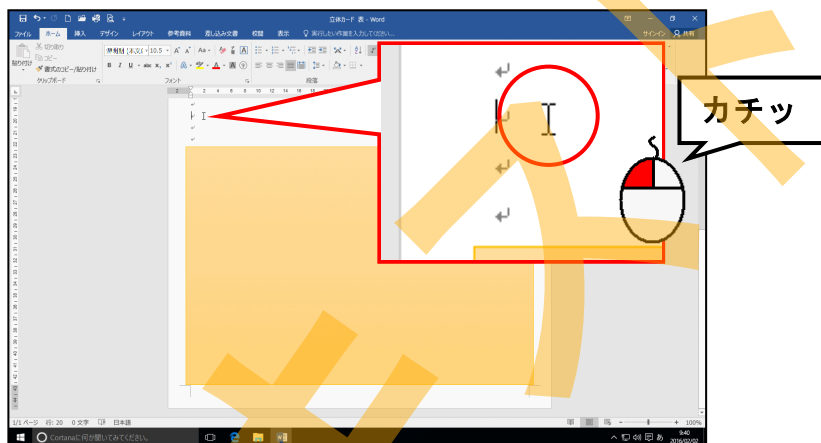


操作後

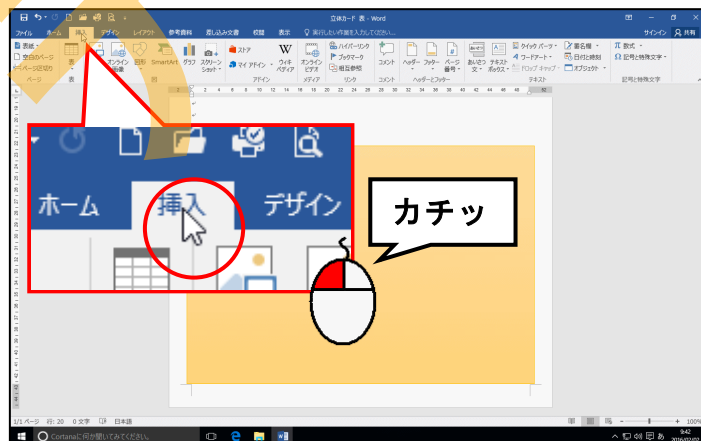


操作は下からです！

くまの図形と台紙の間にある空白行でクリックし、カーソルを移動します。

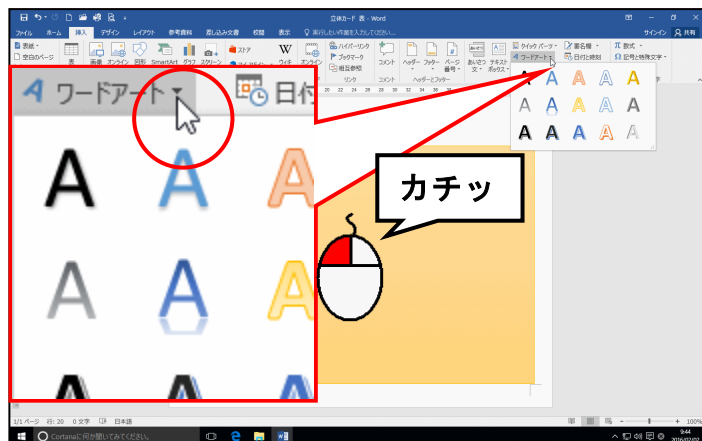


画面の左上にある【挿入】タブにポイントし、クリックします。



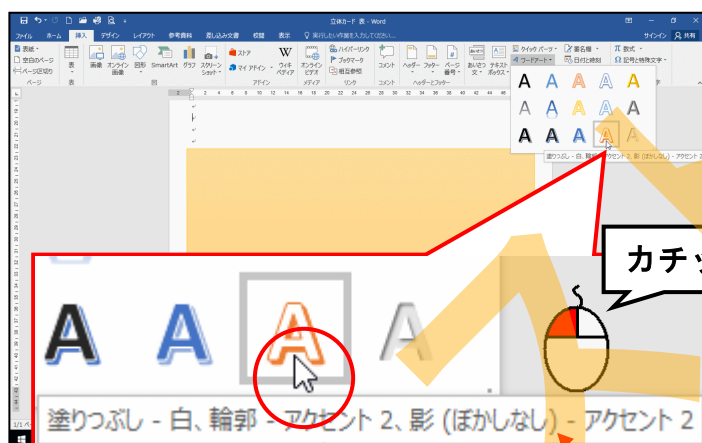
●【挿入】タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。

「[テキスト] グループ内にある **4 ワードアート**」ボタンにポイントし、クリックします。



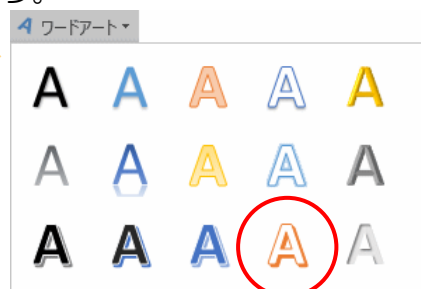
- **4 ワードアート**「[ワードアート]」ボタンをクリックすると、左のように「ワードアートギャラリー」が表示されます。

表示された「ワードアートギャラリー」の、「塗りつぶし - 白、輪郭 - アクセント 2、影 (ぼかしなし) - アクセント 2」(一番下の行、右から 2 列目)にポイントし、クリックします。

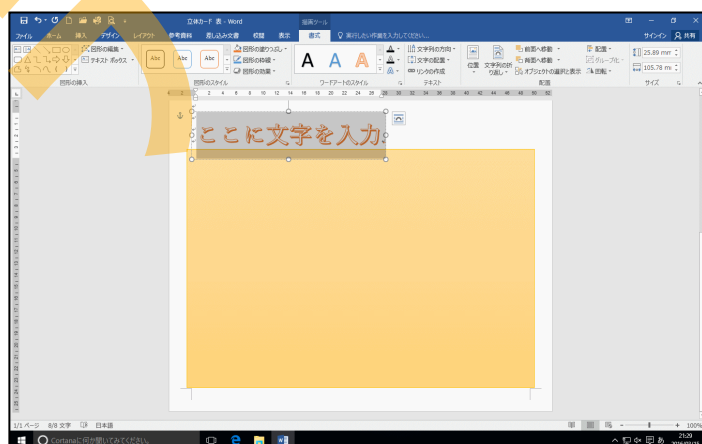


注意!

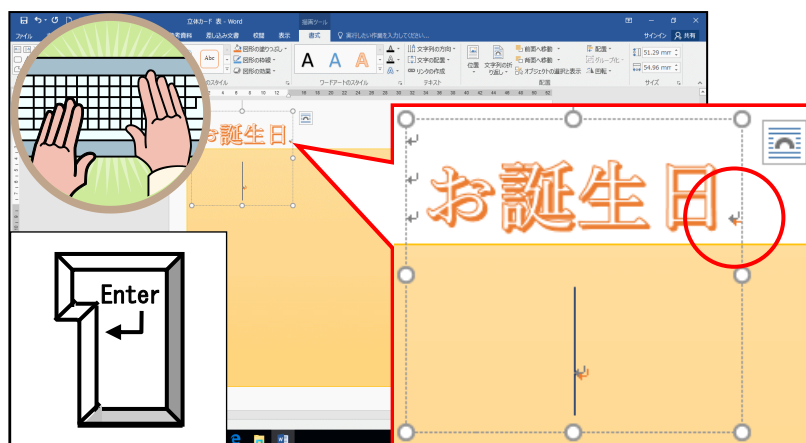
- お使いのパソコンによって、ワードアートスタイルの名称が異なる場合があります。下図を参考に選びましょう。



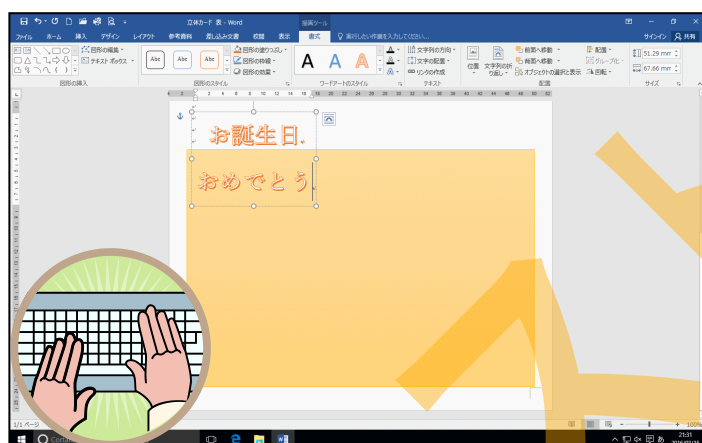
- 目的のワードアートスタイルにポイントして、マウスを動かさずにいると、ワードアートスタイルの種類がポップヒントとして表示されます。
- 次に文字を入力するため、反転表示したままにしておいてください。



「お誕生日」と入力し、[Enter] キーを押して改行します。



続けて「おめでとう」と入力しましょう。

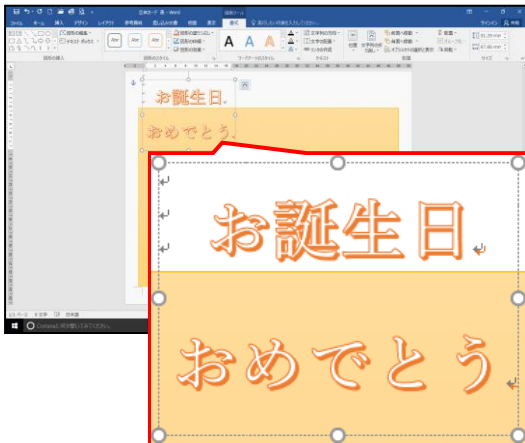


●ワードアートが挿入できました。

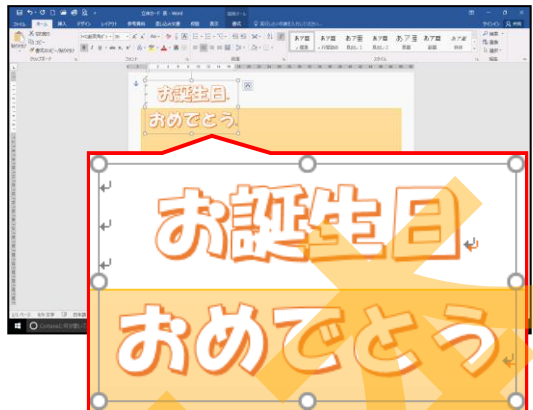
(2) ワードアートの文字の書体を変更する

◆ワードアートの文字の書体を変更する方法をマスターしましょう。

操作前



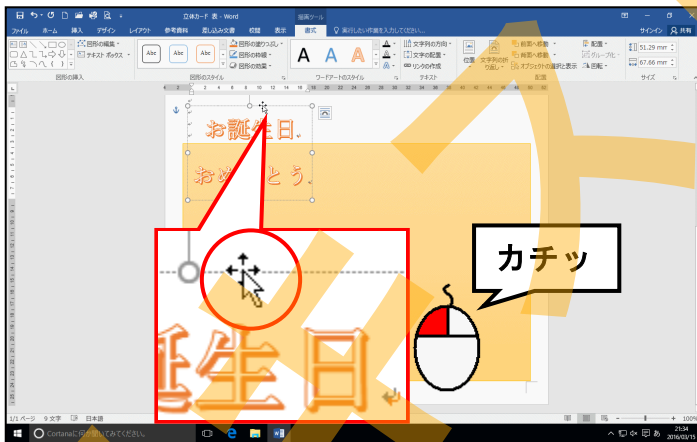
操作後



注意!

操作は下からです!

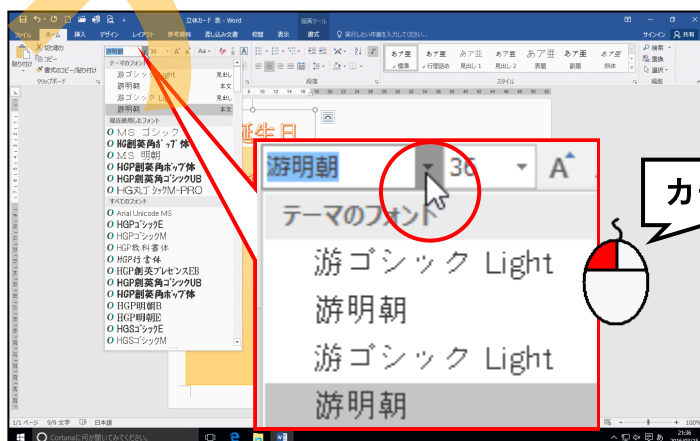
下図を参考に、挿入したワードアートの周りに表示されている点線にポイントし、マウスポインターが  の状態でクリックしましょう。



●クリックした時点で、ワードアートの周りの点線が、下図のように実線に変わります。

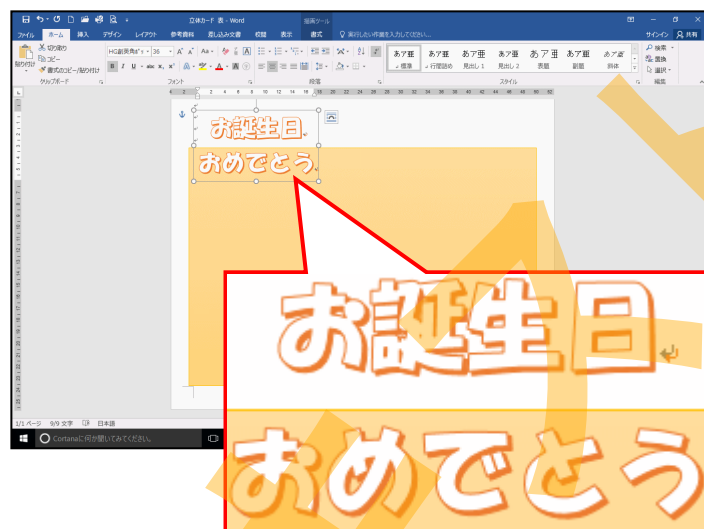
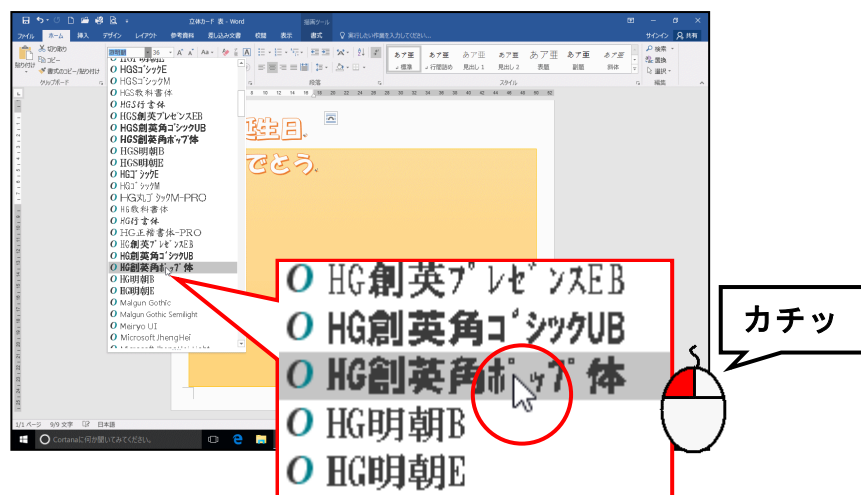


[ホーム] タブをクリックし、[フォント] グループ内にある **游明朝 (本文)** [フォント] ボックスの ▼ にポイントし、クリックします。



●クリックするとフォント（書体）の一覧が表示されます。

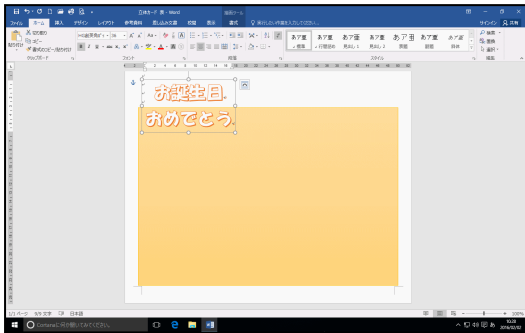
表示された書体の一覧から「HG 創英角ポップ体」にポイントし、クリックします。



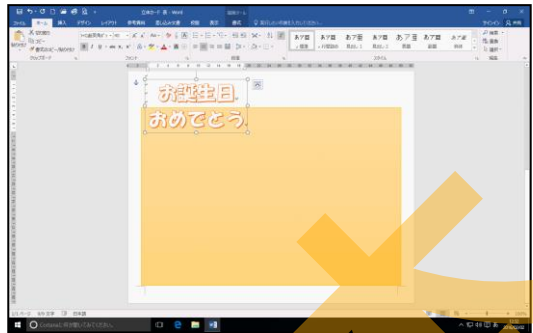
(3) ワードアートの文字の大きさを変更する

◆ワードアートの文字の大きさを変更する方法をマスターしましょう。

操作前



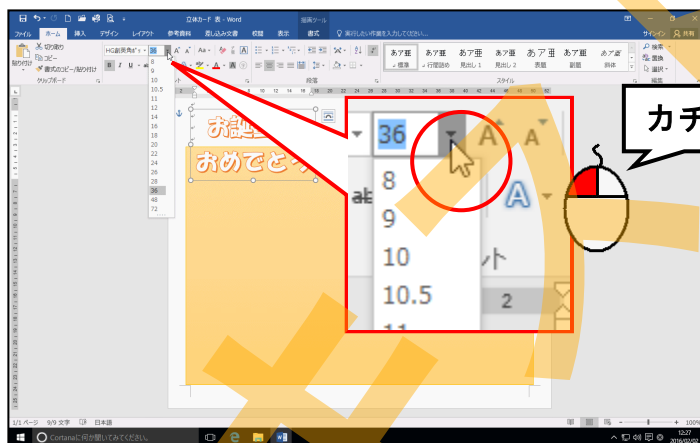
操作後



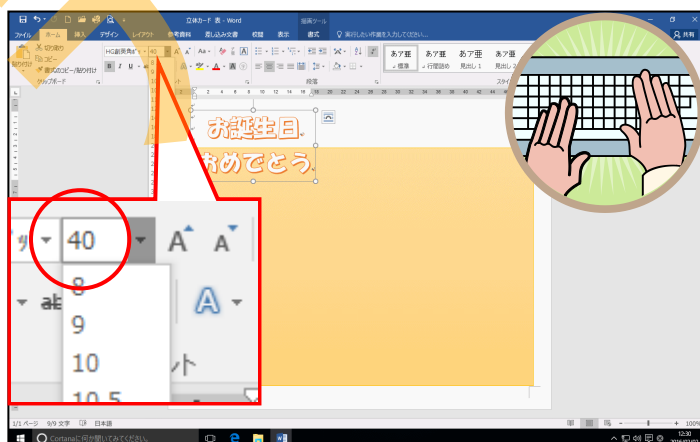
注意!

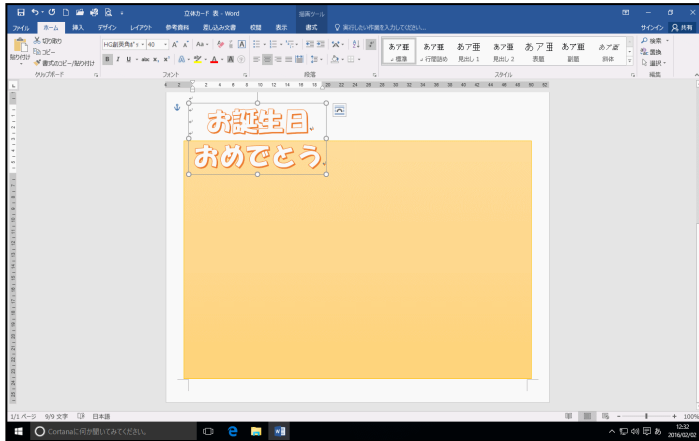
操作は下からです！

【ホーム】タブの【フォント】グループ内にある 36 ▼ 【フォントサイズ】ボックスの ▼ にポイントし、クリックします。



数字が青く反転表示された状態で「40」と入力し、エンターキーを押して確定します。



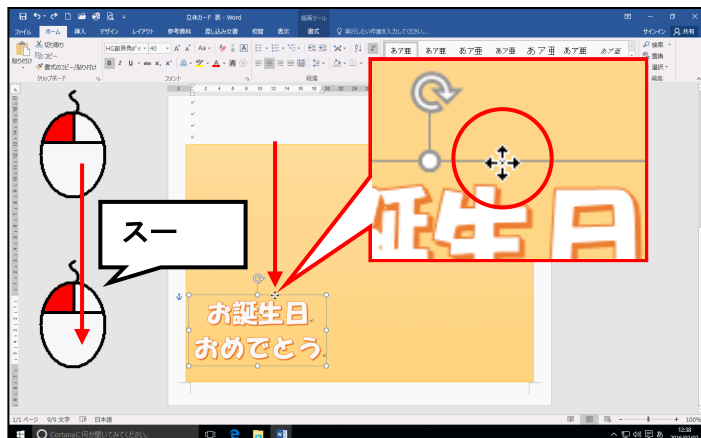


●文字の大きさが変更できました。



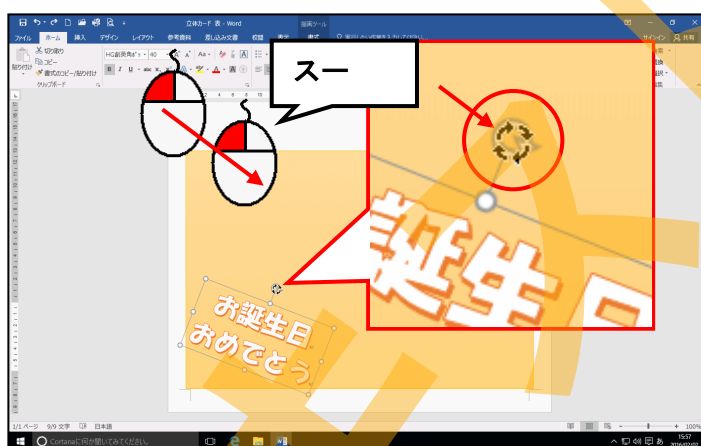
●次の操作のためにワードアートに諸設定を行いましょう。

下図を参考に、挿入したワードアートの周りに表示されている実線にポイントし、マウスポインターが  の状態でドラッグし移動しましょう。

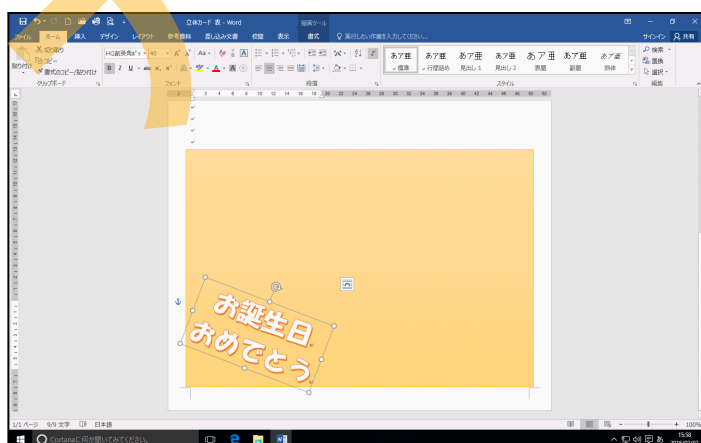


●移動中、マウスポインターは  の状態になります。

下図を参考に、挿入したワードアートの  (回転ハンドル) にポイントし、右下に向かってドラッグし、少し回転させます。



●回転中、マウスポインターは  の状態になります。



●回転できました。

5. 画像を挿入する

(1) 画像を挿入する

注意!

インターネットや本などから取った写真やイラスト、言葉などには著作権があります！

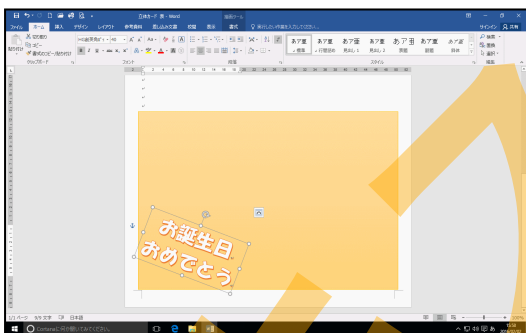
インターネットや本などから取った写真やイラストで、皆さんが作成した成果物を業者などに依頼し、それを購入すると、業者側の責任はもちろん、依頼した皆さんも責任に問われることがありますので、著作権法には、十分に注意しましょう。

家庭内で仕事以外の目的で使用するためにご自分で作成、印刷するのであれば（私的使用のため）、著作物は自由に使えます。

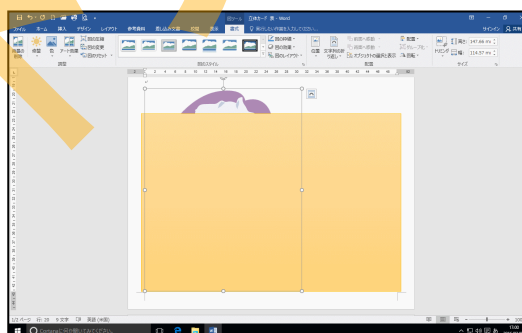


◆画像を挿入する方法をマスターしましょう。

操作前



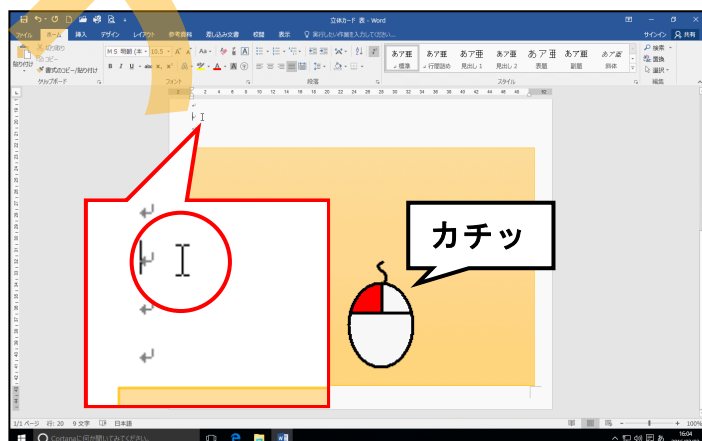
操作後



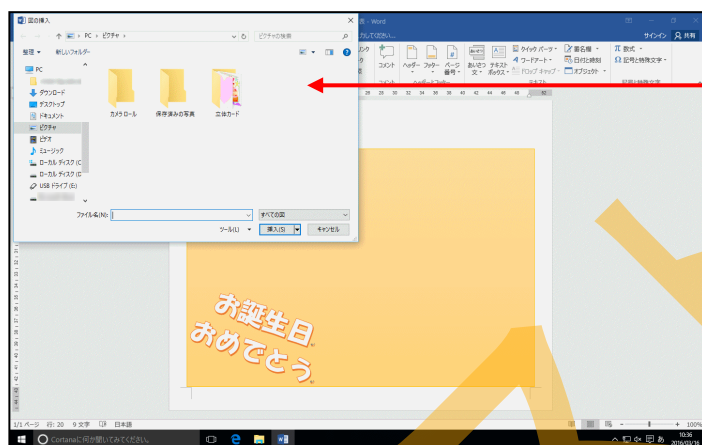
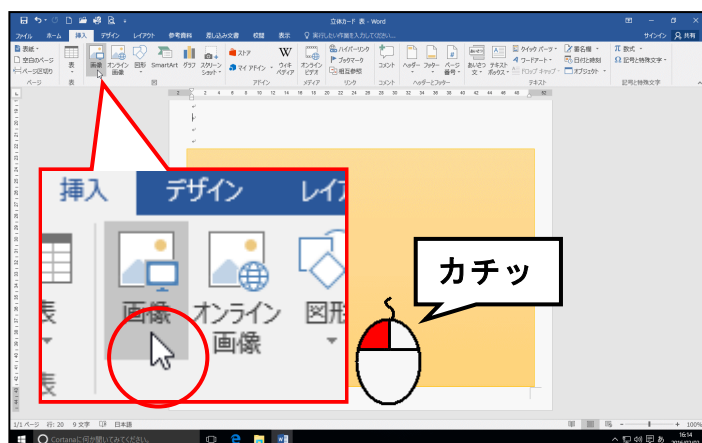
注意!

操作は下からです！

くまの図形と台紙の間にある空白行でクリックし、カーソルを移動します。

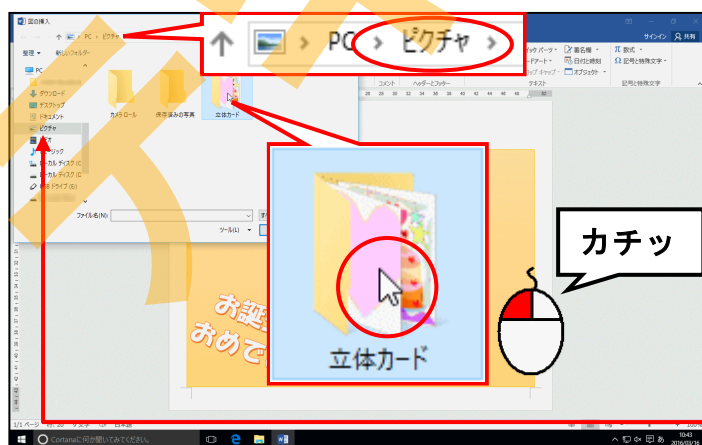


「挿入」タブの「図」グループにある「画像」ボタンにポイントし、クリックします。

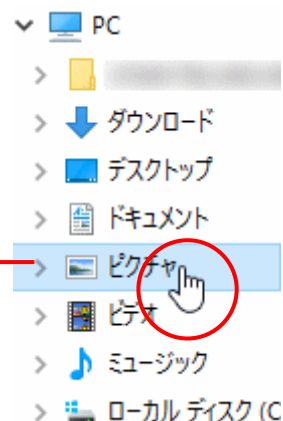


- 「画像」ボタンをクリックすると、左のように挿入する写真のある場所を指定するための「図の挿入」ダイアログボックスが表示されます。

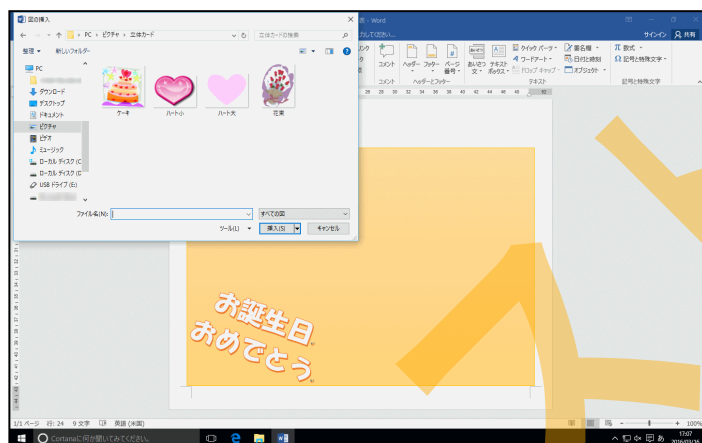
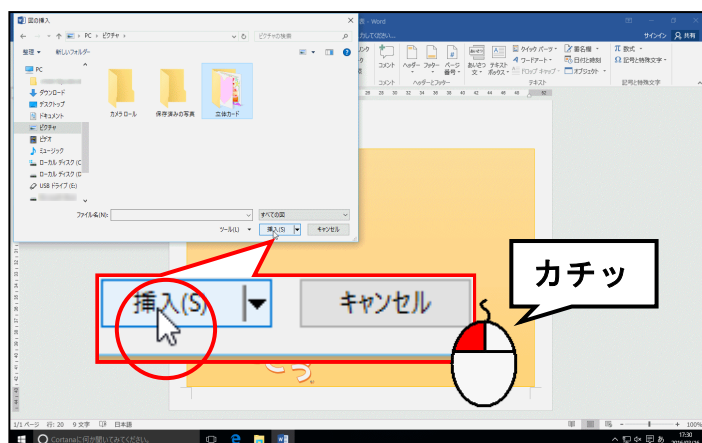
「図の挿入」ダイアログボックスの「ファイルの場所」ボックスに「ピクチャ」が表示されていることを確認して「立体カード」フォルダーにポイントし、クリックします。



- 「ピクチャ」が表示されていない場合は、画面の左側の「ピクチャ」をクリックしましょう。



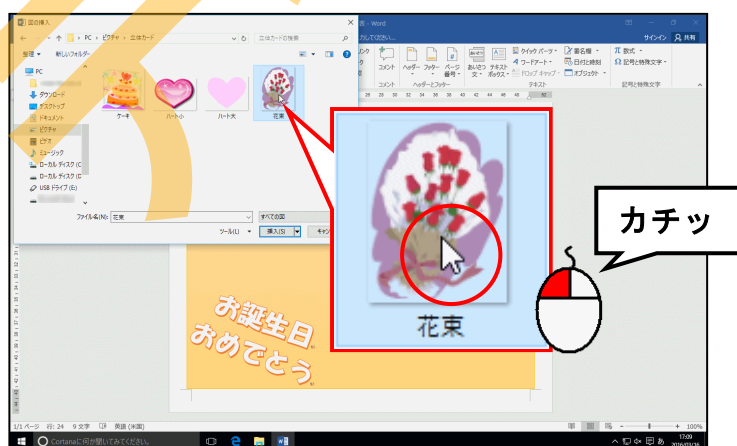
【図の挿入】ダイアログボックス右下の【挿入(S)】ボタンにポイントし、クリックします。



●【挿入(S)】ボタンをクリックすると、左のように「立体カード」フォルダーの中身が表示されます。

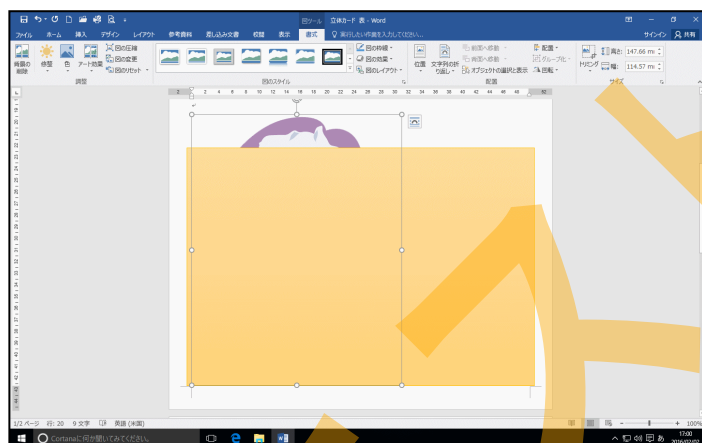
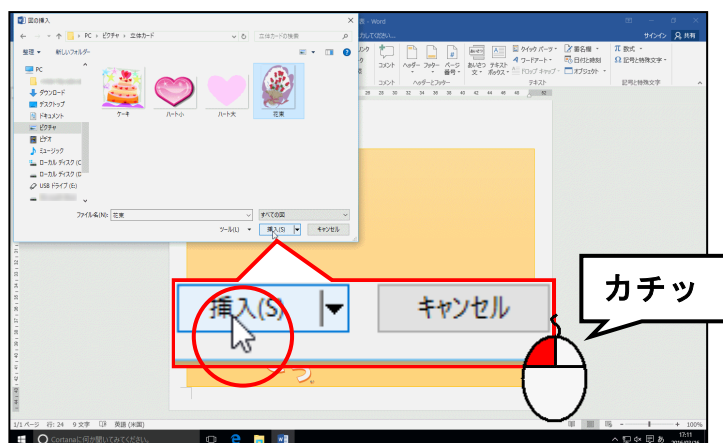
●「立体カード」フォルダーの中身が左のように表示されない場合は、【図の挿入】ダイアログボックスの右上にある ▼ をクリックして、 **大アイコン** をクリックしてください。

表示された一覧から【花束】にポイントし、クリックします。



●「花束」の画像を挿入するために、クリックして選択します。

【図の挿入】ダイアログボックス右下の【挿入(S)】ボタンにポイントし、クリックします。

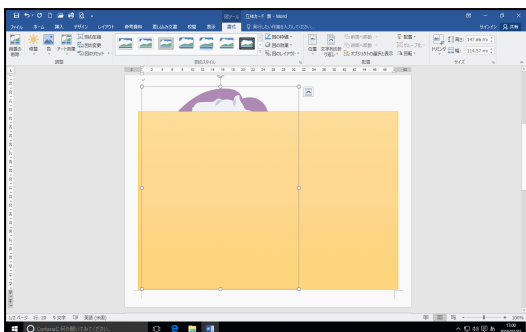


●画像が挿入できました。

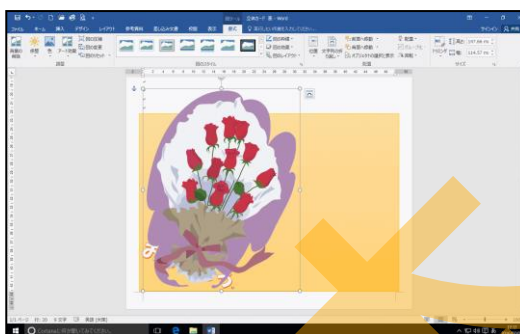
(2) 文字列の折り返しを設定する

◆挿入した画像に文字列の折り返しを設定する方法をマスターしましょう。

操作前



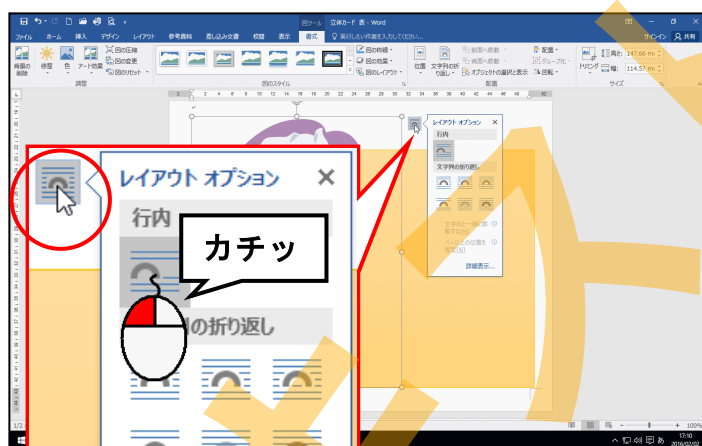
操作後



注意!

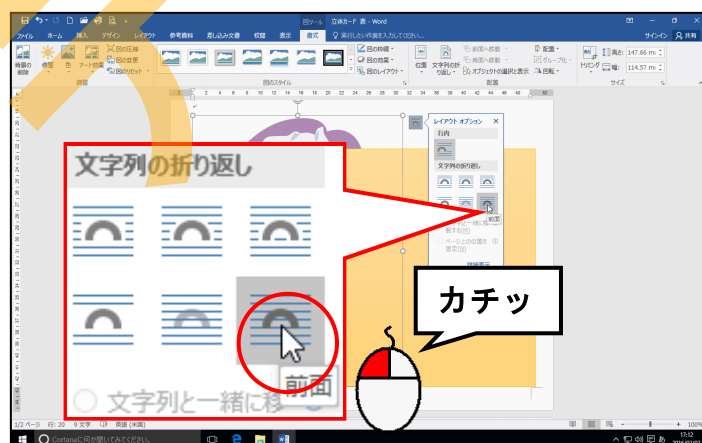
操作は下からです！

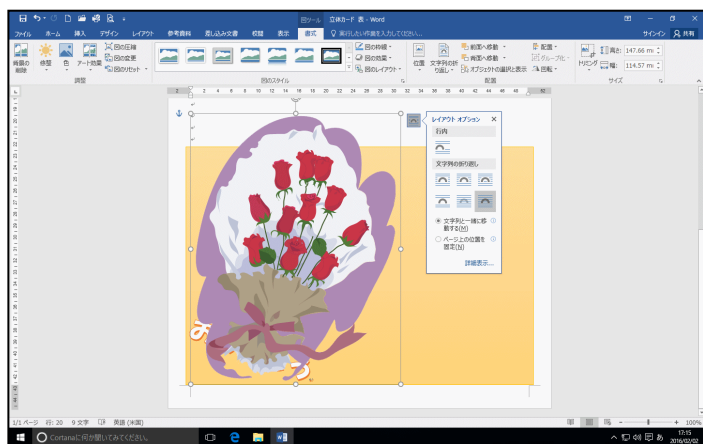
挿入した画像が選択されていること、[書式] タブが選択されていることを確認し、画像右上にある[レイアウトオプション] ボタンにポイントし、クリックします。



●挿入した画像の周りに○(サイズ変更ハンドル)が表示されていれば、画像が選択されています。選択されていない方は、画像にポイントし、マウスポインターが☞になったところで、クリックして選択しておきましょう。

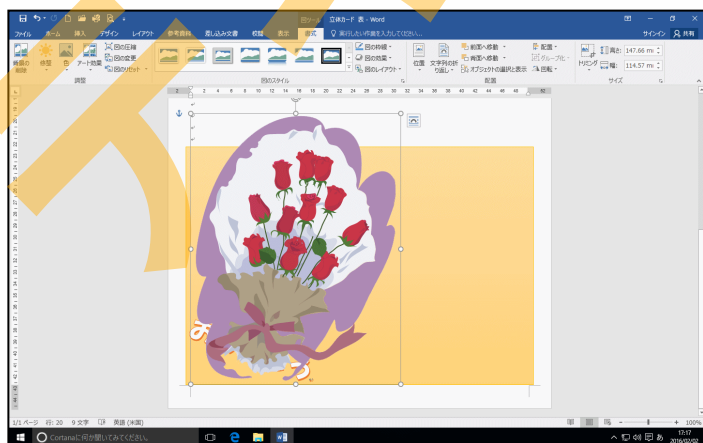
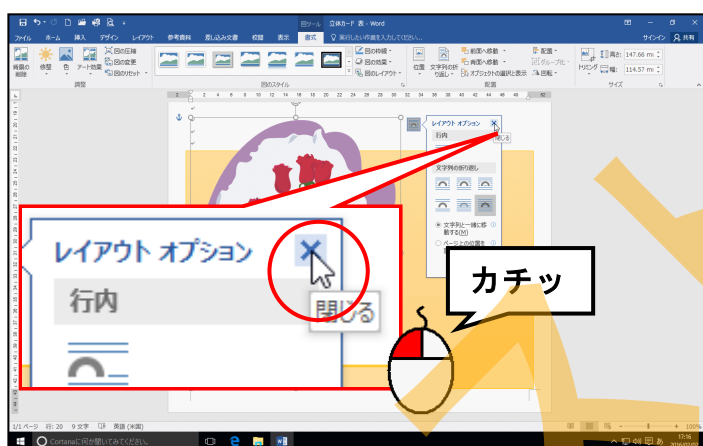
表示された一覧から[前面(N)]にポイントし、クリックします。





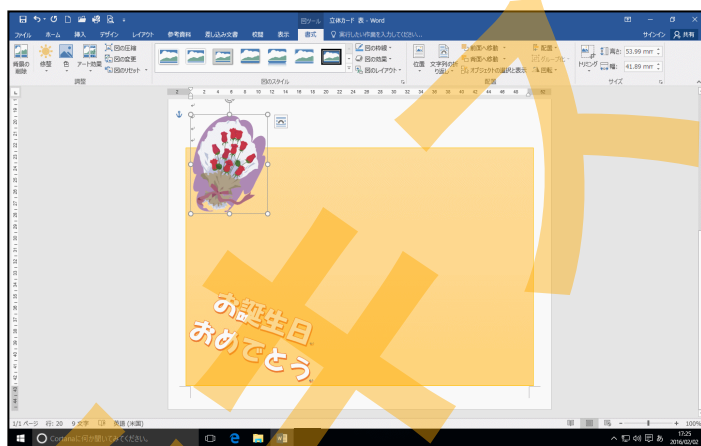
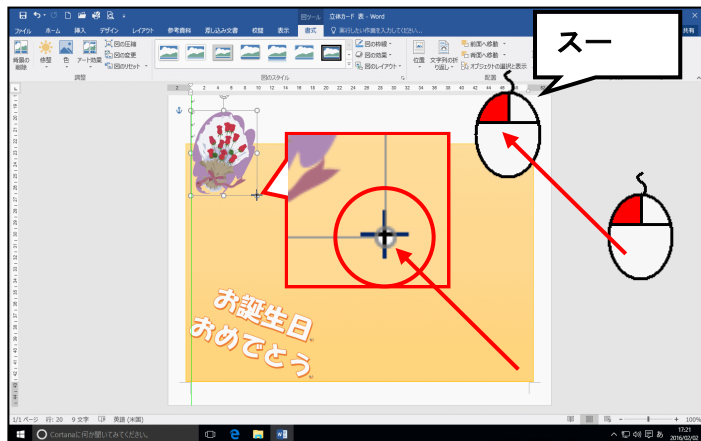
- 文字列の折り返しを「前面」にすると、画像が台紙の前に表示されます。好きな位置に画像を動かせるようになります。

「レイアウト オプション」の × [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



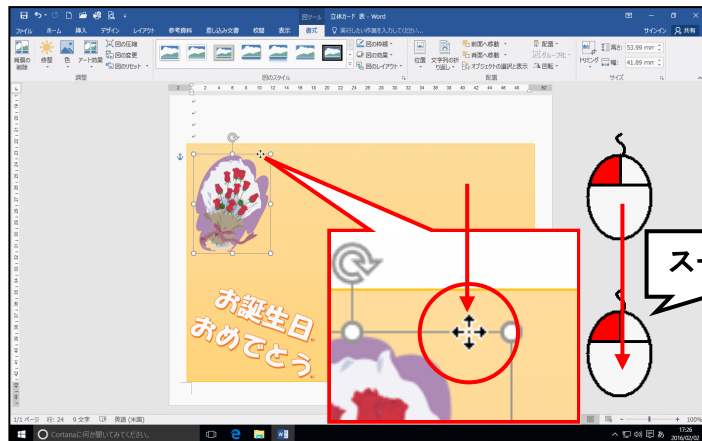
●文字列の折り返しを設定した画像に対して諸設定を行いましょう。

下図を参考に、挿入した画像の周りに表示されている  (サイズ変更ハンドル) にポイントし、マウスポインターが  の状態で左上に向かってドラッグし、サイズを調整しましょう。

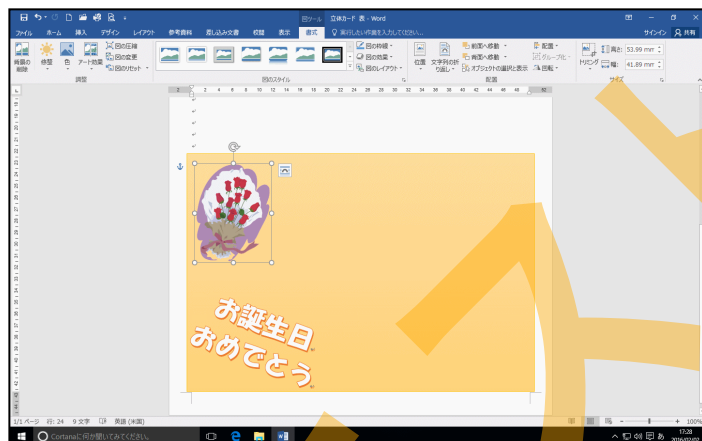


●サイズが小さくなりました。

下図を参考に、挿入した画像にポイントし、マウスポインターが  の状態でドラッグし、位置を調整しましょう。

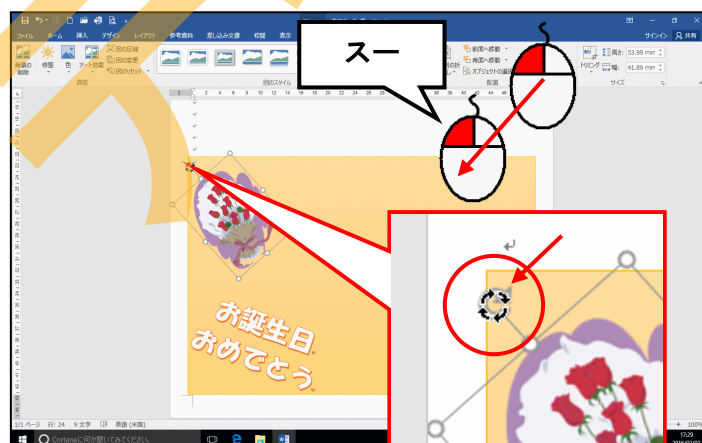


●移動中、マウスポインターは  の状態になります。

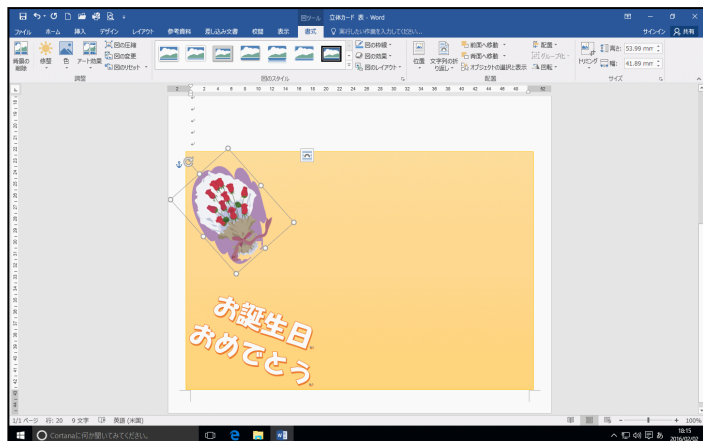


●位置が調整できました。

下図を参考に  (回転ハンドル) にポイントし、左下に向かってドラッグし、少し回転させましょう。



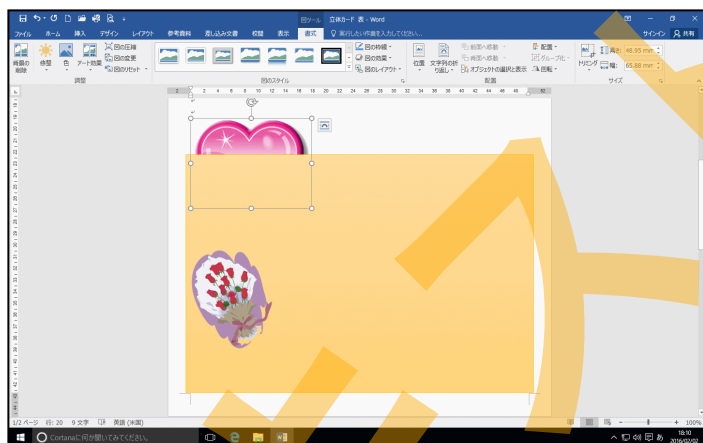
●回転中、マウスポインターは  の状態になります。



●回転できました。

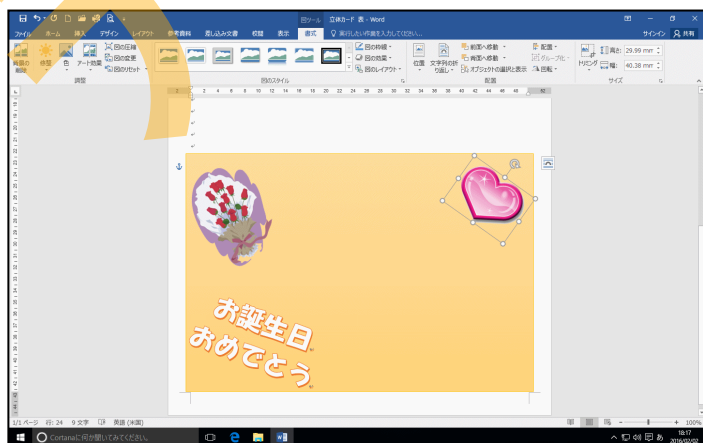
●画像「ハート小」を挿入して諸設定をしましょう。

空白行にカーソルを表示し、画像「ハート小」を挿入しましょう。



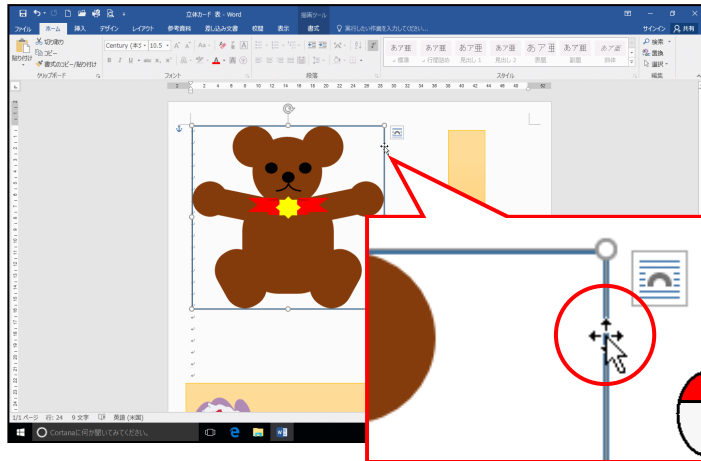
●画像を挿入する方法を忘れた方は、P52（1）画像を挿入するを参照してください。

下図を参考に、挿入した画像の文字列の折り返しを「前面」に設定し、大きさや回転を調整し、移動させましょう。



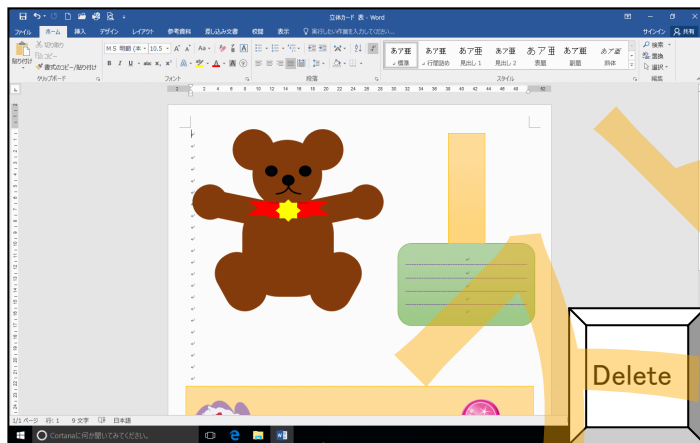
●文字列の折り返しを設定する方法を忘れた方は、P56（2）文字列の折り返しを設定するを参照してください。

画面を上スクロールし、くまのガイドの青い四角形の線の上でマウスポインターがの状態の時にクリックして選択しましょう。

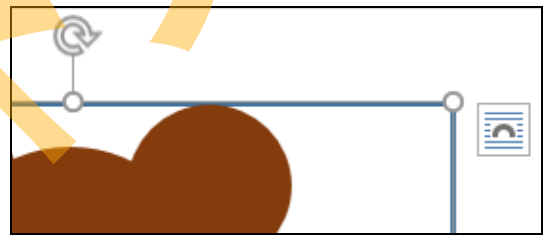


- 画面を上スクロールしたい時は、画面の右上にある [スクロール] ボタンをクリックし、下にスクロールしたい時は、画面の右下にある [スクロール] ボタンをクリックします。

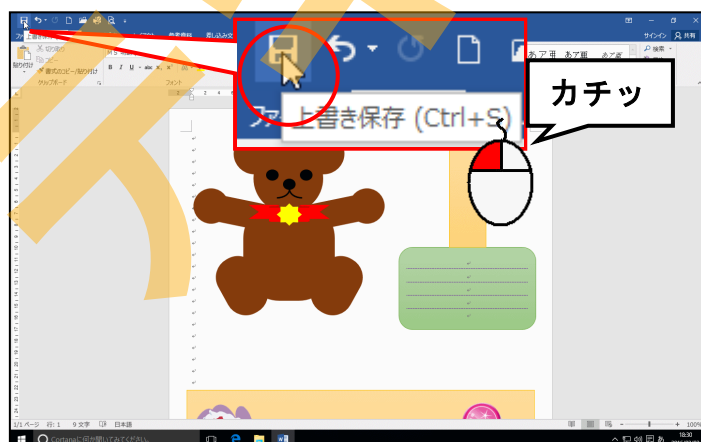
[Delete] キーを押して削除しましょう。



- 必ず、ガイドが選択されていることを確認してから、[Delete] キーを押しましょう。



ここまでくれば、画面左上にある [上書き保存] ボタンにポイントし、クリックします。

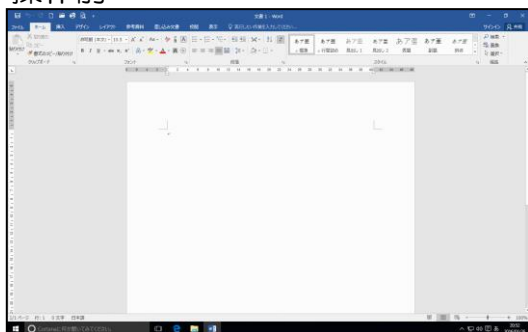


ワードを閉じておきましょう。

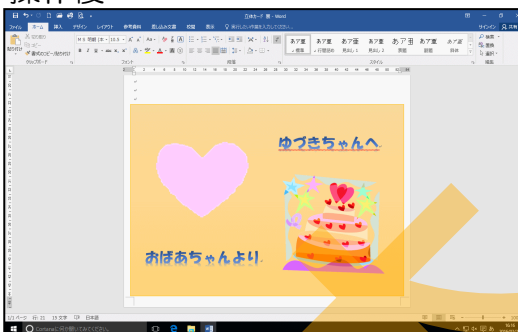
6. 立体カードの裏面を作成する

◆立体カードの表面を作成した方法で裏面も作成しましょう。

操作前



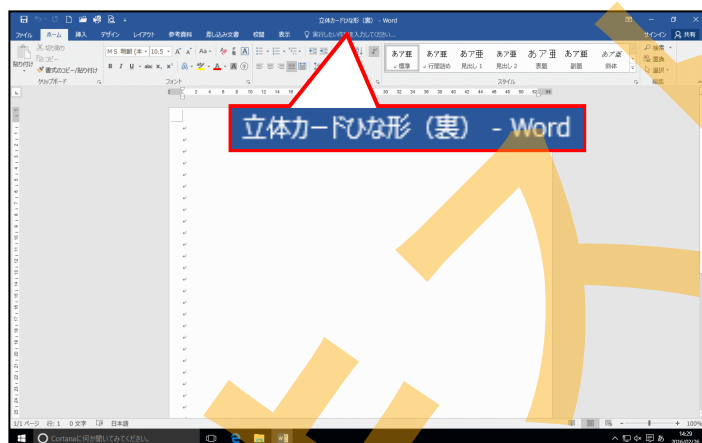
操作後



注意!

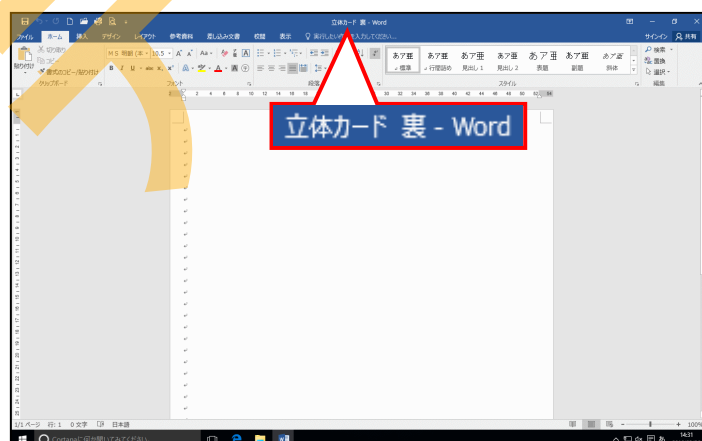
操作は下からです！

ワードを起動し、[ドキュメント] フォルダから「立体カードひな形（裏）」を開きましょう。



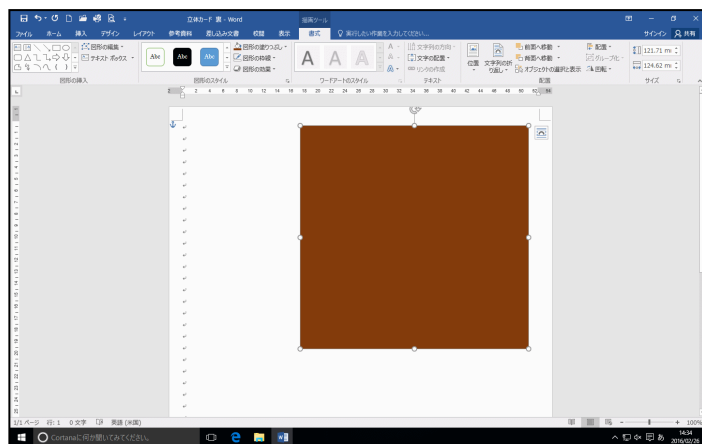
● ひな形の開き方を忘れた方は、
P2 1. 立体カード表面のひな形
を開くを参照してください。

USB メモリーに「立体カード 裏」と名前を付けて保存しましょう。



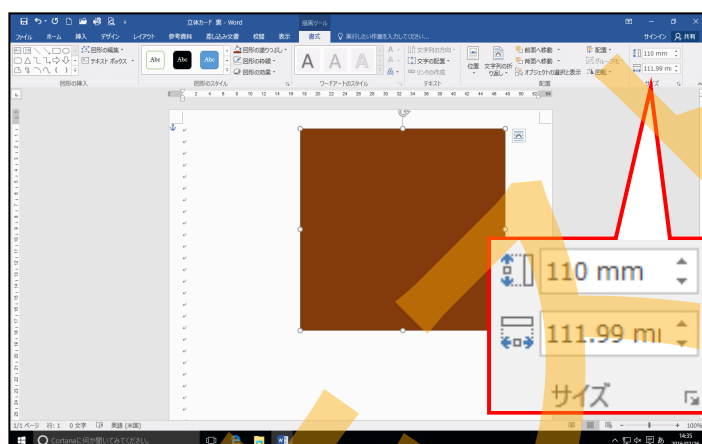
● 名前を付けて保存する方法を忘れた方は、
P5 2. 立体カード表面のひな形を USB メモリーに保存する
を参照してください。

下図を参考に、くまの裏面になる図形「正方形／長方形」を描き、図形の色を「オレンジ、アクセント 2、黒+基本色 50%」に、枠線の色を「線なし」にしましょう。



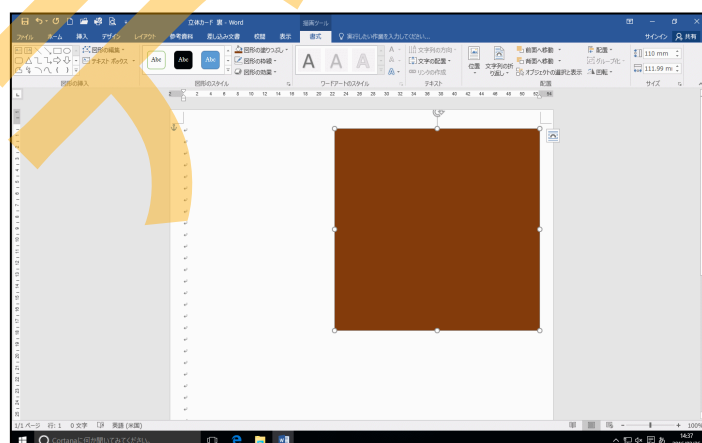
- 図形を挿入する方法を忘れた方は、P10（1）図形の挿入を参照してください。
- 図形の塗りつぶしの色を設定する方法を忘れた方は、P13（2）図形の塗りつぶしの色を設定するを参照してください。
- 図形の枠線を消す方法を忘れた方は、P15（3）図形の枠線を消すを参照してください。

図形のサイズを高さ「110 mm」、幅「112 mm」に設定しましょう。



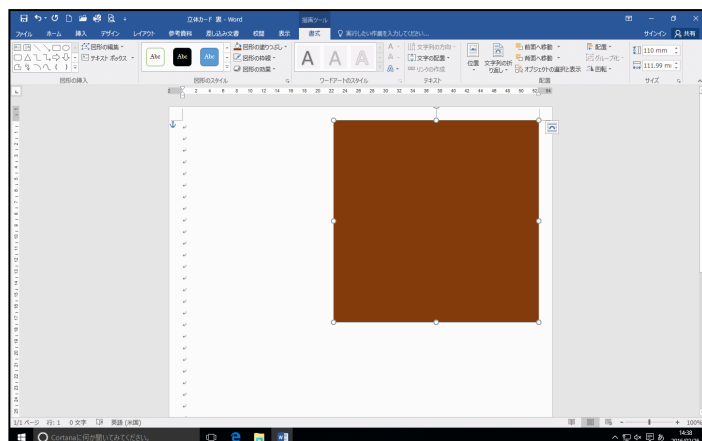
- 図形の大きさを設定する方法を忘れた方は、P38（10）図形の大きさを数値で設定するを参照してください。

図形の配置を「右揃え」にしましょう。



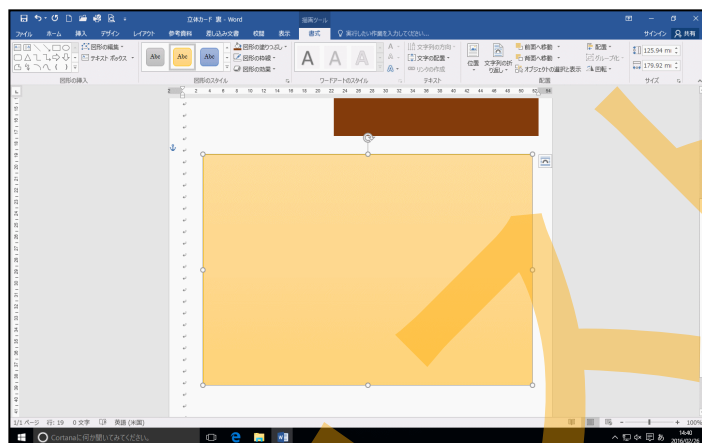
- 図形を右揃えにする方法を忘れた方は、P40（11）図形の位置を揃えるを参照してください。

図形の配置を「上揃え」にしましょう。



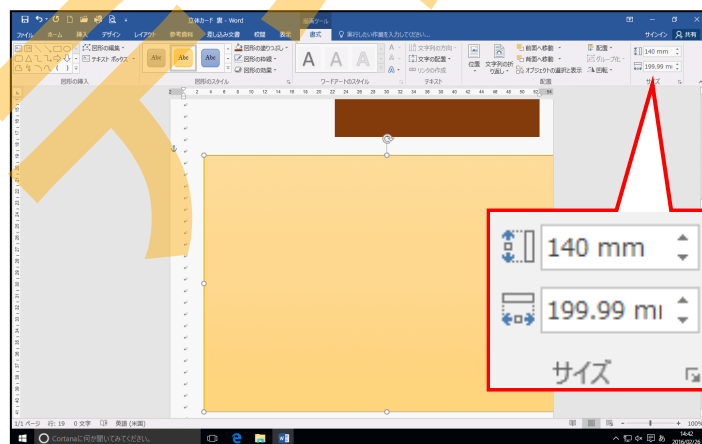
- 図形を上揃えにする方法を忘れた方は、P40（11）図形の位置を揃えるを参照してください。

台紙の裏面になる図形「正方形／長方形」を描き、スタイルを「パステルゴールド、アクセント 4」に設定しましょう。



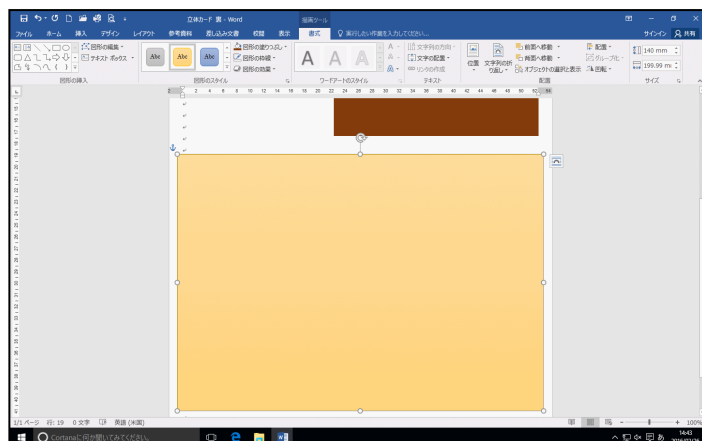
- 図形を挿入する方法を忘れた方は、P10（1）図形の挿入を参照してください。
- 図形にスタイルを設定する方法を忘れた方は、P31（8）図形にスタイルを設定するを参照してください。

図形のサイズを高さ「140 mm」、幅「200 mm」、に設定しましょう。



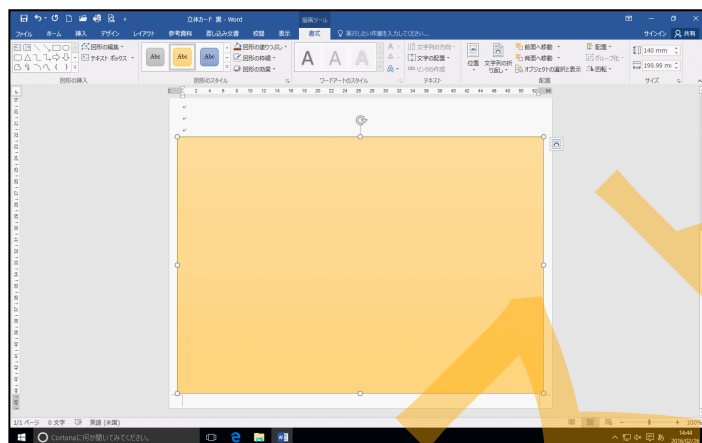
- 図形の大きさを設定する方法を忘れた方は、P38（10）図形の大きさを数値で設定するを参照してください。

図形の配置を「左右中央揃え」にしましょう。



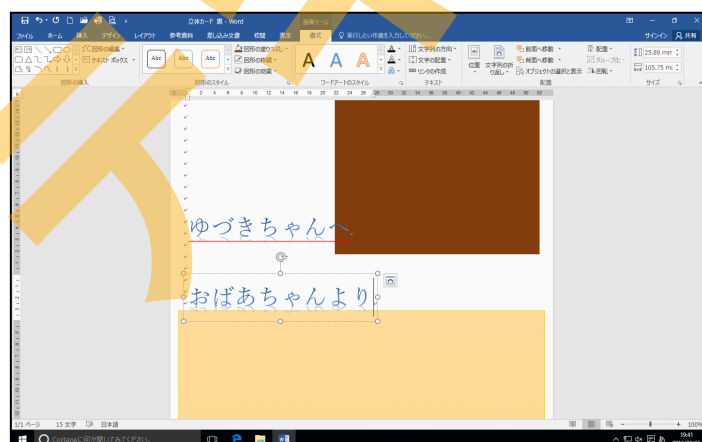
- 図形を左右中央揃えにする方法を忘れた方は、P40（11）図形の位置を揃えるを参照してください。

図形の配置を「下揃え」にしましょう。

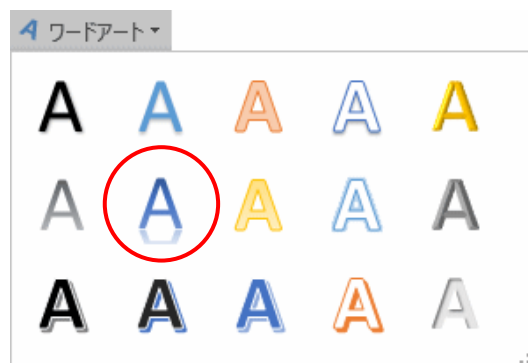


- 図形を下揃えにする方法を忘れた方は、P40（11）図形の位置を揃えるを参照してください。

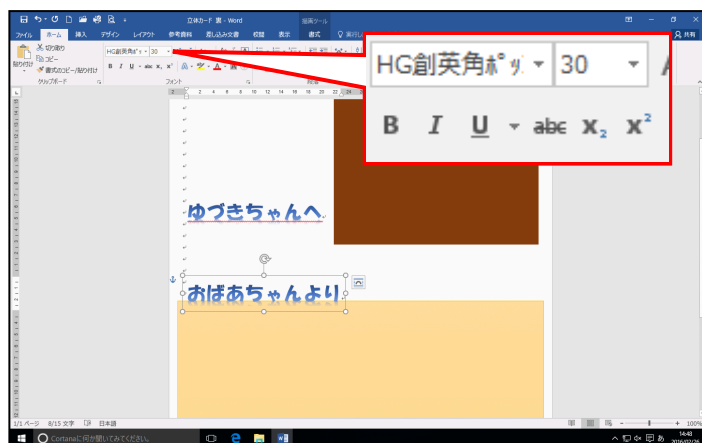
ワードアートの「塗りつぶし（グラデーション）ー青、アクセント1、反射」（左から2列目、上から2番目の行）で「ゆづきちゃんへ」と「おばあちゃんより」の2つのワードアートを挿入しましょう。



- ワードアートを挿入する方法を忘れた方は、P44（1）ワードアートを挿入するを参照してください。名称が違えば下図を参考に選びましょう。



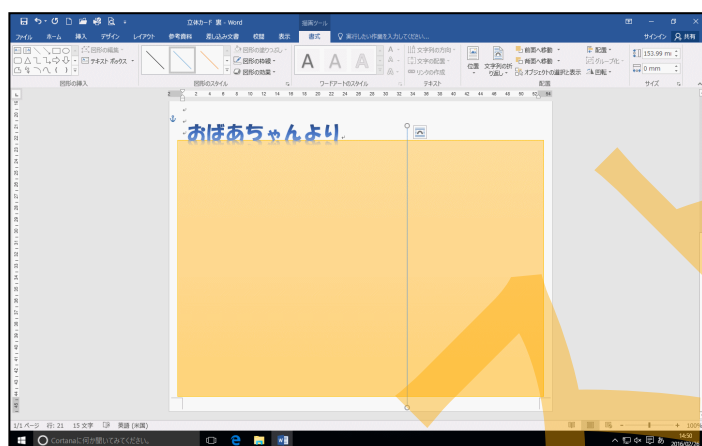
挿入した2つのワードアートのフォントを「HG 創英角ポップ体」、フォントサイズを「30pt」にしましょう。



●ワードアートの書体の変更方法を忘れた方は、P47（2）ワードアートの文字の書体を変更するを参照してください。

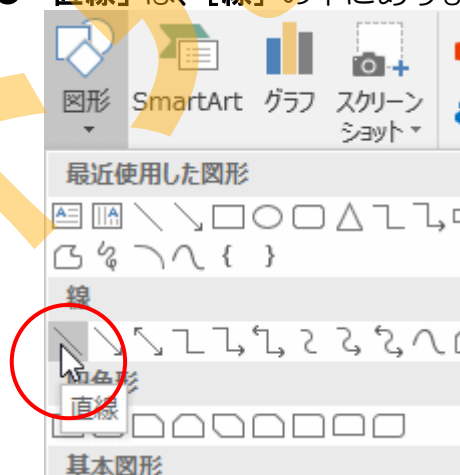
●ワードアートの文字の大きさの変更方法を忘れた方は、P49（3）ワードアートの文字の大きさを変更するを参照してください。

台紙の上に[Shift] キーを押しながら、図形の「直線」をひきましょう。

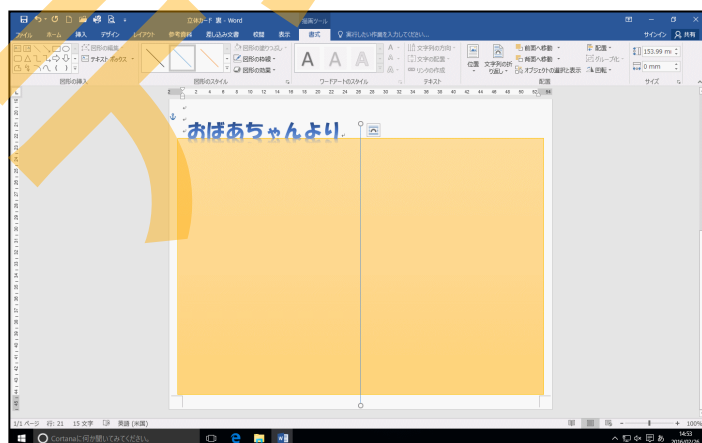


●台紙の中央のガイド線にします。

●「直線」は、[線]の中にあります。

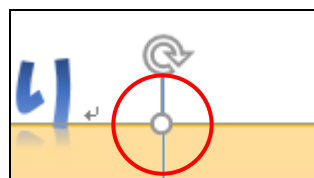


直線の配置を「左右中央揃え(C)」にしましょう。

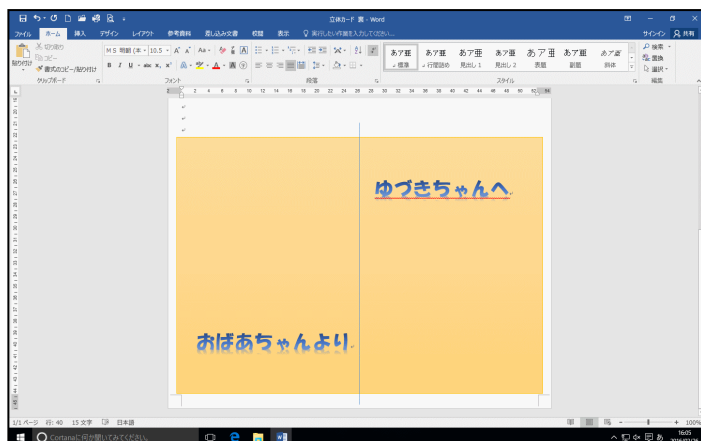


●図形を左右中央揃えにする方法を忘れた方は、P40（11）図形的位置を揃えるを参照してください。

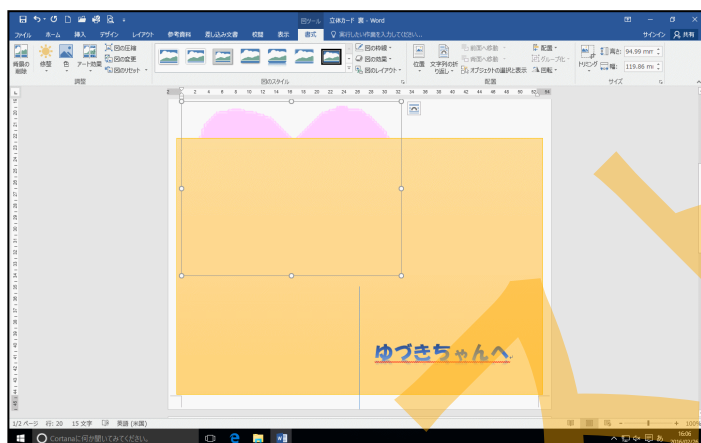
●台紙の左右中央に直線が配置されます。台紙を選択すると、直線が台紙の中央に配置されていることを確認できます。



下図を参考に、それぞれのワードアートを移動しましょう。

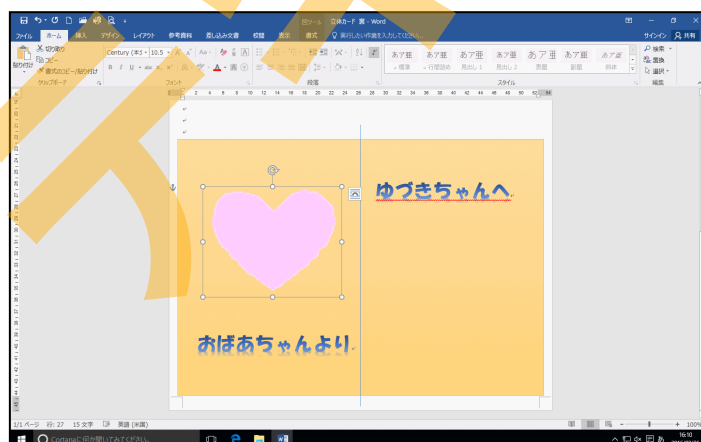


空白行にカーソルを移動し、画像「ハート大」を挿入しましょう。



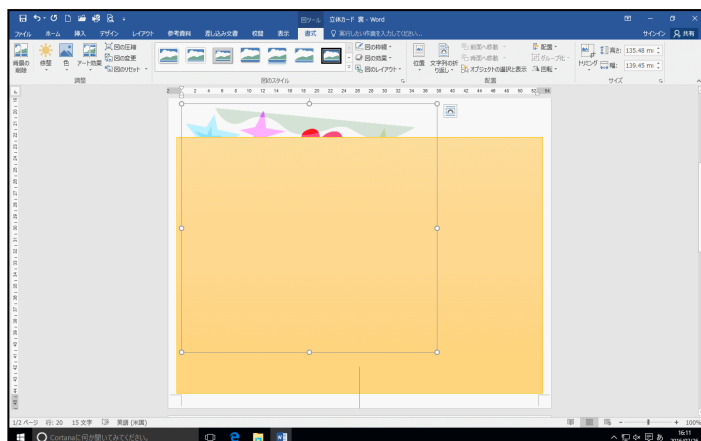
- 画像を挿入する方法を忘れた方は、P52（1）画像を挿入するを参照してください。

画像の文字列の折り返しを「前面」にし、下図を参考に、大きさを調整し、移動させましょう。



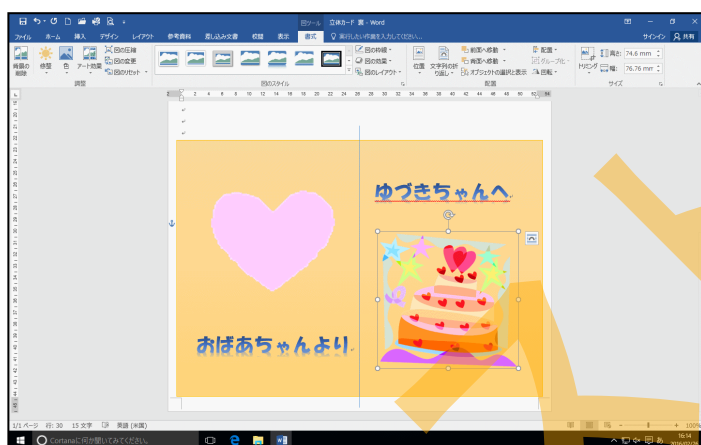
- 文字列の折り返しを設定する方法を忘れた方は、P56（2）文字列の折り返しを設定するを参照してください。

空白行にカーソルを移動し、画像「ケーキ」を挿入しましょう。



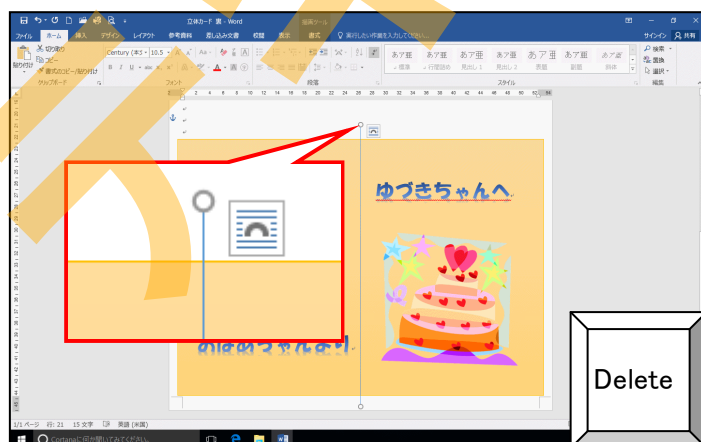
- 画像を挿入する方法を忘れた方は、P52（1）画像を挿入するを参照してください。

画像の文字列の折り返しを「前面」にし、下図を参考に、大きさを調整し、移動させましょう。

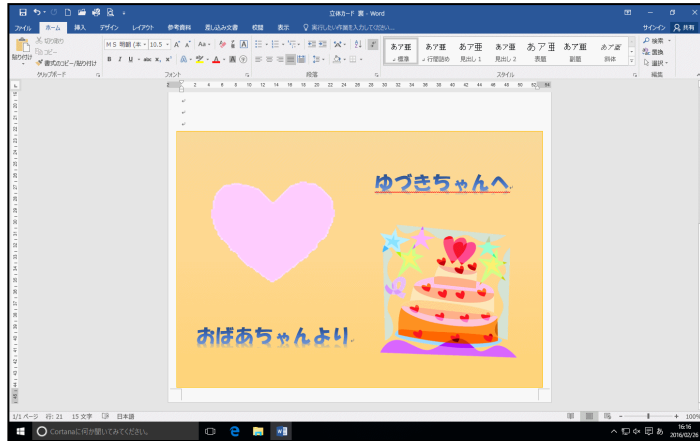


- 文字列の折り返しを設定する方法を忘れた方は、P56（2）文字列の折り返しを設定するを参照してください。

台紙の上に描いた図形「直線」の上でマウスポインターが  の状態の時にクリックして選択し、[Delete] キーを押して削除しましょう。

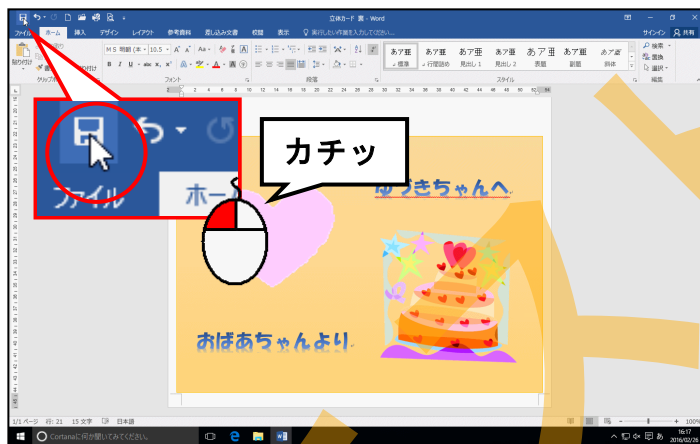


- 必ず「直線」が選択されていることを確認してから「Delete」キーを押しましょう。



●直線が削除できました。

ここまでくれば、画面左上にある  [上書き保存] ボタンをクリックし、立体カード 裏を上書き保存しましょう。

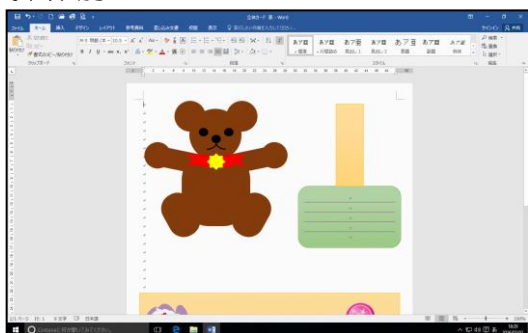


ワードを閉じておきましょう。

7. 立体カードを印刷する

◆立体カードを印刷する方法をマスターしましょう。

操作前



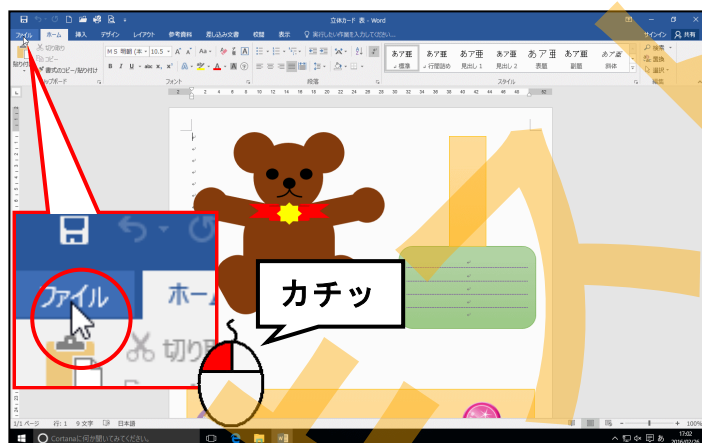
操作後



注意!

操作は下からです！

「立体カード 表」を開き、[ファイル] タブにポイントし、クリックします。

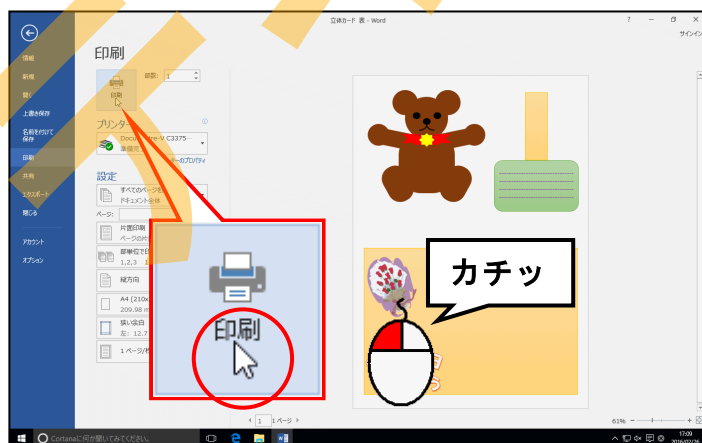


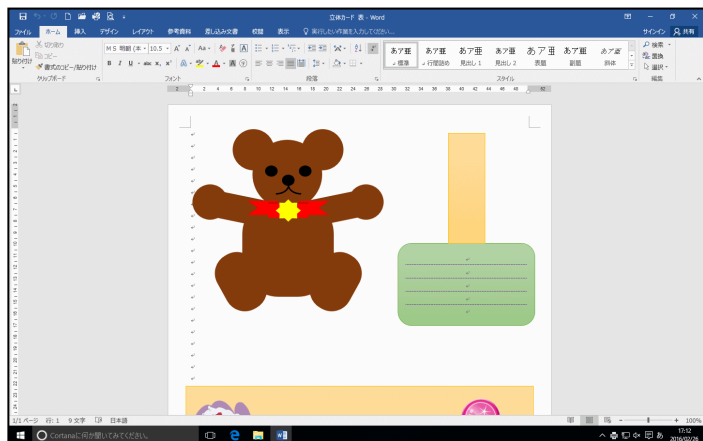
●印刷する用紙ですが、後で組み立てますので、少し厚めの A4 用紙を使用して下さい。
テキストでは、A4 サイズのケント紙を使用しています。
ケント紙は画用種類の中で、一番硬くて表面が平らで滑らかな紙です。製図用やデザイン用の紙によく使われ、油性のフェルトペンにもじむことが少なく使えます。
フォトマット紙もおすすめです。フォトマット紙はテカリを抑えた写真用紙でペーパークラフトの作成に向いています。

●使用する用紙の種類によってプリンターの「用紙の種類」の設定が必要になります。
分からない場合はインストラクターにお尋ねください。

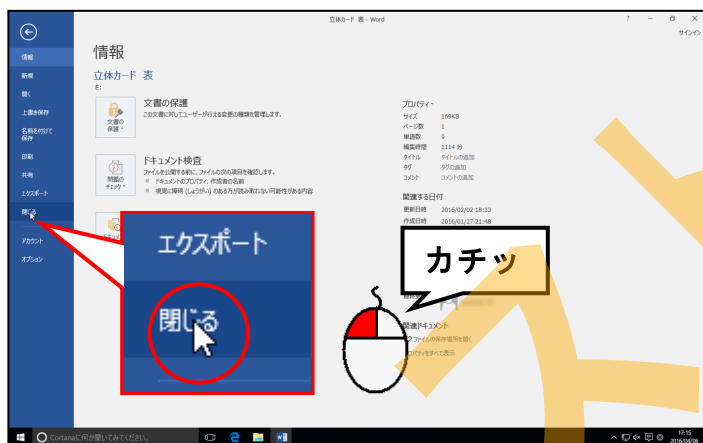


[印刷] にポイントし、クリックします。

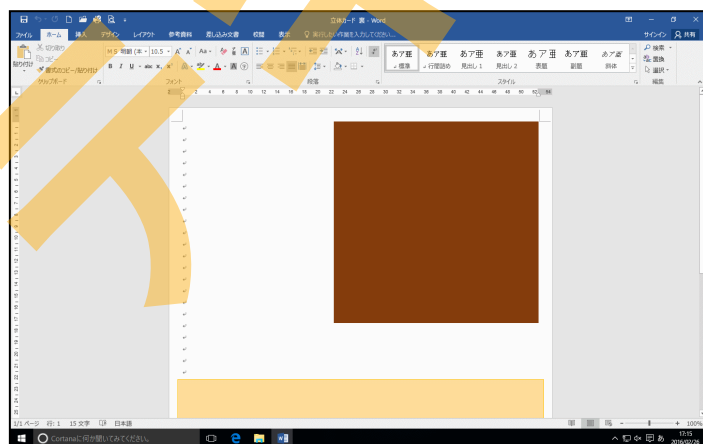




次の操作のために、[ファイル] タブをクリックし、下から3番目の[閉じる] ボタンをクリックして、「立体カード 表」を閉じましょう。



同様にして、「立体カード 裏」を開き、「立体カード 表」の裏面に、「立体カード 裏」も印刷しましょう。



注意!

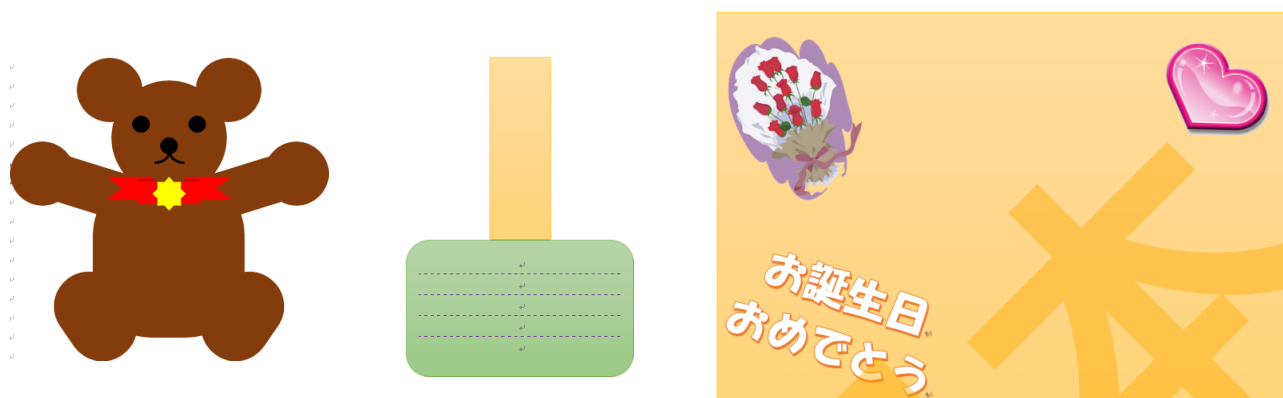
●裏面に印刷する際、用紙の向きに注意しましょう。



ワードを閉じておきましょう。

8. 立体カードを切り取る

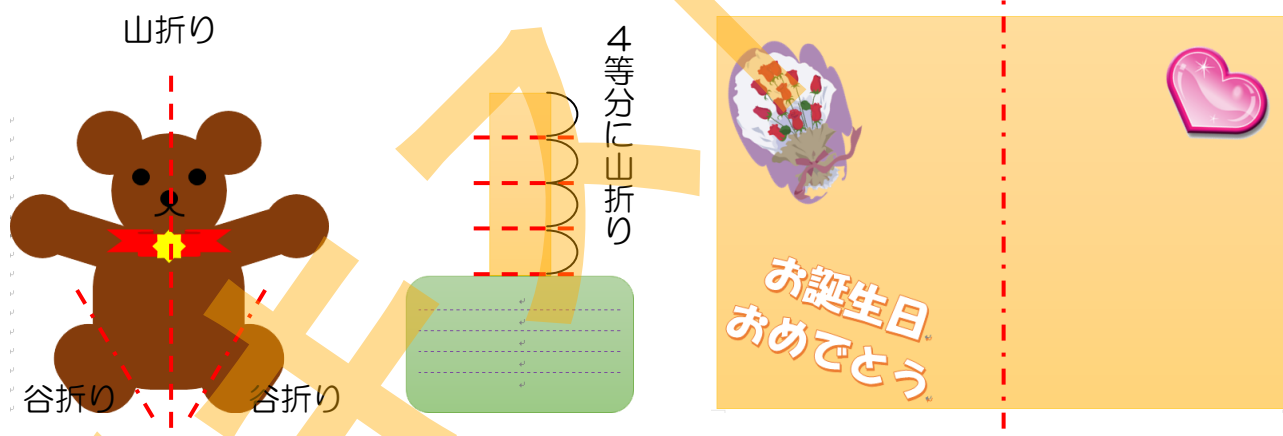
それぞれのパーツを丁寧に切り取りましょう。用紙の両面に表面と裏面が印刷されていますが、裏面は印刷のズレを考慮して少し大きく作成しています。切り取る際は、表面のラインを基準に切り取ってください。



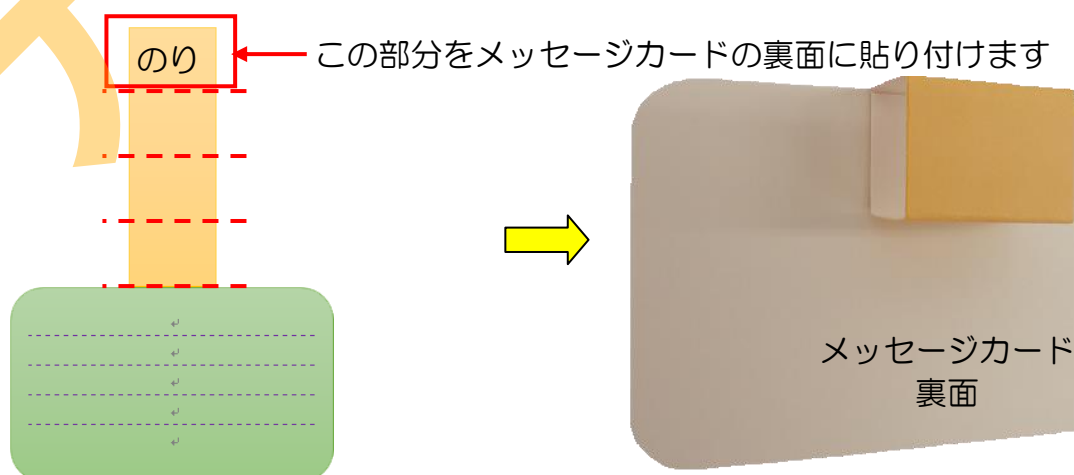
9. 立体カードを組み立てる

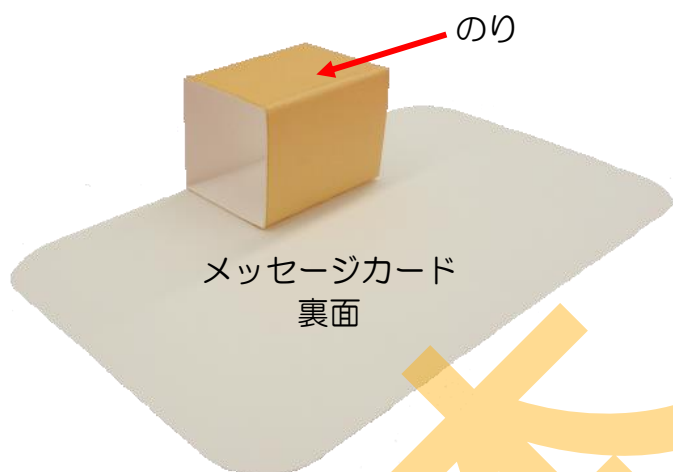
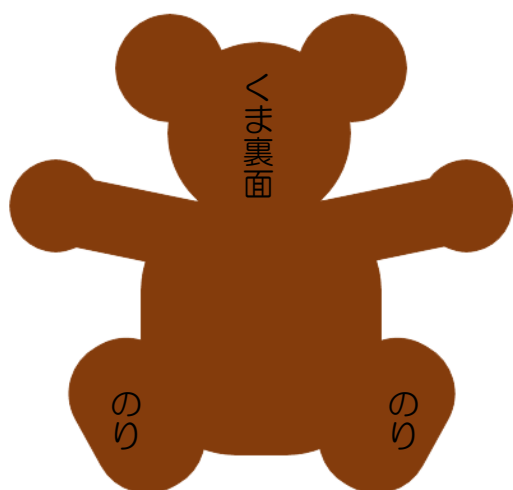
それぞれのパーツに折り目をつけましょう。

- - - 山折り
 - . - 谷折り



組み立てましょう。





台紙の中心線とくまの中心線を合わせて貼りつけましょう。
メッセージカードも台紙に貼りつけましょう。



●台紙を閉じた時にパーツが台紙からはみ出さないよう、貼り付け場所に注意して貼りつけましょう。





- 基本の作り方は以上です。
図形でお好きな動物を描いたり、画像を挿入して、オリジナルの立体カードを作ってみてくださいね。



天下見本

こだわりグッズをつくろう！ 立体カード作成編（2016）

2016 年 6 月 22 日 初版 第 1 刷発行

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作権者の権利侵害になります。

ご連絡先

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- テキストに記載されている内容、仕様は予告なしに変更されることがあります。
- 本文中では、®や TM などのマークは省略しています。
- 本文中の挿絵は、フリーイラスト素材集「GATAG」または「Pixabay」の、パブリックドメインのライセンスのものを利用しています。